

デジタル田園都市構想総合戦略（第3期総合戦略）

策定に向けたアンケート結果報告書

【アンケートの目的】

このアンケートは、令和7年度を開始期間とするデジタル田園都市構想総合戦略（第3期総合戦略）策定のための基礎資料とすることを目的とする。

【実施期間】

令和6年7月10日（水）から令和6年7月24日（水）まで

【アンケート協力依頼者数】

810人（メールで依頼：515人、文書で依頼：295人）

【回答者数】

539人（ネット回答：384人、郵送回答：155人）

【回答率】

66.5%

【担当課】

政策部 総合戦略課

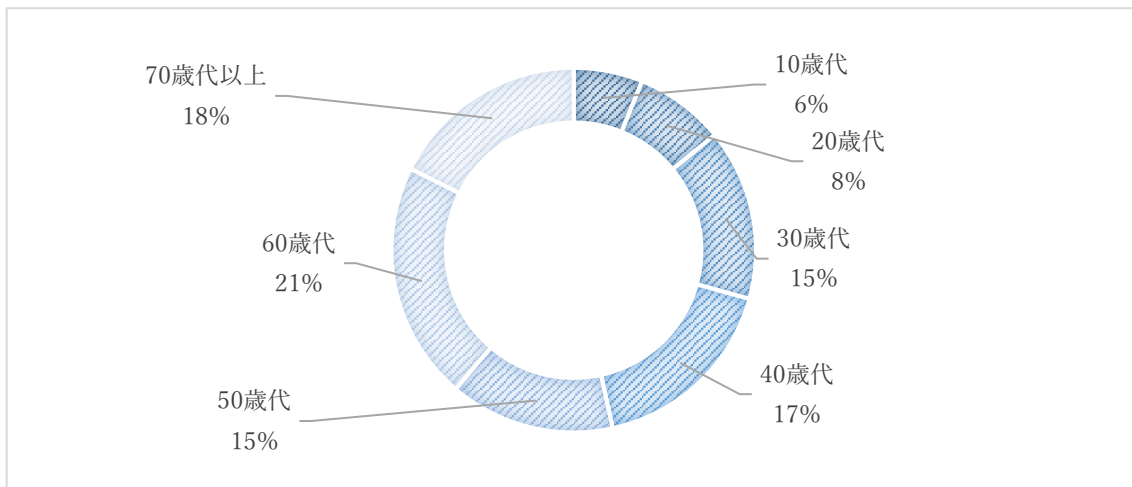
【自由記述欄について】

誤字脱字等を一部修正しています。

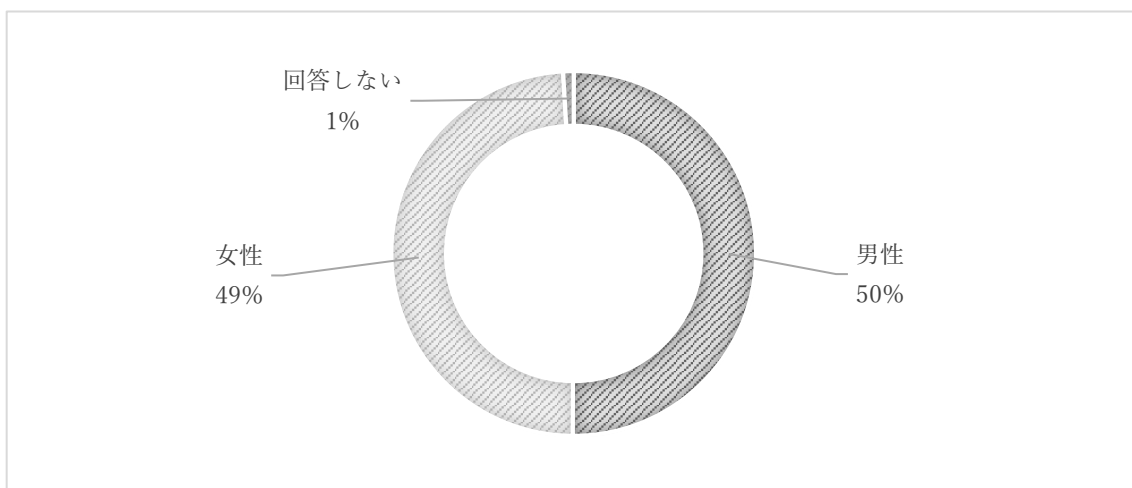
目次

問 1.あなたの年齢を教えてください。・・・・・・・・・・	1
問 2.あなたの性別を教えてください。・・・・・・・・・・	1
問 3.あなたの居住地域を教えてください。・・・・・・・・	1
問 4.あなたの職業を教えてください。・・・・・・・・・・	2
問 5.あなたは高島市以外に住んだ経験がありますか。・・・・・・	3
問 6.あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか。・・・・・・	3
問 7.あなたは高島市に愛着がありますか。・・・・・・・・	6
問 8.子育てと仕事を両立する上で、市内にあれば望ましいと思う サービスは何ですか。・・・・・・	7
問 9.あなたは高島市の人口減少に対して危機感をお持ちですか。・・・・・・	10
問 10.特にどのような点で人口減少に対して 危機感をお持ちですか。(3つまで回答可)・・・・・・	10
問 11.人口減少に関してご意見をお聞かせください。・・・・・・	14
問 12.次の項目は、人口減少に対し、国の総合戦略（デジタル田園都市国家構想）にお いて進めようとしている主な施策です。高島市に置き換えたとき、あなたが考える 重要度を項目ごとに記載してください。 【地方に仕事をつくる】・・・・・・・・・・	43
【人の流れをつくる】・・・・・・・・・・	44
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】・・・・・・・・・・	45
【魅力的な地域をつくる】・・・・・・・・・・	46
問 13.仕事づくりや雇用の確保に関してあなたのご意見をお聞かせください。・・・・	47
問 14.若者の移住・定住を促進することに関して あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・	66
問 15.結婚・出産・子育てを支援することに関して あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・	85
問 16.デジタルを活用したまちづくりに関する あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・	101

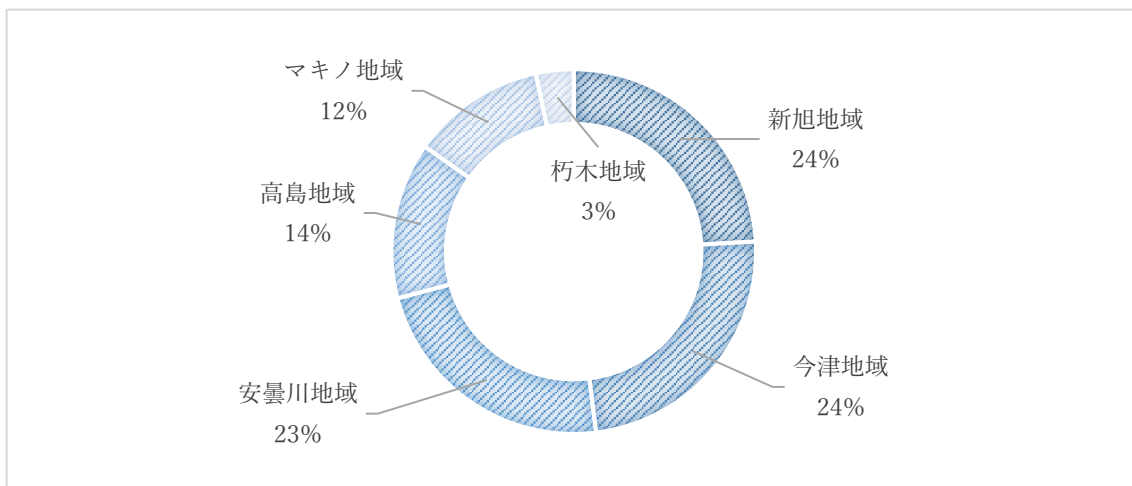
問1. あなたの年齢を教えてください。



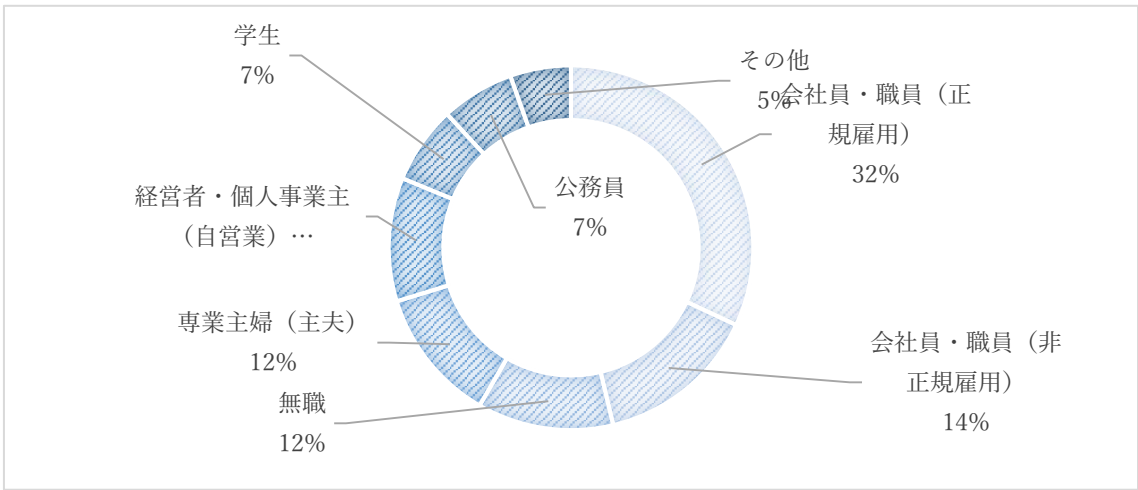
問2. あなたの性別を教えてください。



問3. あなたの居住地域を教えてください。

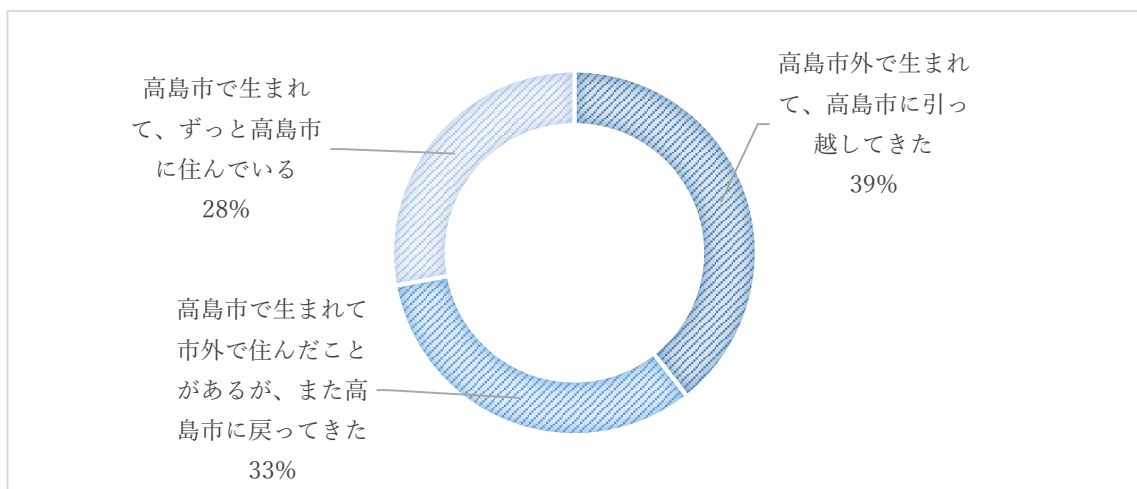


問4. あなたの職業を教えてください。

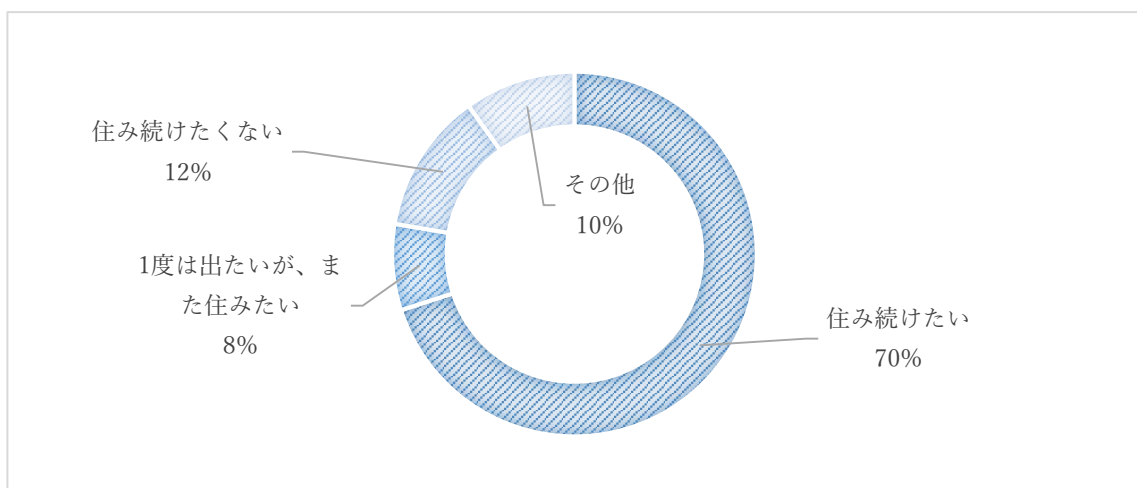


その他
アルバイト
パート
パートタイマー
フリーター
漁師
扇骨業
団体職員
団体職員 (正規雇用)
年金受給者
農業
シルバー人材センター
アルバイト (農業)
調理人
小規模農業、水稻
僧侶、住職
障がい者 B 型作業所通所
年金生活者
住職
作家

問5. あなたは高島市以外に住んだ経験がありますか。



問6. あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか。



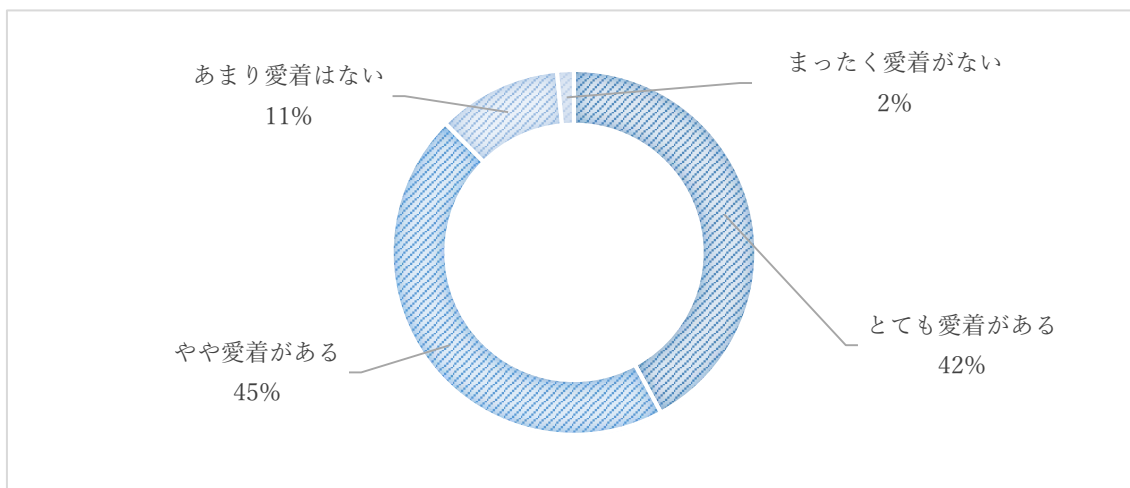
その他
どちらでも良い
マキノに持ち家があるので、当面住むが、マイカーを運転出来なくなったら生活出来ないのでは、引っ越しせざるを得ない。
まだわからない
まだ分らない
わからない
一定の年齢になれば、転居も検討。
引っ越しを伴う転勤などがあれば地元にいたいから転勤は嫌と言うことはない。

沖縄に移住したい気持ちもありますが、高島は高島で住み慣れていて静かで好きなので悩んでいます。
介護が必要になった場合、子どもの都合に合わせる可能性がある
介護が必要になって住み続けられると限らない。
海外の移住者が増えてきているので治安が悪くなりそう。
基本的には住み続けようとは思いますが、仕事や家庭の状況によっては変わる可能性もある
機会があれば外に出たい
居心地が良ければ 住み続けたい
現在高島市で働いているので当面は住みたいですが、状況が変わればどうしても住み続けたいとは考えていません。
高島は配偶者の地元です。（結婚出産で移住）先のことはわかりません。子供が独立後、万一、夫婦関係が破綻して仕事も無くなった場合、かつまだ実家が健在な場合は、出身地に帰る選択をする可能性が高いです。
高島市の良さが失われていくのを感じると離れたい気持ちも出てくるときがあります。 今あるものを生かしてこれからの高島市を作って行ってほしいです。
高齢者になった時、湖西線運休になった時やバスの利用時間の事を考えると、大津市くらいに住む方が色々と思える。今は車を所持し運転もしてるけどある程度の年齢になったら返納もしないといけないから。
今のところは住み続けるつもりですが、仕事や育児等の状況によっては転出する可能性も想定しています。
今は週の半分を大阪に泊まっている（仕事で）為、不便は感じないが、高島市だけになるとお店などが少なすぎて歳を取った時に生活ができるのか不安になる
今後の医療機関や医療体制の充実と湖西線の運営の状況によっては住みづらくなる可能性もあり、そのようになったら市外に出るしかないかと思っています。
今後の市長次第
今後の事は分からないので。
今後の状況によっては分からない。
今後の状況による
歳を重ねると 車がないとどこにも行けない現状が 不便と感じるのではないかな。 雪かきが苦痛
仕事が変わったら引っ越す必要が有るかもしれないのでわからない。

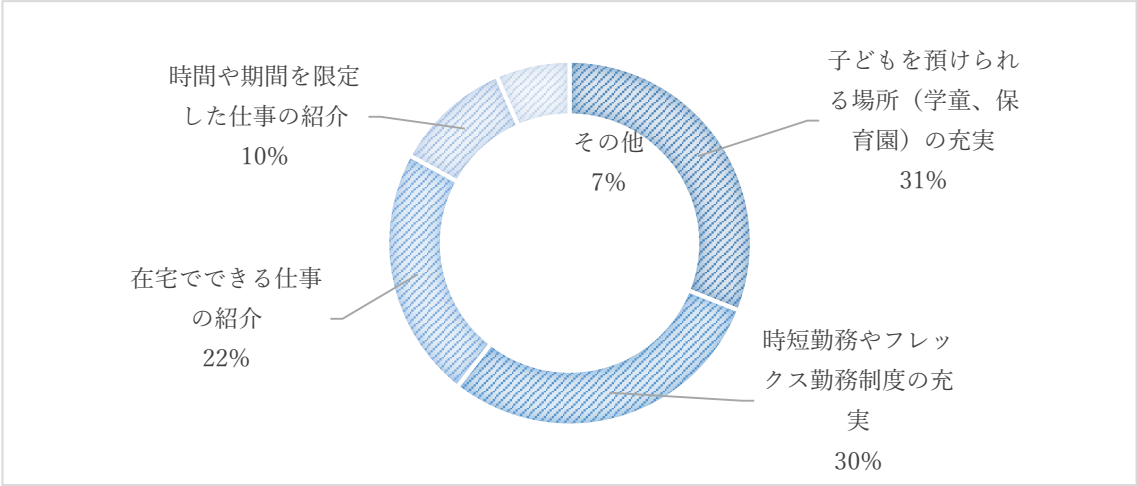
子どもが独立したら離れるかも知れない
住みたいと思うが運転免許証を返納してからの移動手段に不安がある 湖西線も頻繁に運航休止になるので現実的には住めないと思っている
住み慣れたところもいいが、機会があればいろいろ見てみたいと思う。
住み続けたいが、人生設計上出来ないと考えている。
住み続けるつもりで戻ってきたが、以前住んでいたところに比べ住みにくさを感じている。また、今後過疎化が進むことで街が廃れさらに住みにくくなるのではないかと危惧している。
出来れば、交通の便が良い都会に住みたい。
消滅可能都市といわれ、高齢者が多いにも関わらず、滋賀県の都市部との医療格差などが大きく、アクセスなどのインフラも悪すぎるので、高齢になった時に困ることが目に見えているので。 どこかで区切りをつけて都市部へ移らないといけなような気がしています。
他県にも家があるので両方を考えている
地域柄や住民の人柄を考えるとこのままここで暮らしたいと思うが、市長を始めとする幹部のみならず市職員の市政への取り組みや行動、市議会での答弁を見ていると今後に期待が持てず、不安しかない。
電車の本数が増えるなら居続けたいが減る一方であれば不便になるので高島市外で京都大阪に行きやすい地域に引っ越ししたい。
独居老人になった場合現在の状況では不安がある
年齢を重ねていき、車を運転出来なくなった時の生活の不便さを感じるから。
農業を仕事にしたいと考えて高島に移住してきました。 農業で生活が成り立つのであればこのまま高島に住み続けるけることはできるができません。そうでなければ高島でしかダメだと言うことにはならないと考えています
本音は都会に住みたいが、理由があり転居できない
魅力が無くなれば移住します
老後は高島市外で暮らしたいと考えているから。
自立生活できる限り住み続けたいが、年齢から体力が落ちると子どものそばへ住み替えたい
住みつづけなければならない必要性あり。
他市に行くと楽しい
一度は市外に出てみたかった
分からない

諸事情により、住続ける以外の選択肢はない。
子供が県外のため悩んでいる
わからない。 自身が介護が必要になった時不安に思う

問7. あなたは高島市に愛着がありますか。



問8. 子育てと仕事を両立する上で、市内にあれば望ましいと思うサービスは何ですか。

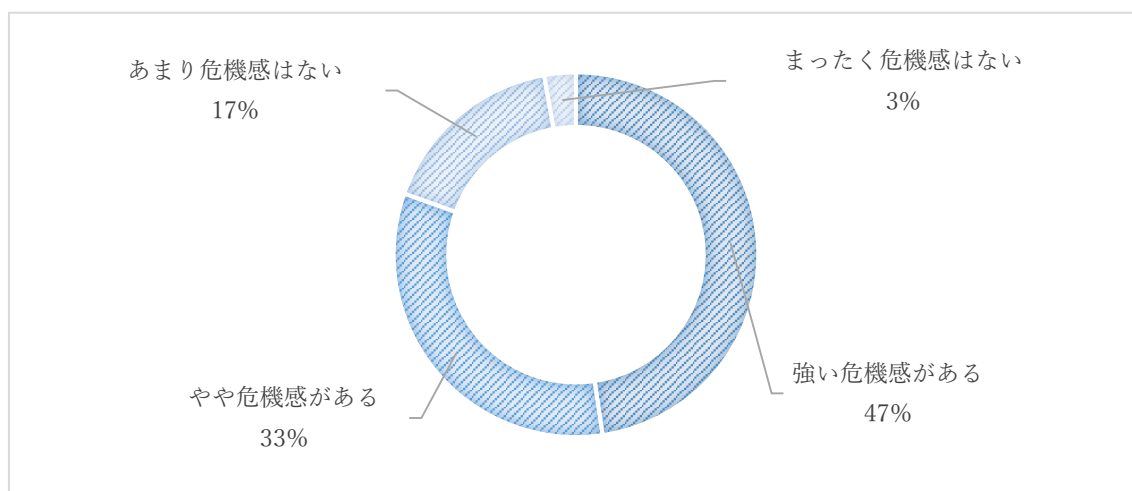


その他
1～4 まで総合的に必要であって、択一すべきものではない。
1～4 全て
そもそもなぜ、人口減少が問題なのでしょう。 戦後の人口自体が歴史的にも異常値です。 この文明化され、多様な人生を歩む上で、人口減っていくことが自然なのは、ヨーロッパを見たらわかると思います。 異常値の上で作られた社会基盤が問題であって、人口減は問題ではないと思っています。 まず、将来のこの高島市に住む世代の負担を減らす事から始めたほうがいいと思います。 なぜ、子育てと仕事を両立する前提にしている質問 しているのがわかりませんが、専業主婦ではいけませんか？ 回答ですが、昔と違い、祖父母や近所に預けられない親が多く、子育てから逃げ場のない親は子にあたる可能性が高いと思います。 海外では、ベビーシッターに預けて、親は自分や自分たちの時間をつくり、子育てのストレスから解放し、穏やかや心で子育てと思っています。 たとえば、引退世代のお暇を活用するのはいかがでしょうか。
どれも違うような気がします。
・前提に現在高島に住んでいる人への問？であるならば、

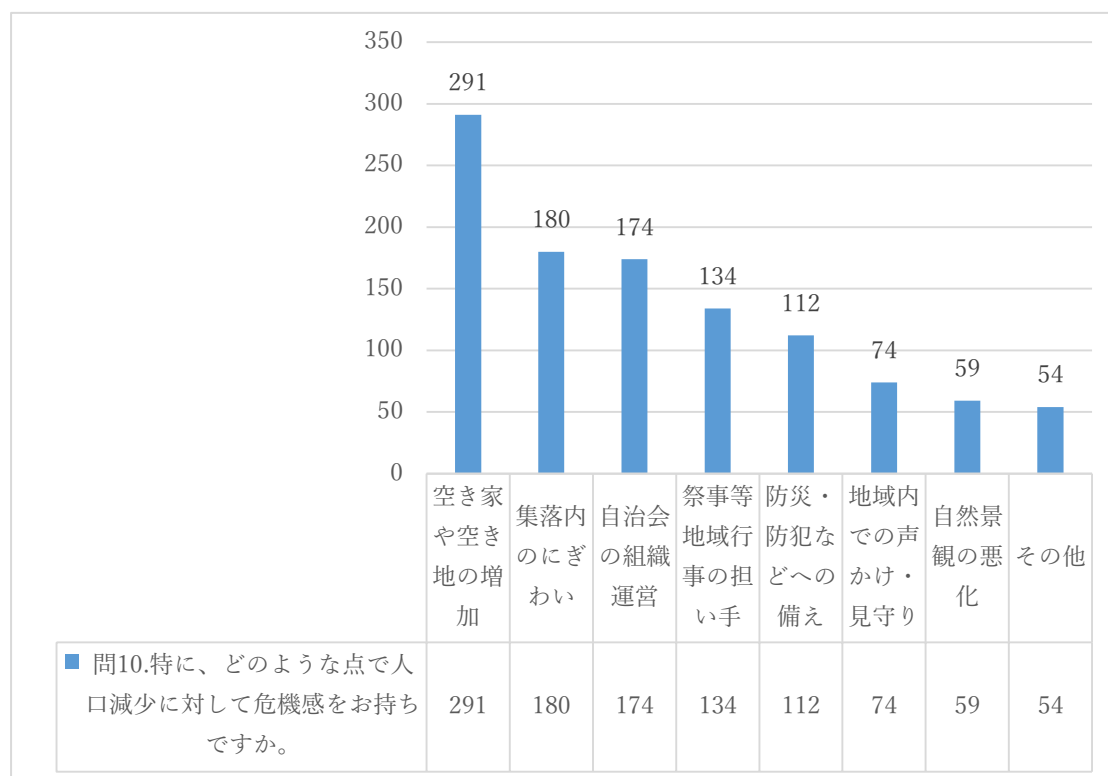
①～④すべてだと思います。 仕事があれば高島を出る人達を減らすことはできると思います。 また、帰ってくるのではないですか ・高島市外の人への高島に来てほしいための問？であれば 単に魅力がないのでは、「街にアクセスしやすい田舎」 で大阪・京都から程よく近い田舎＝高島みたいな感じのほうがアピールしやすいのではないかな？と思っています
もっと高島市の現状をちゃんと見て、マーケティングなどをしっかりとやった上で、選択項目を考えた方がいいのではないかと思います。 田舎と都市部では、求めるものが違うと思うので。
安定して、賃金もそれなりの誰かが働きたいと思う企業がたくさんあれば良い。 湖東の方にはたくさんあるのに、●●●でさえ潰れてしまった。
簡略的な申請でもらえる子ども手当給付金制度(出生届などに紐づけて手続きを一元化して欲しい) 週1, 2程度の都心出勤を想定したテレワーク実施者への補助金(マイホーム、通勤費用等への助成) 通勤時間帯の JR 増便
元教師、元保育士等が常駐する児童館が各地域に1つあれば、費用負担も無く安心が増すように思います。
湖西線の安定輸送
湖西線の増便
高島でしかできない産業・就労場所の創出
子どもを預けられる場所で、病気や発熱時、仕事中の親がお迎えに行けるまで医療機関と連携して預かってくれるような体制が整えばよいと思う
子育て世帯にはベーシックインカムで、お金を給付する制度が必要。子育てが終わったお母さんが仕事出来るように、企業を支援する制度が必要。
子供をもつつもりがない
子供を預けられる施設に入れない待機児童を無くすための制度(昔に比べ子供の人数は減っているのに待機児童が出るのはおかしいと思う)
市内で子供が遊べる場所 無料か低額 行く場所が限られてきた。
芝生のグラウンド
大企業の誘致。ある程度、財力のある企業が、モデルとなり、多様な働き方を推進していただきたい。

大型の商業施設（映画館、各種ショップ）出かけていけないといけない。 時間をもったいない。 市民病院の診察科目の充実（平日毎日受けれるように）
両立の前に、シングル家庭を減らすべきです。若いうちから性教育などを施し、デキ婚後離婚するような家庭をなるべく削減すべきです。 また、両親共にいる家庭向けとして、1の在宅で出来る仕事の普及は良いと思います。
臨機応変に出勤できるしくみ。 仕事も自分がしたいこともできるような働き方ができればいいと思います。
趣味の教室を多く開催してほしい。料理教室等
若い人が正社員で働ける職場
高齢者なので、この欄は控えさせていただきます
魅力のある企業の誘致
京都、大阪、兵庫は最低賃金1000円以上なのに滋賀は967円。通勤で京阪神に職場を求めても湖西線では通勤通学として使用できる状況に無いですね！
職場が理解があり融通がきいて子供の具合が悪くなったら仕事を休める職場が増えると仕事を続けたい
子がいないので、わからない。
まだ学生なので分からない
高島市で子育てをしていないのでわからない
給料が安すぎるので全体的に上げてもらわないと両立はできない←サービスや制度の前に賃金の充実を。
高齢のために無理です
湖西線が運休になった時の代行

問9. あなたは高島市の人口減少に対して危機感をお持ちですか。



問10. 特にどのような点で人口減少に対して危機感をお持ちですか。（3つまで回答可）



その他
①～⑦全てです。 人口は減り続ければ、市政そのものが破綻するのでは？と思います。
インフラサービスの縮小(銀行窓口の減少、子供が安心して遊べる公園や遊具などの施設が少なくなる、公共交通機関の便数の減少など)が不安になる
スポーツ関係の仕事をしています。 子供の減少、各スポーツ裾野拡大に繋がられないこと。
害獣被害の深刻化(野性鳥獣の生息は自然環境の変化による影響が大きいが人口減少や過疎化により狩猟者の減少や耕作地放棄、里山の手入れ不足なども一因があると思う) 数年前から住宅地にも猿が出没し、花壇を荒し糞尿するなど困っている
学校や子ども園の統廃合が続いていることが気になっています。私の子どもが通っている学校はクラスの人数が30人を超えて、先生方も頑張っては下さっていますが目が行き届かなかったりご負担が大きいように思います。保護者の方々からも人数が多いことに対する不安や子ども達への同情のご意見をよく聞きます。子ども達自身も、大人数が苦手なお子さんはクラスにいること自体が苦痛であったり、私の子どもも先生方の目を盗んで行われるイタズラのターゲットにされています。この状況でさらに統廃合により学校数を減らすことに対して常々疑問と不安を感じています。子育て世代では学校や子ども園の選択肢の多少を移住を考える際に重視されるご家庭が多いと思うので、人口流出減少や移住者増加の対策を考える上でももっと重視すべきではないかと思います。
学校統合の問題
教育、スポーツの低下。 湖西線の本数の少なさ。 店がない。
経済活動の停滞
経済規模縮小
経済的な元気良さも都会に比べると厳しかなるのではないかと思います
減少自体は避けられないものとして、現在の人口規模で成り立っている社会システムの根本的な課題を解決する意識や方法があるのかどうか
公園が少ない。いつでも自由に出入りできる公共の場が少ない。
行政サービスの劣化
高島市の財政

高島市内での産業、仕事が少なく子育て世代が定着出来ない。また都市へのアクセスが不便であり、唯一の湖西線も運休が多く通勤に不便。その他にも自治会もまだまだ閉鎖的な感があり、他所から来た人感を強く感じる。
国全体に言えることですが、人口が減れば経済力や賑わいなどが減少し、活気がなくなります。未来ある若者を増やすべきです。
今後、減少した時に市が広い分住民が分散し、役所や公的施設の維持など費用が無駄にかかること
財政難
仕事が減る
子どもの少なさ。 若者が望む仕事環境が整った職種・企業の少なさ。
市の消滅
資料館の閉館など、箱物を無くしてコストカットする方針を感じるが、後々カットする部分がなくなった時に今の働き世代の税収だけで市政が運営できるのか不安。 市内に普通科高校が1校のみであり、子育てに不安
事業継続の危機
滋賀県で唯一消滅自治体だから。 市補足）民間の有識者グループ「人口戦略会議」が2024年4月に公表した消滅可能性自治体に、滋賀県内で高島市と甲良町が選ばれました。
若い世代が進学や就職で市外に出ていき 将来的には高島市が限界集落になってしまう
若者は市外又は、県外へ移住し市内へ引っ越して来るのは年配者が多い為今後市の運営を考えると高島市存続の不安要素しか無い
小学校の規模の縮小
消滅可能性都市（市補足：消滅可能性自治体）
人口が減少することで企業や商業施設などが撤退し、生活が不便になること
人口が減少すると、商店や企業が撤退していき、さらに人口減少が加速して、やがて消滅する。
人口のバランスが崩れて、市内の子供や若い人に、色々と負担が増えると思うから。
人口減少による町の衰退。税収の減少 経済活動の衰退。若者の流出。 町の存続危機、10年、20年先の見通し、 そのために若者の働き口確保が最重要課題だと思います。大企業の誘致を行政としてぜひお願いしたい。

人口増加に関する市議会での答弁で、市の政策課長の後ろ向きな答弁を行ったことは甚だ遺憾である。他所の地域、さらに高島より規模の小さい町でさえ努力し、こどもの数を増やしている場所もあるにも関わらず端から諦めたようなことを言うのはどうかと思う。仮に諦めていないにしても答弁のしかたに問題があるのではないか。このような市役所職員の意識が一番の危機である。
税収、公共サービスの低下
税収減
全てです。 地域の方が自分事として捉えていないのが1番問題だと思いますが、市の運営をされている方達にももっと市民の方と関わる時間があってもいいと思いますし、自分の地域で何かを何とか、困り事を聞いて、どう解決したらいいか考える機会をもっと増やしてもいいと思います。
地元小学校の全校生徒の減少
働く場所がない。 買い物する場所がなくなる。 物価が高くなる。 電車の本数が少なくなる。 子供の未来が不安。
保育園等子育て支援の弱さ。 湖西線の風による運休が多い為、京阪神地区へ電車通勤出来ないこと。
魅力的な町とはいえないから。
交通網の整備。例 JR
日本全体で危機感がある
市の予算減少によるサービスの低下
市政や組織の運営。住民サービスの低下。
交通機関や買物病院への不便がでてくるのではないか
市内企業の働き手の不足
行政、教育、制度その他について全てに個人の意思が優先される（望んでいるかわいなくに関わらず）され都市へと目が向く施策があまりにも多い！
介護職の若い担い手
地域の崩壊
神社、寺の維持管理
電車がよくとまる
子育て環境の質の低下

問11. 人口減少に関してご意見をお聞かせください。

回答
外部から高島市に転入してきた者の視点としての意見です。まず、高島市には豊かな自然条件と、余裕ある土地があるにも拘わらず、その魅力が生かされず、地元の方々もあまり魅力を見いだしていないように思われます。前回のアンケートと同様に、この自然を生かしたスポーツ振興やイベントの開催により、我が町高島の意識高揚が大事だと思います。 また、高島に人口が増えない要因は、通勤範囲内の仕事が少ないことではないでしょうか？私も現在は市外に単身赴任で週末自宅に帰るのみですが、せっかく大阪駅まで1時間で通える特急サンダーバードがあるにも拘わらず、朝夕わずかの本数しか近江今津に停車しないのがよろしくありません。新幹線開通後はサンダーバードはお隣の敦賀行きになっていますので、もっと停車する本数を増やすよう行政から強く働きかけてほしい。また、特急代が負担できない方には、自治体から補助金を出すのも一案と思います。
歯止めをかけるのは不可能。 高島市を維持するには、大幅に減少する前提で集住を進めざるを得ない。
地元で働ける産業、会社の誘致 よそからでも来たいと思う商業施設の誘致
●子育て支援 ・親が安心して働ける環境づくり ・乳幼児や学童らの保育時間の拡大 ・孫の面倒がみられる、あるいは親の面倒がみられる近距離に子が新居を構えた場合の優遇措置 ●コンパクトシティ ●雇用が生まれるよう企業の誘致
・空き家がたくさんあるのに活用されておらず、新築の家が次々に建てられている。景観が急激に変わっているのを感じている。・子どもが参加したり友だちと遊べる活動、クラブの選択肢が非常に少ない。あっても全高島市に対して新旭にしかなかったり、遠くから参加するのが難しい。また、教室が開催しても、参加人数が少なく、子ども同士のふれあい、友だちづくりに貢献していない。お年寄りにはヨガや絵画教室など様々な内容が充実しているのに、同じことを子どもを対象にもっと企画できないものだろうか。・車がなければ生活が成り立たない。公共交通機関の脆弱性は早急に解決する必要があると思う。・男性が働き、女性がパートもしくは家で子どもの面倒を見る、典型的な女性の「孤育て」家庭が多い。フレキシブルな働き方を市で受け入れる体制を整えてほしい。

・若い人達が住み続けられる雇用の創生。 ・観光資源を積極的に活用し、市外からの観光客を増やし雇用場所を確保する。 ・特産品を作り、農業人口を増やす。 ・子育て、教育の環境を他の市町村より優位性を持たせ、若い人の流出防止と流入人口を増やす。
・働く場所の確保 ・通勤圏内の安定的な移動手段の確保
1 市外へのアクセスしやすい道路整備 2 企業の誘致 3 独自の子供手当、出産一時金の増額 4 格安で住居の提供
1.企業を誘致する。 2.湖西線の本数を通勤通学の時間帯に増やす。運行が取りやめになるのを減らす。 3.高島高校の文理探求をレベルアップして いく。魅力を高める。中学校および塾と連携する必要がある。特に塾がポイント になる。
①若者の魅力ある雇用場所、機会の提供②意欲ある若者に対し起業相談窓口の設立③小学生、中学生、高校生、の年代別に高島市に継続して住みたいと思う魅力ある政策を策定し実行する④子育て世代の教育(自分の子供を高島市に継続して住まわせる教育をさす)⑤高島市出身者のUターン雇用場所、機会の提供と告示の実施⑥高島市の魅力発信が、流出防止になると思います。
1人目と2人目の保育園クラス人数を比べると明らかに減少してきている。 5年前くらいの人数が私にはベストとっていて、ある程度のどこで少し足を伸ばせば都会にもいける、ちょうどよいロケーションとともに家族みんなが伸び伸び生活出来る人口であってほしい。
JR 湖西線がよく止まるので、通勤、通学が不便 せめて計画運休の際は代替バスなどの対策があってほしい 防風柵などの対策はもっとすべき 公共交通機関を使っのアクセスの良さが全ての人に対して住みやすい環境になると思う
ありきたりだか、雇用と子育て支援の充実
ある程度の選択と集中を計る
うちの集落には年配の方が多く、空き家も沢山あります。手放される方や貸しても良いと思われる方は少ないと思いますが、田舎に住みたいと言う方も多いと聞いた事があります。なんとか良い方法で、空き家を活用できないものかと思います。 壊れかけの空き家もあり いつ壊れるかとそちらの方も心配です。

このまま人口が減っていくと、ますますお店なども減って不便が多くなり、余計に転出する人が増えてくると思います。京都などへは通勤圏内の為、もっと高島市の良さをアピールし大阪や京都からの移住者を増やしていった方がいいのではないのでしょうか。自然も多いし、土地も安いので家を建てやすいと思います。子どもたちを育てるにはとてもいい環境だと思うので、もっと京都勤務の人たちにアプローチをしたら移住してくる人も増えるのではないのでしょうか。最近高島市に移住してきたのですが、移住するまでは京都や大阪に行くのにもっと時間がかかると思っていたし、通勤可能だとは知りませんでした。
さらに産業を誘致し、雇用を生み出すべき。 湖岸の再開発 バリ島のようなヴィラ及びホテル砂浜の産業活用 gojek など外国人のインバウンドを誘い込むべき ヨガ SUP ハイキング 近年は健康志向の高まり 豆腐を使ったデザートや食事 水の綺麗さをアピール するとより良くなると思います
しゃあない。諦めよう。
すでに非常に教育や子育てに行政が力を入れて環境を整えてこられていて(医療、福祉、教育活動)、さらには地域のサポート体制も充実している状態のいま、魅力をどんどん発信しないのはもったいないです。子育てに重点を置いている層の家庭を引き寄せておけば、これからの教育や高島市の発展に寄与すると考えられます。 また、より一層、教育環境に魅力を加味するために、農村であることを活かした食農教育(できれば医も含めた、医食農教育)に力を入れるのが良いと思います。デジタル、医療、教育、農業、福祉、食の素晴らしい環境が整っているので、独自の魅力を創造して発信できれば、他にはない発展の可能性あります。 すでに土壌が整っている高島市が、自分の魅力に気づかないままではあまりにももったいないです。
デュアルスクール制度があれば、都市部の子育て世代も高島市に呼び込むことができ、高島市の子どもたちにとっても人間関係が広がって良いのではと思う。また私自身、夫が県外の実家と2拠点で仕事をしているため、子どもの園を休ませて実家に連れて行くことが多いが、学齢期になると学校を休ませることは難しい。デュアルスクール制度を使えば都市部の大きな集団での学びと、高島での自然に囲まれた少人数での学びと両方経験できて良いと思う。
テレワークの普及で週1、2の通勤でよくなった人が増え、これまで大津や八幡までで止まっていた通勤エリアが高島や長浜あたりまで広がって来ているように感じる。 この機会にこの働き世代層を取り込めるかどうかで10年後の税収は大きく変わると思う。 マイホーム助成などは市内だけでなく、京阪神での広報もお願いしたい。またテレワー

ク支援のためのネットワーク環境の整備助成、市内の高速ネット回線の使えるフリースペースの整備なども検討して欲しい。
マキノ地域では、小学校が合併したり、お祭りが廃止されていたりして、さびしいなと思う。 保育園や、学校で人数はやっぱり多い方が幼い時期にはよい刺激、経験になるので、子どもがもっと増えたらいいなと思う。 子どもが多いと、地域もさらに明るくなると思う
まず、湖西線がすぐに止まると言うことで、通勤通学に不便。 高島市は自然に囲まれてとても住みやすいと思っていますが、湖西線のせいで子供達も都会へ出てしまってます。安全優先とは思いますが、最近、計画運行とか多すぎるとなあと、個人的に思ってます。
まずは、子育て世代を入れたいのなら働き先でしょう。それも誰が見ても良い、と感じるくらいの勤務先です。
もう少し色んな施設があればと思います。外食する場所やお店、スーパーなども他の市に比べて圧倒的に少ないと感じます。私は旦那の地元に戻ってくるために別の市から昨年越してきました。今年子どもも産まれましたが生活する最低限のお店しかなく外出して遊びに行こうかなと思えるような楽しみが少ないです。引越ししてから休みの日は家で過ごすことが圧倒的に多くなりました。子ども用品を買うにも場所が少ないです。市外へ出てお買い物することもあります。自然豊かで子育てする環境としては向いているのかもしれませんが最低限暮らしていけるお店があるので不便はないかもしれませんがそれだけでは若い人はどんどん離れていってしまうのでは？と思います。それに産後復帰して働こうと思っても0歳1歳で保育園へ入るのはなかなか難しいみたいで。と色んな方から聞きました。不安です。
やはり一部上場企業の大規模な工場誘致によって若者の就労に弾みがつくと思う。
わたしの故郷は合併を繰り返してきたので、人口が減ったら合併すれば良いと思う。
安芸高田市の様に、ありきたりではない観点から、ヒントは出ないものだろうか？
安定した働き場所と子育て世帯に対しての手厚い補助が無いと人口増加の期待は薄いと思う。 『安心』出来る地域でなければ人は離れて行くと思う。
移住、UIJ ターンを希望する人はいる。 職がないなどの不安がある。 職がないとは、希望する職場環境や条件の職がないという意味である。
移住者を増やすための施策として、お試し移住などの試みをするなど敷居を低くして移住者を応援する。移住者をよそ者扱いせず、市開催の区長会議などあらゆる機会に住民啓発する必要がある。高島市に住む自衛隊の隊員（世帯用の官舎、市営住宅の提供等）

を増やしていただき自衛隊関係者である高島市民が増える様に市が誘導し、市として自衛隊に協力する。（一例として、お見合い事業など）
移住者支援が全然ダメ 実際自分が移住するに当たって何も恩恵を受けなかった。条件が合わない
医療費や子ども手当がありますが、大きくなってから中学、高校、大学の方がお金がかかるので、その支援が手厚くなると、もっと子どもを産みたくなるのでは。 今、おしゃれなカフェや、映えスポットが増えて来ている高島市なのでもっと外からの方をウェルカムというアピールをしてはどうか。 公園もたくさんあり自然もありで子育てしやすい。 高校のレベルを上げることで、ここに行きたいという子が増えれば、家族で転居もありえるのでは？
一に降雪、積雪があります。 また、電車の本数も少なく公共交通の便が悪い。 道路状況も悪く、南方面への本数が R161 しかなく、その路面の状態もガタガタで道路補修もほぼなく、ハンドルが取られる時がある。夏場や事故等の渋滞が頻繁にあり迂回路がない。 上記理由で企業誘致も少なく、若者の働く場所が無く、ほぼ、京都、大阪方面へ就職、利便性を味わうと生活の基盤ができ戻っては来ないという過疎化が進行している様に思います。 都会の生活に飽きた、求める場所が違ふと若者の移住もあるようだが、極一部である。 土地柄の特性もありしょうがないことかもしれませんが、国や県に要望し先ずは、道路状況の改善、増やす等を求めているのでしょうか。
何か画期的な戦略で、高島市内の出生率を上げる、もしくは他の市の手本になれるようになる。
価値観を変えることも大事
家族が生活するのに十分な収入がある 働き口、企業が必要 それを作っていくこと
介護施設を多く建設しているしグランピングなどあるが、どこも人手不足。パートであっても、正職であっても補助がほしい。子供や外国人労働者、移住者には手厚い補助があるのに、ずっと在住してる人には補助がなくつらい。お金がほしいというわけではなく、こどもの国や、スキー、ボードに関してなど補助券をつけるなりしてほしい。子育てに関してもグレイゾーン、アイディンティに関する知識が低すぎて、住みたいとは思わない。グレイゾーンなどの雇用されている人も少なすぎて、住みたいとは思わない。習い事なども高すぎる。遊ぶ場所も限られている。悩み相談するところが少なすぎる。

色々なことをしているのはわかるがそれがすべてにおいて良い方向に向かっていない。繋がっていない。
各地域で行われていることに対して、「以前と同じように」という前年度踏襲の考え方が多く、若い人が地域から離れていく様子を見ます。新しい考え方が支持される雰囲気がほしいです。
活用されていない土地の利用価値などを発信し、また立地面での強みを見つけることで、他地域から人や企業を呼び込むことは難しいのでしょうか。
観光、企業誘致他人口増加の為の施策は色々有ると思うが、高島市としての方向性とその施策の中長期的なビジョンの、対外的な発信が必要と考えます。
企業誘致、土地を格安で貸し出す。大型工場の誘致等実施しなくてはならない。
基本的には自民党公明党（維新や国民も）が進めている新自由政策が元凶
京都、大阪へ毎日安心して、通学、通勤が出来るよう湖西線の運行をまずは確保していくことが大事だと考えます。天候不順による運行見合わせとなることが多く、利便の悪さが際立っており、結局、市外への転出に繋がっていると思います。
教育体制の充実が必要。京都、大阪への通勤しやすさの改善
近くで働く場所の確保 通勤、交通の利便性の向上が必要
空き家に若者を住まわせる事など出来ないでしょうか？ あるものをもっと使って色々誘致などやっていけたらいいと思います
空き家の低価格提供、都市部学童の研修（アウトドア兼ねて雲海見学等）
減少自体は避けられないものとして、現在の人口規模で成り立っている社会システム的な根本的な課題に対する社会意識を高めること、解決方法を考えること
現在は人口現象が見込まれる社会情勢だが、今後食料不足や食品の高騰が更に進むものと思われる。そういった対策として、地域野菜や環境の充実。特に水や食品の安全（農薬、除草剤、また PFAS などの環境汚染が安全に保たれていること）が最優先課題だと思っている。そして無農薬野菜の推奨など、地方都市の魅力作りに取り組むべきである。その魅力に気付く人たちが高島市へ移住して来ると今後見込まれると思う。まず生きていくための食料の確保に特化した環境づくり。
現状維持では、減少していくので、違ったことをしないといけない。それも地方がおこなっている同じことではなく、新たなことをしていけないといけないと思う。
古い議員さんの影響で(噂)、新しい店舗や施設が入らない
湖西線が現在のように頻繁に運休しているような状況であると、今後さらに人口が減少していくと考えるため、ある程度強風に強い湖西線にしていかなければならないと思う。また、できれば朝と夕方の本数の増便もしていくべきだと考える。

湖西線が頻繁に運行休止になり通勤できなくなることが解消されない限りは若い人が増えることはないと思います 道路も整備されていないので企業誘致も進まないでは人口は減少するのみです
湖西線が風やトラブルなどで頻回に止まりすぎです。あれでは通勤、通学に利用する人にとって不安要素でしかない。湖西線を利用して通学する子供を持つ保護者の中に、急に電車が止まって柔軟にお迎えに行ける保護者がどれだけいるんだろう？これからもっと自然災害が増えると思われるのに…引越しを考えるには十分な理由になると思います。せめてバス出してもらえとか対策があればいいのにとします。
湖西線とまりすぎ、若い子が働きたい職場がない
湖西線の風対策をした上で、京都発近江舞子止まりの電車を、安曇川や今津辺りまで延ばして欲しい。 そうすれば（それだけでも）、通勤、通学が便利になり、若者の市外への流出の阻止、市外からの移住者の増加が見込めるのでは。
雇用の場が増えればと思う。
娯楽施設や公園などを増やせば移住者も少しは増えそうだと思います。
交通の不便 国道 1 本しかない バイパスの完成が遅すぎる 高島-大津市 電車の本数が少ない 豪雪の対策 主要道路かもしれないがあまり雪のない箇所にも散水設備があるが雪の多い場所に散水がない 電車が良くとまるので引っ越しされた方が近所に 2 件あります 昨年
交通の不便、就職先
交通の便 湖西線がとまる 大津や京都までの道路が少ない(R161 か途中まわりの 2 本) 大きな企業への工場の誘致など
交通の便は悪くないなか地価も安いものの、JR の在来線の少なさから移住の際選択候補に上がりづらいと考えている。
公共交通機関がすごく不便。 湖西線も風等ですぐ取り止めになったりと出かけるのも電車の心配をして出かけなくてはいいけない。利便性がすごく悪い。
高校生の市外流出を防いで。
高校生の中にも、地域環境に関心を持って、地域を活性化するための方策を学びたいという目的で大学進学をする人が一定数おります。また、高校の総合探求等の学習で、地

域の住環境について学習をしている生徒もおります。そういった若者たちが高島市役所に就職する機会を増やしていただきたいと思います。その年齢層が地元で根付くことで、今後就学年齢の子供たちの減少を抑えていくことができるのではと思います。子供が増えるとそこで働く教員も必要になりますから、教育現場として地元に戻ることもできる若者も増えると思います。
高島市が京都・大阪方面の通勤圏でないのが致命的です。
高島市においても人口減少は避けられない。大体、人口一人当たり1石というから、高島地域は大体3万石くらいなので、人口3万人程度がちょうどいいのではないかな。問題は人口の多寡ではなく、バランスのとれた人口構成と個々人が納得できる人生を送れたかどうかにある。
高島市には、働く場が少ない。通勤費の補助をして高島市で住み京阪神で働く為一定の通勤費補助をして働く人を呼び込む。
高島市には自衛隊がいるので更に誘致して地域を活性化してもらいたい
高島市には魅力が沢山あるのに、周りの認知度が低いと感じます。SNS等を活用して高島市をアピールしてほしいと感じます。自然豊かで子供の補助が手厚くて本当に、子育て世代には魅力があるまちです。私も魅了された1人で、他県から移住してきました。高島市で生まれ育った方は当たり前かもしれませんが、町の脇の水路に小魚が泳いでいるのをみて感動しました。トンボがこんなにも種類が多かったことも、高島に移住してから知りました。そういう些細なことでも他所からしたら魅力があります。ご飯屋さん不味いお店がないです。どのお店も手を抜かずに食事を作ってるように感じます。本当に良いところが沢山あるので、もっと認知度をあげてほしいです！！
高島市に引っ越してから2年経ちましたが、近所付き合いは全くない状態です。何かあった時はとても不安があります。私たち夫婦とも聴覚障害者で何かあった時、近所の人たちとコミュニケーションできないと思うのでどうすればいいのか毎日のように悩んでいます。 また地元の年会費は30,000円以上と聞いてますので払えません。70代からはその半額になると言われましたが、あと6年くらいで待てません。自治会長に言われた事ですが、また会費を払う前に信頼できる保証人を探してください。保証人は家族、息子、娘以外の方が条件ですとの事です。どうしても納得できません。
高島市に住む魅力が少ないと思います。
高島市の地域活性化が課題朽木、安曇川、マキノなど道の駅やピクランドなどの観光地を利用してイベントやマルシェを開催する高島ちぢみや高島帆布、扇子や筆、蠟燭など名産品や地元の新鮮野菜やアドベリーを使ったもの、スイーツや発酵食品の販売などポイントラリーのようなゲーム感覚でできポイントは地域通貨アイカと交換するなど、誰もが楽しめるような催しがあればと思う。また、琵琶湖沿いや駅、公共施設などの周辺の草刈りや清掃活動などのボランティア活動をゲーム感覚で行うなど様々な工夫で活

気を響かせていけるような催しや皆でラジオ体操やウォーキングでもいいし各地区で呼びかけ、できるだけ沢山の人の参加が理想。継続することは難しいけれど活気のあるところに行きたいし住みたいという人がいると思うし人が人を呼んでくるように思う
高島市の魅力に惹かれ、関西へ引っ越ししてきました。 アクセスの良さからか、安曇川駅前には住宅地が増え、とても賑わってきている印象です。 子育て世帯への支援も他自治体と比較しても同等以上で、周りでは待機児童などの話も聞きません。 今後子供が生まれても安心して生活をしていくことができると思っています。 その反面、駅前以外では空き家も目立ち、高齢者が半分以上を占める地域もあると話を聞きます。 引っ越し際に空き家を探して色々見てきましたが、活用されていないにも関わらずそれぞれ事情があり手放すことができない家も多いですが、そうではない物件も目立ちました。 高島市の魅力は、豊かな水と豊かな景色。私はそうと思っています。 駅前以外の古い集落の空き家をリノベーションして活用し、若者たちを集める。そんな政策もあるといいかなと感じました。
高島市は、京都、大阪に勤務先を持つ人のベッドタウン的な位置付けとして、居住者を誘致する事ができる土地だと感じます。そのためには、インフラの更なる整備が有効ではと考えています。
高島市は京都にも近く、一見すると交通の便が良いように感じるが、最寄りの高速インター(木之本)まで約 40 分かかり、空港に行くにも 2 時間以上、湖西線は本数が減少しており、非常に交通弱者だと感じます。 また、近年観光客が増加したことにとともに、北小松ー高島付近で渋滞が起きやすくなっています。交通事故も多く、ひとたび事故が起こると高島市から出ることも困難です。 交通が改善されれば、大企業の工場など誘致し、仕事も増え、高島に定住する人も増えるのではないのでしょうか？
高島市は山が近くにあり道幅が狭い もっと交通の便を良くして京都大阪に通いやすくしたら出ていく人も減少すると思う
高島市は子育て支援については他市に比べ劣っていないと思います（医療費・給食費等の支援）が、子供が成長した後進学や就職の際多くは地元に残らず大都市に出ていくのが現実です。 限られた原資を子育ての入口に投下しているが、子供の成長後如何に地元に着させるかの出口での戦略がないように感じる。 チマチマした予算の配分では人口減少は止まらないのが全国を見ても分かる。

高島市は子育て政策は充実しているのに、子育て世代が住みにくい環境にあると思います。
雇用の問題もあるとおもいますが、湖西線が頻繁に止まることで、京都方面への通勤や通学が困難になることも、大きな問題であると感じています。
高島市は自然も多く、地域コミュニティも気に入っている。ただ、交通が脆弱すぎるのが残念。湖西線は風に弱く、すぐに止まる。JR は昨年の降雪時の輸送障害以降、あまりにも簡単に計画運休を適用して、振替輸送も代行バスもない。安全第一は理解するものの、通勤通学といった「普通の生活」ができなくなることの重大性を市も JR もしっかりと受け止めて欲しい。
高島市は消滅可能性自治体との報道がありましたが、とにかく国の宝である子どもを大事にしていけないといけないと思います。子どもを増やすのは、難しいことではありますが、子どもだけでなく人自体がいないと地域行事も簡素化、取りやめが生じてくるのは自明であります。
高齢化しているのだから、当たり前で、減少した市民が助けあって暮らせば良い。減ったら税収も減るが、使う費用も減る。
高齢者が多く、若者が少なくなっていることに将来の不安を思う。
今の高島市では、若い人が魅力を感じることが出来ないのが、人口減少の原因の一つではないでしょうか。何か一つでも、高島市ならではの若い人むけ対策が必要とおもいます。
今の市長、議員では高島市住み続けたいと思わない。
産み育てやすい環境、特に経済的な支援等はかなり充実してきていると思いますが、さらに高島で子育てしたくなるような特色、例えば保育園や学校給食をさらに安心安全な健康にこだわったものにしていくことや、学校教育を子どもが本当に楽しんで通えるものに改革していく等、磨いて発信していけば、若い世代がもっと住みたくなるのではと思います。
仕事があり続けるために、山野に囲まれ、水源豊かな地の利ヲ活かした起業や既存の企業を物心両面で支援継続してほしい。
仕方がないと思う。 車がないと生活できない田舎は、高齢になると不便。
仕方がない部分が大きいと思います。人口減少とともに他の地域以上の高齢化が進むことを想定し、体が不自由な人、車が運転できない人でも人間らしく暮らせる（衣食住を自分で調達できるような）町となれば嬉しいです。
子どもが欲しくても、仕事でまだまだ女性にとって不利益になることが多く、諦めてしまうことがある
子どもを増やせばいいというものではなく 健全に育てる環境が必要である
子育てしやすい街だと思っていますので、もっと広報活動に力を入れてほしいです。

子育て支援に満足はしています。ただ都市部への人口の流動は環境整備だけでは難しいと思う。雇用の安定や職の選択肢の幅が広がればと思う。
子育て支援の充実 結婚祝い金を出す 気軽に住める町にする
子育て支援続けて欲しい
子育て世帯にベーシックインカムで、お金をを給付し、子育てが終わったお母さんが働ける企業支援が必要。 上記施策は一アイデア。昭和 30 年代のように、専業主婦が子育て出来る社会を作る必要がある。
子育て世代が過ごしやすい地域にしてほしい。 公園等子どもが外で遊べるような場所の整備や、地域住民の見守り活動の仕組み作りを市が率先して動いてほしい。 また、子育て世代を雇用している事業者に対して給付金を支給する等、雇用主に対しても特典があるような仕組みを作ってほしい。
子供が産まれても大学に行くようになり、その後街で就職をして帰って来ない。その繰り返しで、減り続けている。大きな魅力的な働き先があれば少しは留まってくれるだろうか。また結婚しない男女が増えており、高島市もまたそうである。新旭町の駅近くでは、人口増加しているらしい。新築の素敵な家が立ち並びそこだけは違う街並みだ。新しい家の集合の所には、若い人達の家族が集まっている。子育ては、周りに同じ世代の子がいないと 1 人だけしか子供がいな集落では、したくないらしい。反対に高島市は、環境が素晴らしいと町からは、評価されている。古い空き家を定年後の方向けに立派に改装し住みやすく提供するのはいいのではないか。定年後の方は、病院や買い物のしやすさ、交通の便も気にされる。どれも高島市で取り組みされて来ていることだと思う。
子供が少ないため集落内の活気がない。 子供を沢山生める環境作りが出来ればどうかなと思います。
子供が遊べる場 主に中学生から大学生の子供が遊べる、集まれる場 大型のショッピングモール、大手のコーヒーショップ、カラオケ等々の場があればいいと思う。 遊ぶとなれば京都大阪にでないといけないのでそれで大学や就職は市外県外の方がいいと思ってしまうので小学生以上が遊べる場があれば出ようという気が減ると思うし、電車の本数もあればすぐ都市部に出れるとなれば余計に市外に住もうという気も減ると思う。

子供達にここ高島市の魅力や、当たり前にある自然の大切さ、貴重だと言う事を、この地に住んでいるという贅沢さを解って貰う事で、出て行かずこの地に残りたいと言う若者を増やして行けば、人口が増加すると思います。
市外の開発が盛んで、高島市にはそれがあまりないため、人口が外に流れていっていると思われる。
市政の問題が大きい。これまでの人口流出の努力が軽んじられてきた。観光客で収益を得るようにし、高齢者の交通の便を図る必要がある。若者の流出だけではなく、高齢者の流出も問題。
市内での仕事が少ない 田舎の良さを生かすべきであるのに反対の方向に進んでいるように思える
市内で具体的にどういう対策をしているのかは知らないけれど、自分の住む地域はだいぶ子供が少なく祭りなどの行事に危機感を抱いている。
市内で生誕した人たちは社会人になって他の魅力的な地方へ出ていってる感じがあります。 また結婚して共働きで子育ての支援が薄いと思うので昔と同じ子供の数はキツイと思います。
市内に娯楽が少ない。
市内に住むメリットを増やす。 住宅関連の補助金や子育て世代の補助金など。 もっと飲食店や若者が住みやすい地域づくりをする。
市内何処に住んでいても平等に受けられる子育て支援、子育てを最優先の政策。 湖西線の風対策、近江舞子?近江今津間だけが強風で運休ならない対策、防風柵設置等JR への支援等。
市民全体が危機感を持つように誘導する。 ・高島市の現状と将来どうなっていくのかをデータを用いて市民に発信していく。 ・市政に関心をより強く持ってもらうように勉強会などを実施する ・学校教育でも地域のことについて積極的に講義していく
私の子供の頃を思い出すと、子供の数がとても少なく感じる。高島市の子供に対する補助金はとても良い。保育園のことはわからないが、通っているこども園もとても良い。大津市から引っ越してきたが、大津市より高島市のほうが良いとみんなに勧められる。しかし、小、中、高校は行かせたいと思う学校はない。現在、中学生の親戚の子供は高島市から大津市まで通っている。私も高校は大津市に通っていた。また安曇川中学校は荒れていると噂を聞く。学校の改革をしてほしい。

私の住む朽木地域では、年々子どもの数が減ってきており、数年後には小学校の存続も危ないのではないかと思うほどです。 ただ、自然の中で子育てをしたい移住者もあり、その人たちにもっと来てもらいやすいようにすれば子どもが増える可能性はあると思います。 まず問題なのは、朽木にすみたいと思っても気軽に住める場所がないこと。とくに単身者が住める物件がほとんどありません。移住に関しても、お試しで住めるような格安の物件があればいいのと思います。 (米原の方には集落で空いている古民家を水回りも含めキレイにリフォームして、移住者に格安で住んでもらえるよう体制を整えているところもあるそうです)また、朽木で家を建てたくてもなかなか土地を売ってもらえないとも聞いたことがあります。そのような住みたいと思っている人が、もっと気軽に住んでもらえるように体制を整えてほしいと思います。
自身の子供も働くところがないとよく話しています。結果、就労を求めて市外に出てしまうことの悪循環が続いているように思います。
自然災害の増加、ネット社会というルールの無い不気味な社会の台頭、生身の人同士のコミュニケーションの希薄が進む中で、子どもを持ちたくないという気持ちも分かってはくはない。仕事との両立を持ち出すことが多いが、ワーカホリックの時代と比べればはるかに労働環境は改善されている。 高齢者が亡くなることは仕方がないことなので、多死社会を越えた先に今までとは違う社会の構築を根本から検討しないといけない。高島だけの問題ではないので、行政と市民と一緒に意識と視点の変革を行っていかないといけないと考える。
自然豊かな街ですが。女性一人でも生活出来る時代になってしまったこと。結婚、子育てが薄れて行った。
自分の子どもたちがもし「将来高島市から出ない」と言ったら、少しさみしいなと思っています。 子どもたちには広い世界を見て、いろいろなことを経験してほしいので。 その上で「やっぱり高島が落ち着くわ～」となれば、定住するといいかなと思います。 長男がもうすぐ大学受験ですが、湖西線の利便性がよくなるのを望みます。
実現可能なコンパクトシティの計画が今後は重要だと思われる。
実際に高島市から転出している人の年齢層を具体的に知りたい。 転出者が減少傾向にあるとのことであるが、若年層の転出割合が多い場合、そもそも若年層が減少傾向にあるのだから、転出者が減少するのは当然のこと。 転出者が高齢層にも及んでいる場合とそうでない場合で、対策は変わってくると思われます。
若い人たちに魅力のある、そしてと収入が確保できる働き場所が提供できる社会環境を構築すべき。

そうすれば、若者がふるさとを離れざるを得ない問題が解消し生まれた里で子どもをつくり育て人口も増加に転ずるはず。 でも、そんなことはみんな百も承知のはず。 ただ、みんなに危機感がなく、対策を真剣に考え実行しないことが問題。
若い人を受け入れるための産業の誘致。観光地としての魅力発信だけでなく、根付いてもらえる環境を創出する。観光などは一過性のもので、人口が増えれば自然と自分の周りの環境に魅力を探すものである。道路の整備や交通手段の多様化を促す。琵琶湖の湖上交通を真剣に考える。観光目的だけでなく、琵琶湖の西と東を結ぶ交通手段として湖中道路等も考案する。
若い人達が安心して働ける場が少ない。京阪神地区へ働きに出ている人も、すぐに湖西線がストップしてしまうので、高島市内に住んで、働きに出るにはリスクがあるので、便利な所に住もうと高島市を離れてしまう。また、農業に従事する人がどんどん減り、放置された田圃も増えている。なんとか、若い人たちが安心して住み続けられるような対策がほしい。このままでは、益々少子高齢化が進んでしまうのではないか。自然豊かな高島市の良さをアピールし、働く場所を増やしていける工夫が必要だと思う。第一次産業の魅力も伝える工夫が欲しい。
若い人達の負担が大きすぎる事がないようにできる限り減らしてあげてほしい。 子供をもうけることに対して気負わず不安を抱かなくてもいい政策、経済面と周りの人からサポートなど。行政としてできる事をして欲しい。
若い世帯が働ける環境、職場の誘致・住宅環境・保養娯楽等の施設設置・補助金等の支援等々
若い世代が高島市に魅了を感じていない。近隣市町村にでて行きたがる。 買い物、遊び、交通の便利さなど
若い世代を呼び込まなくては人口減少は進んでいくが、仕事や将来の子育てのことを考えると高島市にはまだ不安な部分が多いと思います。
若い層が市内に止まらず市外へ行ってしまふことがひとつの原因であると考える。
若い層の就職先がない。 京都市や大津市に就職しながら高島市に移住するには交通の利便性がないとダメだと思います。 後は大学があればその後、地元就職してくれるのでは？魅力ある就職先があればの話ですが。
若い方々が就職できる企業もすくなく、魅力がある市でもないため、これからの方々が市を離れてしまうのも仕方がないのではと思う
若者が、結婚したいと思えるような相手を見つける(出会える)ことがそもそもなので、そのためにはどんな方法があるのかは、そう簡単には分からない。経済的余裕は結婚したいと思えるひとつの根拠なのかもしれない。

若者が市外へ出てしまっても、ふるさと納税などで市へ恩返しをしてくれることで、維持出来ることもあるので、必ずしも住み続けることだけに重点を置く必要はないと思う。車必須の町で高齢になって住み続けることに不安も負担も感じる。
若者の就労場所が少ない 時給が低い
若者を住みたいと思う街づくりが必要だと思う。 店をもっと増やしたりカラオケは必要だと思う。
若者を率先して雇用する企業が少なく事と海外の方を優先雇用して求職中の若い市民の働く場所の減少にも繋がっているのでは無いかと思う
若者世代への家賃補助等での支援
若年人口が少ないため、一定の人口減少はやむをえない。若者の定着対策は当然重要であるが、高齢者が増加するのだから、高齢者に焦点をあてて、長く元気で働ける社会づくりをめざしてはどうか。
手当てや補償をもっと手厚くするべきだとも思います。
就職する企業が少なく市外で働くしかない。湖西線も強風や雪で運転出来ないなので度々止まる。お店も(食べる)夜遅くまで営業していない。
住みにくさを反映していると思います
商業施設がない。堅田まで行かないと遊べない。 子供が遊ぶ屋内施設がない。 市内にクリニック等の産婦人科がない。 高校がない。遊べない。だから市外に出ていく。
小学生の子供がいるが、自分の頃よりクラスも少なく子供会もなくなっており人口減少を身近に感じる。そのなかでも地域の方々の朝のみまもり(民生委員の方でしょうか。)は大変ありがたく安心して子供を学校に送り出せる。子供の医療費が無料だったり充実した市のサポートを感じているので是非他府県の方々にもその魅力を知っていただき高島市に住んでほしい。
少子化については、各世帯で様々な価値観もあり単純に子どもの数が増えていかないのは仕方のない部分があると思うのですが、一方で子ども一人あたりの子育てにお金がかかる傾向が強くなっている気がするので、現在の子ども手当の支給額では間に合っていない家庭もあると思います。 まずは高島市内の、人口減少の現状を踏まえた経済のあり方を考える必要があると思います。
少子高齢化社会のため、人口減少は仕方がない部分もある。 増やす事を念頭におくならば、更なる定住移住対策を強化していくことは課題かと考える。 誘致対策や、観光資源の見直しなど。
職種が少なく働きたいところが少ない。

職場には京都大阪で学生時代を過ごした若い人が毎年何人も入社・転職して来るのに、数年ですぐ出ていってしまうのを目の当たりにします。賃金や仕事内容人間関係が主因としても、市内に住み着く魅力を感じてもらえないのも一因と思います。都会に慣れた若い世代の転出対策をして欲しいです。（駅前が閑散としていて車がないと何もできない、でも車はコストとしか思えない、融雪装置の弊害で道を歩いても錆だらけで、潰れかけた空き家もあり雰囲気が暗い、など。）ドラッグストアばかり増えて、若い世代（働き盛り＋小学生高学年？高校・大学生）が気軽に集える・過ごせる・楽しめる場所が少ないと思います。自然豊かなことを活かしてアウトドア好きが移住することばかり期待しても、人員不足で仕事が忙し過ぎて休日疲れはて、アクティブになれない親世代も多そうです。アウトドア嫌いな人にも魅力ある街であって欲しいです。
人との関わりが、生きて行く上で一番大切と思うので人との関わりが持てる町。自分が役に立てる場を地域に持つことで生きがいが出て、活気ある町にできるのでは・・
人員の減少又は少子化に伴い自治会の活動に制限があったり空き家が増加したり又は持ち主不明の墓石が増えているので 町内もしくは市で話題に取り上げ 改善策を取り入れていかなければいけないと思います
人口がなぜ減少しているのか、生産人口層の多くが市外へ流出しています。 高島市に残るという選択をするためには、何が必要なのかを今一度行政に関わっている人たちが認識すべきではないかと思う。（市長、市議会議員が特に） 本当に今の市政でいいのか、疑問に感じるが多々ありすぎて…。 「高島市にいたい」と思ってもらえるものとは何か？ 暮らしを豊かにするものは何か？ マーケティングなどをしっかりと、ソフト面ハード面も含めてもっとちゃんと認識して構築して行くべきではないかと思います。 そこをしっかりとできていないからこそ、消滅危機行政（市補足：消滅可能性自治体）に選ばれている、ということにちゃんと気が付くべきかと。
人口が減るのは、交通網が弱いことが原因の一つだと私は思います。①車の場合……小浜方面に行くにも、最短距離の道が1本しかない。敦賀経由で行く場合だと単純に時間も距離も倍以上になる。大津方面に行く場合も、国道161号線の白鬚神社辺りから北小松の区間で交通事故でも起これば、北行きも南行きも大渋滞になる。②電車の場合……JRの判断であるものの、大雨、大雪、暴風で電車が止まる。止まっても、振り替え輸送もバスの要請もない。①②の場合、各々に共通するのは、電車が止まった場合、道路が塞がった場合、自宅がある高島市に帰れないんです。帰れないから、人が流出するんだと、私は思います。
人口が増加するには雇用を生み出さないといけないと思う。 その為には企業誘致や道路の整備が必要不可欠だと思う。

湖西道路が木之本位にまで伸びたら交通の便も良くなるし企業も高島市に参入しやすいのではないかと思う。
人口は国力の源泉だと考えています。その人口とは、働ける労働力世代のことです。また、人口を維持するには結婚する人を増やさなければなりません。 しかし、社会負担などの増加、アウトドアおよびインドアといった娯楽の増加、様々な情報が得られる SNS の普及、未婚者の社会的地位の上昇など、様々な要因によって、結婚をしなくても問題ない、あるいは結婚する事が出来ないと考える人が増えていると思います。 このような状況下では、もはや日本国民だけでの人口の維持は不可能であり、移民を取り入れて国力を維持するか、衰退するかの二択かなと思います。 どちらにせよ、日本国にとって悪い未来しかないと思います。政治家のせいだと言う人もいますが、ここ民主主義国家においては国民のせいと同義でしょう。
人口減は問題ではありません。なぜ、問題か教えてほしいです。便利になって、労働力が少なくなったのにも関わらず、なぜ人口が必要なのですか？ 戦後、兄弟が 5 人、10 人いた時代が当たり前なのですか？ 日本と世界の国々と比較してください。
人口減少には、理由と課題があるから。人口が増減にかかわらず、現在の住民が(個)、満足する様な高島の特徴、利点、住民が求めるもののバランスを整えば、増減も変動するのでは。
人口減少の原因をしっかり分析を
人口減少は仕方のないことだと思います。それよりも、人口の年齢構成が問題だと思います。若者が少なく、高齢者が多いので、市政に関しても若者の意見が採用されにくい。ただ、これから自然豊かな田舎は魅力を増してくると思うので、都市に飽きた人たちが、田舎暮らしを求めるかもしれません
人口減少は全国的な社会事象であり、くい止めることは不可能と考えます。人口減少や高齢化の中で、高島らしい個性ある地域づくりを目指してほしい。
人口減少対策を推進して頂きたい。
正直、琵琶湖と自然以外に移り住む魅力って何があるのかな？
正直市内での生活は不便だと感じる。 ・働き口の企業数が少なくどこも給与水準が低い。 ・交通の便が悪い(市外に出かけにくい) 車は主要道路が一本道なので事故や混雑で渋滞すると身動きが取れない 電車は運賃が高く本数が少ない また最近は以前に比べて頻繁に運休する ・若者向けの娯楽施設や商業施設が無い ・自治会の役(消防団など)を当てられ休日が潰れる

などが人が市外へ流出する原因だと思う。 また市内の企業の給与水準が低いので都会で働いていた人が市内の企業に転職した場合、収入が下がったにも関わらず前年の収入に応じた高額住民税を請求されるなど一度市外へ出た人が戻ってきた時のメリットが無いと思う。 中途半端な規模の商業施設やドラッグストアではなくコストコのような集客力のある商業施設や娯楽施設、大手企業を誘致したり、地元へ戻ってきた人への減税など優遇措置があればいいのではないかなと思う。
前項でも述べた通り、人口増加をさせるための取り組みに関する市職員の考え方を考えるべきである。「よそからリタイア世代を呼ぶ」ではなく、「地域でこどもを育てる」という方にシフトし、若い人が過ごしやすくこどもを育てやすい環境を整えることが重要だと考える。こども園の統合という名の廃止についても、予算がないということだけではなく、いかにこどもを育てる環境として高島が素晴らしいか、いかに子育ての環境が良いかをアピールし、父親母親世代を呼び込むことが必要なのではないかな。
前述の通り、学校やこども園等の統廃合は人口減少にも無関係ではないと思います。
全国的に出生率低下、高齢化が続き、当市でも仕方がないかとかかもしれない。大阪市内では二極化し、一部地域では小中学校がマンモス校となっている。その要因は何なのか。若い人が住みたくなる環境作りが必要。それは何か。従来のやり方を維持、踏襲では高島市も日本もつぶれそう。 拙い意見を失礼しました。
全国的に少子高齢化が進んでいるのはわかっているつもりだったが、退職して地元にいる時間が長くなって、日頃子どもの声が聞こえなくなっていること、近所の人たちが思いのほか高齢になっておられること（その中には自分も入っている）若い世代と普通に日常であまり出会わないことなどが、働き盛りの職場の中とは違った、実感を伴う危機感として感じるようになった。地域の担い手がどんどん少なくなっているため、今まで普通に行われていた行事なども見直さざるを得なくなったり、自治会の役員選挙でも誰を選んでいいかわからなかったりする。条例などを現実に合わせて変えていく方法しか今は取られていないが、先細りの未来に対して崩壊の不安感も大きい。地域が廃れれば国が減びていく。かといって、外国人の受け入れによる人口の水増しは、差別的と思われるかもしれないが解決になるとは思えない。現役世代に魅力を感じてもらう地域創生が緊急課題だと思う。
他県から引越してきて、高島市の交通機関の不便さをとても感じています。自家用車がないと行動範囲が狭まり、徒歩圏内で行けるところも限られています。歩道もガタガタでベビーカーを押して歩くのも歩きづらく、ますます外出が遠のいてしまいます。今後は高齢者の方などが車に乗れなくても外出しやすい環境づくりをしてほしいです。
他府県からの移住者の推進 大学の招へい

大企業等の働き口確保が最重要です。 子育て支援にお金をかけていても、就職で高島市を出ていく若者がなんと多いことか、働き場所をください。 行政として、先を見て、推進していただきたい。
大阪京都に近い距離にあり環境は素晴らしいものがあるのに高島はそれを生かすのがとても下手だと思う。 お金を落とす仕組み作りをもっと考える必要がある。 観光にしても、比良トレイルもビワいちもお金を落とす仕組みにはなっていない。
地域での草刈りや川掃除など、参加者の高齢化が見られます。人数が減っているのにこのままだと作業がかなりの負担になります。 また、まわりに空き家が多く、倒壊しそうな家屋もあり、台風の時など危険です。
地域活性出来る産業の開発。移住者への仕事の斡旋。地域交通の利便性の構築。子育て世代に対しての画期的な援助政策、田舎であるなら、市政独自の田舎を生かす都市構想、計画の策定。高島市が市となった利点、メリットが感じられず、以前の各町であった時の方が独自性を感じる事が出来た様に思う。市政も大きくなると、小さなところが見えにくくなっているのでは？
田園都市を創るのは良いかもしれないが田園の、部分が遅れて居ると思う、何故、農業、林業等、一次産業の再構築を考えないのか？
田畑を管理する人がいなくなり、荒廃することが心配。 自治会活動での公園やグラウンドの草刈り等をする人がいなくなり、荒廃すること。 実家の新旭町岡で区の事業として、びわ湖岸公園の草刈り、また河川の草刈りに参加できる人が少なくなり、荒廃することも心配。 通勤の足である JR 湖西線の減便、廃止等が心配。
電車がこれだけ止まれば、外に出れない
都会で暮らしてきた身からするとこの辺りには何にもない。暮らしてて何も楽しくないから人が来ようとしなない。大津ぐらい発展すれば人もいっぱい来ると思う。
冬季の積雪による不便さ 公共交通機関の縮小による不便さ
働き盛りの女性にとって魅力的な就職先が手薄であることと、交通事情特に雪や交通事故での国道の寸断による交通網の脆弱性が人口減少を招いていると思われます。偏に他の市と比べて企業誘致が少なく、観光や1次、2次産業に集中してしまっている事が原因と思います。大企業も少なく、中小企業だけですと世間の言う育児休暇等計画的にラ

イフワークバランスの取得が出来ていない事も実情です。交通事情の脆弱性について、国道は北小松周辺の事故による寸断、雪による寸断といった形で何かあれば陸の孤島になる事が多いと思います。北小松地域のバイパス路がなければ高島市自体の孤立を招くのではと懸念しております。併せて鉄道についても北小松地域での風による寸断です。鉄道も県内との大切なライフラインですので、極めて地理的に難しいですが、鉄道の正常性確保も重要な要素と思います。
働き先の確保。湖西線の安定運行（あまりにも運休が多く通勤に支障をきたしている）。上記2点が必須だと思う。
働く環境が少ない 道路の少なさと、交通の便の悪さ
働く場がなければ当然都会で就職すると思う。
働く場所が限られているので、企業誘致が必要であると考え。 交通の利便が悪いので、道路や鉄道のさらなる改善が必要と考える。
働く場所の確保 偏差値の高い大学の誘致 交通手段の強化 以上が必要
難しい問題ですが、交通の便が悪いのが一番のポイントだと思います。 市外に出た時に、高島出身だと言うと、「湖西線のとこか」「電車めっちゃ少ないよな」「よく止まるよな」と言われます。 加えて、白鬚神社の前の道路が危険だと感じています。もう1つ道路が欲しいです。
日本全国、人口が減っていく中、高島だけが増えていくことはなく、特効薬もないかと思いますが、魅力的な地域であり続けることは、在住者にとっても、市外の方へのメッセージとしても大切なことと思います。帳面消しの、小さな予算で効果の出にくい事業をするのではなく、大胆に選択と集中をしていただきたいです。
日本全体の課題であると思う。 世界では人口が増えているので外国人が日本に入ってくるとが考えられますので各自治体がそのような事に対応できるようにしていったらよいのではないのでしょうか。
年々、自治会の運営、行事の運営が難しくなっている実感がある。自治への意識の変化。ライフスタイルの変化。人口が減り、参加する人がどんどん減っている。規模を縮小したりする他ない。
必然的に高齢者は減っていくので、人口を増やすのであれば出産、子育て、育児を他の市町村を引っ張っていくくらい突飛した差別化をすべき。でないとどんどん減少して発展も止まり、今よりもっと住みにくくなる。
放置していれば、やがて消滅する。今の間に対策をねるべき。高島市の魅力は何か。何が不足しているか。結構明らかである。私の周りには、高島市外から転入されて来られ

る方が、最近増えて来た。転入者を積極的に増やすアピールを増やすべき。やはり魅力は自然環境。でも市のポスターには、あまりにも山奥のような写真が用いられていた。琵琶湖やマキノ高原など綺麗な写真と、スーパーや学校、保育園の整備など、日常生活には支障がないこと、さらに本数は少ないが、新快速を使えば、大阪駅まで1時間あまりで行くことが可能など、強調すべき。また、コロナ禍でオンラインで仕事ができることがわかった。ネット環境を充実して、オンライン上で仕事ができるIT企業などを誘致すべき都会のゴミゴミしたところで働くより、ゆっくりと、のんびりした空気の中で働きたい若者はきっとたくさんいるはずです。
魅力ある街 原子力が近く不安を払拭
魅力ある高島市のメディアへのより多くの露出
問8、9、10のその他のフォームで書かせていただきました
例えば、地元の方が使っていた場所で、風車村がありましたが、STAGEXになってから、地元の方が集える場所ではなくなったなという印象です。 大きなホテルの建設、それに伴う従業員の方の住む場所の建設、バイパス工事のための景観の悪化、ゴミ処理施設建設を勝手にすすめるような動きは不信感しかありません。全然地元の方の事を考えてないな一って思います。 そして、子どもたちにもっと自由な学び、地元のことをもっと知る楽しさを。 地域のことを知っていると愛着って湧くもんだと思います。 大人ももっと地元のことを知った方がいいと思います。
<JR 湖西線> 列車の風が吹いたら止まる。アクセスの問題として対策を検討
若い人が高島市で生活するには、働く所が少ない。都会で大学生等が多く高島市に大学がないのでどうしても若い人が帰って来ない。自然が多く恵まれていると思う。空気は良いし、田舎暮らしに良いと思うが、高齢社会で老人が買い物する事が難しい。工場や商店デパート等が出来ると良いですね。土地は充分に有るのもったいないです。
安全を最優先にすることは良くわかりますが、止めすぎ。JR 湖西線の本数が少ない。新快速の下り（敦賀行き）の最終が早すぎる。
高島市に限ったことではなく、国全体の問題だと思う。国が変わらない限り高島市も変わるの難しい気がする。
このままいけばどんどん過疎化がすすんでいってしまうので、歯止めをかけるような施策を作してほしい。
人口増加対策近々に取組む必要あり。このままでは立行かなくなるおそれがあります。全住民に周知徹底する現状のアナウンスを希望します。危機感が無い様にみえます。
公共交通機関がなさすぎる。日中、京阪神へのアクセスがわるすぎる。天候に左右されすぎて通勤ができない。代行バスがほしい（通勤、通学時間だけでも）

若者の仕事がない。企業への誘致や大学、大手のからんだ商業地の誘致など、気候や交通の便もあるでしょうが、いつも決まるのは草津あたりの土地ばかりです。もっと県レベルで湖西地域に目を向け魅力ある市に努力してほしいものです。
働ける施設があり、老後も継続できる職場があれば移住もあると思う。今は年金では生活が苦しいので、元気なうちは少しでも働きたいが、それなりの職場もない。
JR 湖西線が風の為、頻繁に止まっていますが、これでは若い人の通勤、通学等に支障が出てしまい、若い人達が住みたいと思っても厳しいと思います。
企業誘致で職場の増加（雇用の確保）
JR の本数を増やし、風による運行停止をなくすこと。インフラの整備が他の地方から移り住んでくれる最大の問題だと思う。
子供が年々減少しているのは一番はお金の問題が大きいと考えています。出産祝い金など小さな子供を持つ家庭に支援も必要だと思います。
湖西線のダイヤ減。すぐ運休では会社や学校の事を考えると転居も考える人がいると思う。 市内や近辺に働く場所がなければ、学校を卒業しても他県へ出てしまう。
早く交通インフラを改善して雇用等の改善につなげてほしい。 1. 湖西線→暴風対策をして、止らない湖西線にしてほしい。 2. 湖西バイパス→4車線化を早く実現して渋滞をなくしてほしい。少なくとも完成予定スケジュールを提示してほしい。 3. 琵琶湖線のように京阪神のベッドタウン化の為の政策をして人口増につなげてほしい。
交通が不便だと思う。{電車の本数が少ない。すぐ止まる（湖西線）。もし運休するのならそれに代わる交通手段（バス等）を無料で運行するべき。}（対応すべき）
就業先の拡充 生計の成りたつ賃金
若者の流出を少なくできるかどうか 湖西線の暴風対策、R161バイパスの早期完成
地域の近くに会社等ゆうちしてほしい。若い人は遠くへ働きに行っているから、廃校となった少学校の建物の利用を考えてほしい。
大学や企業の誘致をする
自然現象なので仕方がないと思う
高島市内から出て行くを少なくして移住者に力を入れて人口を増やす
現実的には致し方ないのだと思いますが、車に乗らない限り大変不便な毎日を暮らさねばならない市内です。JR との関わりもあるからなのではないでしょうか？ 行動しにくい市内だと思っています。市内循環できるバスや魅力ある催事に参加できる手段を増やし、高島市の良い部分を体験するチャンスを作って欲しい。

今後、人口減少は避けられないと思う。いかに減少数を少なくするか、そのため住みやすい町（子育て、教育、福祉 etc）で、市内に職場（仕事）があること。
大阪、京都、首都圏からの移住、定住策を唱えて呼び込む以外、道はないと思う。空き家をリノベーションして住んでもらうなどと働く場の確保など。大津市葛川自治区は朽木の南隣接地域。一家で移住、定住で、少・中学校の存続維持を計ってます。様々なツールを提供して受け入れ体制の整備が急務です。
子供に将来は高島市にもどって生活するように出来るように教育する。 生活できる様に大企業にきてもらう 道の整備、交通の便の向上 若者、若夫婦子供に手厚い補助
人口減少に関しては、日本全国の問題だと思います。でも私個人としてこれといった良いアイデアが浮かびません。
人口減少となっていると一言で片づけることが理解できない。 ・新社会人となり市外へ出られたのか？ ・高齢者が減少（転宅）したのか？（死亡でない） ・逆に高島市へ転入された方々の要因は何か？ 等々、分析しないと目標をかかげる根拠に欠ける。単に数値目標であって、結果としての政策の良さ悪さの分析ができない。
若い方も地元集落で生活が出来やすい組織作りが必要なのでは？今も地元に残っている割合の高い地区の何か特徴等をみつけ参考にするのもいいかもしれません。
高島市に戻って来ない理由の一つに子供の将来を考えると教育環境の悪さがあると言われます。市内高校からの国公立大学への進学率向上につながる施策も必要かと思います。
人口減少は避けられない。人口減少を前提とした対策を。
空家と老人家族が増え、少子高齢化が進んで活気のない集落になってきた。私たちではどうしようもない。
若人へのケア。交通の便。働き場所。
日本の未来が心配でならない
より良い生活を求める人間は、負担となる結婚、子育てを避けているのではないだろうか。
問10のその他のところに書いたとおり、国・県その他企業も含めて、日本全体があまりにもものほおずに都市部に集中する施策を放置してしまった結果であると思う。都市部へ出た人が全て満足の行く日常であるかどうかは非常に疑問である。国民全ての平等は保証されるべきではあるが、そればかりを認めると、地方は益々疲へいしてしまう！そしてもう一つ、地元、地域を「守」と言う啓蒙活動も重要では無いか？
若い人の仕事が少ない様に思う。

若い方の出会いを多くして、結婚して、子供を作ってもらい、育児休暇を長めにとってもらう制度を進める。
高齢化の街になり、活気がなくなったり、高齢化のため医療機関がひっ迫したり、店が少なくなったり、大変です。又、介護施設が足りなくなって、どうなるのかな？
若い世代が少ない、若い人達が働ける環境がないに近い。そこを何とかできたらとずっと思います。
若い人への仕事の確保。湖岸の整備（芝生ひろば。レジャー施設、月や虹が眺められる栈橋、カフェなど若い人が遊べる）
・インフラ整備（湖西線など本数増加、風対策→バスの確保） ・企業誘致（全国にアピール・求人も行う） ・道路（161号の早急な整備など） ・ショッピングモールへのシャトルバス（有料） ・病院（高島市民病院）などのシャトルバス（有料）
市外からの定住若者（40才以下ぐらい）に毎年10年間くらい給付金を20～30万支給してみますか？
若い人の働く場所が少なく感じる（工場、建設業以外で）
滋賀県内の他の自治体に比して、役場主導の教育や体力作りの場（システム）の提供が乏しい様に思われる。例えば、草津や守山では教育者ボランティアを集めて誰でも気軽に知りたい情報共有に務めたり、体力作りについては、安値に参加出来るプールやトレーニング設備の充実があります。参考までに、守山のエコパークではトレーニングルーム1日使用が65才以上で100円で使えます（管理者も1名常駐しています）。人口減少を止める策として、教育への情報提供と体力作りへの支援は不可欠だと思います。
生活面・収入面等に市外・県外の方が魅力が有るから人口が移動（流出）する。
JR 湖西線の廃止が一時騒がれましたが最近静かになりました。この件に対して再度そのような話しが出てから騒ぐのではなく、普段から機会あるごとに話し会をして絶対に阻止しなければいけない。存続あるのみです。もし廃止となれば100%「市も消滅」が目に見えています。JRに事あるたびに申請し、我々も出来る限り湖西線を利用することです。
全国的に長生きの県であるが「なぜ、なぜ」分析する必要がある。結果をPRする。
若者や学生達が通勤、通学に不便な交通網ではダメ、行政にビジョンが何も無い。公務員は市民の税で生活しているのではないか。もっと賢い人間を多くいれろ。
市長、市議会議員に物申す（これは1例に過ぎない）湖西線が風で止まる。何年たったら改善されるのか。もっと真剣になって取り組んでほしい。今、市は人口減少に対して関心度がうすいように思う。高島市の発展は（人口増に対して、又、人口減少に対して）大きな旗をあげる市長候補をさがす事であり現市長ではだめ。このままでは向う3

5年の内には市の存続はありえない、市は村となる。このぐらいで止めておく事とする。
第1子～第3子位までは教育費は不要にしてはどうか？
①湖西線がよく止まることによる影響。就職、通学等において、電車が止まるので予定がたて難いところから市外に住居を構えざるを得ない。また、風等の影響だけなら近江舞子止まりは考え難い。JRとしっかり交渉して安定した通勤等の確保に努める必要有②交通アクセスー湖西バイパスの敦賀までの早期開通により、地域に働き場所を提供できる環境作り必要。他地域に行けば、非常に難しいところであっても、ビックリするぐらい長いトンネル等により地域を活性させているところがある。敦賀までトンネル等を通せば、市内から10分以内で行けるようになり、工場進出等の面において、京阪神から北陸へのアクセスが良くなり地域活性の源になる。
子育てに対する助成が必要
税金が高すぎる
・他府県から移住してくる場合、車も免許も持っていない人も多いと思うので、駅前の活性化、バスなど公共交通の充実、カーシェアサービスなどの整備が重要だと思う。 ・地域性を活かした教育の充実（問15につながる）
人口減少問題は高島市の問題では無く日本の問題です。なぜそうってしまったのか・・・？ 色々理由があるかと思います。 高学歴→晩婚→子供すくなくなる 高学歴→仕事がおもしろくなる→仕事優先 高学歴→女性が仕事を持つ→自立の心→結婚否定
若い人の仕事がない。
・湖西線がすぐとまるので、京都や町の方に働きに行っている人が住みにくいので、高島市に家をもたない。 ・毎月の広報でも死亡は多いのに対して出生は少ない。全国的に子育てに時間もお金もかかるので、子供を産まない人が増えているし、仕事も妊娠すると同じ職場に働くのがむずかしくなる。
若い人達が住みたいと思う街作りにしなければいけない。
前期高齢者として、防災・防犯などへの備えに少し不安を覚える。地域内での声かけは、私個人としてはやっているが、若者たちも少しでも活気があるといいように思います。
・このまま人口が減少していくと、空き家の増加と地域行事の担いで不足が問題になってくると思います。 ・空き家を放置しておくとも倒壊の恐れが高まると思います。空き家が倒壊してけがをする人が出てくるかもしれません。

出生数が減っている現状では、移住による人口増しかないのかなと思う。その為には魅力ある町作りが大前提になる。
若い世代が、経済的基盤を確保し、かつ自然環境の豊かな高島市で、生活の基盤を築ける事が必要である。湖西線はあるが、季節的な自然の影響で安定的な運行はできていない。湖西線が運行できない日があると、通勤の手段がなくなるので、安心して通勤（市外へ）出来ることが大切であり、交通網の整備が必要かと思われる。市内への企業誘致で若い世代の働く場の確保が必要かと。
産業の誘致を考える、空き家の解消にもなる。
人口減少は、道路の整備にも影響している。人口が少ないので、県・国にも意見を取り上げてもらえないと悲しく感じています。テレビ等で高島市が取り残されていくのでは？と報道されるのがとても淋しいです。
子供の頃より、学業やスポ少なりで他市や他県に出るのがあたり前になっており、成人になって、便利な都会の生活から田舎の生活に戻る人は少ない。田園都市計画も、中核となる都市があって始めて成り立つ話であり、大都市一極集中の体制では不可能である。
高島市は充分、子育て支援がある事を PR していく
①国道（バイパス）等の渋滞と湖西線の不通対策②農地の荒廃化と農地保全対策③若者の流出と市内就農対策④定年後も高島で住み続けられる環境整備⑤空屋空地対策と流入人口対策⑥子育て環境（県内1位）の充実
人口の激増による近隣環境の大きな変化は望まないが、少なくとも現状維持程度が好ましいと思っています。しかし、若い人が流出し、高齢者のみの家が目立ち、この先空き家が増えていくことを懸念します。防犯上や野生動物の住み処となったりする上でも空き家は、問題が多いと思います。
若い人達が、就職や結婚で出ていっているのが現状で活気がなくなっている。働きたい企業や仕事がないのも理由のひとつで、市外・県外を希望している人も多いし、実際にそう感じる。又、湖西線で通勤が可能な所でも、度々強風で止まってしまうのでは、本人はもちろん、家族も大変である。
しかたがないが、少しでも減少をくい取る為、市外からの転入を誘致する方法があればいい。
高校を卒業し、進学して都会に出ると、卒業後地元に戻ってくる人が少ない。高島市に職場（企業、店舗、施設など）が多くあるとか子育てがし易い、都会への通勤がし易いなどの魅力があれば、若者や生産年齢者も市内に住むことができる。自然が温暖化の影響で、台風や降雨、降雪が災害につながりかねなく、湖西線の運行見あわせが頻繁にあり、通勤、通学に不安な事となっている。負のスパイラルとなり、人口減少に大きく関わっていることが否めない。代替の交通利用（公共の）も出されず、安定運行ができるよ JR に願いたい。

1 番の問題は JR の天候事情ですぐ運転中止になること、これでは他の地域より流入する人は、増えないと思います・
これまで培ってこられた先人の知恵、伝統文化などが継承されなくなる可能性が感じられる。
私は独身で、これから結婚して子供を作るより、老後が不安で、なるべく老後の資金を貯めようと思います。20代、30代の子が、その様な考えにならなければ良いと思います。
市内には、大学を卒業した子が就職する企業が圧倒的に少ないと思う。市外又は県外（京都など）に通勤できる距離に高島市はあると思うので、もっと通勤アクセスをよくすれば、定住できる環境をつくる事が出来ると思う。特に、湖西線が、これだけ強風に止まると、通勤はしんどい。何とか市としては対策すべきです。
子供が少なくなっていますが、子供を大事にしていく以外にないと思います。未来のために子供の意見をよくきいてとりいれてほしいです。今の子供達はゲーム等の影響で記憶力や反射能力もすぐれてます。やさしく育てれば必ず良いアイデアや意見を言ってくれます。子供達が大人になっても市内に住んでもらう事を心から願ってます。
全国的であり、かたない。
若い人の都会志向を防げるといいのですが、何をするにも不便を感じる高島。自然豊かだけでは、生活するに不便なのでしょうね。一方、自然豊かが好きで、家の建築、空き家のリフォームも近所にしておられます（県外の人）。自然豊かで伸び伸び暮らせる・・・アピールできるといいですね。
市として持続に不安を感じる。
人口戦略会議で滋賀県では高島市と甲良町が若年女性の人口減少によりいずれ消滅する可能性がある自治体とされました。やはり若い女性が働く場所（働きたいと思えるところ）がない為商業施設がある他市やどうせならと都会へ出てしまい、そこで結婚や出産をして、戻ってこないのではないかと思います。自然や空き家などに恵まれているので子育て世帯(もしくはシングル子持ちで)にどこの他府県よりも手厚い支援や働き場所などを打ち出していけばと思います。
子供達が選びたい働ける職場が欲しい。学校を出てから就職すると、近い高島に落ちつく率が高いと思う。
若い人達が京都、大阪と高島市外へと出て行く人が増えている。働く会社がない。交通機関の悪さ等（電車の本数、バスの本数）の少なさ、人の移住が増えるような企業誘致など市の取り組みが必要な気がします。
少子高齢化は、今に始まったわけでは無いが、特に高島市での魅力有る物が少なく、人が集まる企画等が多い。住みやすい街づくりが必要 ・公共福祉施設の拡充 ・空き家対策

・話題性を高めた企画 ・山と湖の自然を打ち出した企画
・生活しやすい高島市にしていけば、若い人たちが増えてくるのではないのでしょうか ・若者が活躍出来る環境づくり ・安心して、働ける職場がたくさんあれば ・交通の便をよくする 新快速の本数を増す（早朝・夜）
子供の減少がいちじるしい 廃校や合併も高島は子育てや医療の補助がたいへん充実している。もっと若い子育ての人が住める町に、そのためには働く場所や住居の整備が必要
現在、大津市や草津市がベッドタウンとして人気が出てきています。高島市も安曇川駅周辺ではアパートの数が増えてきています。今後、人口は減少するのですか？個人的には人口や観光客の増加によるオーバーツーリズムが心配です（特に渋滞）
人口減少傾向になることはある程度いたしかたないのではと思います。急激な減少はよくないと思います。それよりも人口分布が高齢者が多くなっていることの方が問題だとは思っています。日本全体の人口が増加すれば良いのかというと、ちょっと違うような感じがします。かつての日本がそうであったように、国の経済が成長しているときの人口増加は、いろいろと弊害があったと思いますし、現在は、人口が減り、その中で都市と地方の人口がより顕在化したものだと思います。少子生高齢化、人口減少の社会となった時代、我々ひとりひとりがまち・くらしをどうしていくかを考えていかなければならないと思っています。
問12は※注釈を読んでも、尚、理解できず答えられませんでした。消滅の可能性有る市と聞いてショックを受けていますが、県内各市町はもちろん全国全ての市町が少子化に発する人口減少に大変苦慮されていますが、決ったキャパの人数を取合っても仕方がないので、資本を使ってむづかしいことをするより、高島にある多くの観光資源を尚一層生かし観光客を増やし、そこで働ける老若男女を増すくらいのことで良いのではないのでしょうか？ 後向きな意見ですみません。
地区内の人の減少、高齢化、子供が少ないにより、人、近所との接点が少なくなった。
人口減少はさまざまな条件の欠如であるが、先ず住み易い環境が第一、環境は自然環境と社会（人間）環境と考えると社会つまり政治的環境の欠如だと思います。
・働ける場所 ・子供の集まれる場所 ・環境
1 市内の公共交通（コミュニティバスなどの充実） 2 JR への働きかけ（本数が少なすぎる） 子育て世代の方が安心して働けるしくみを考える必要がある。

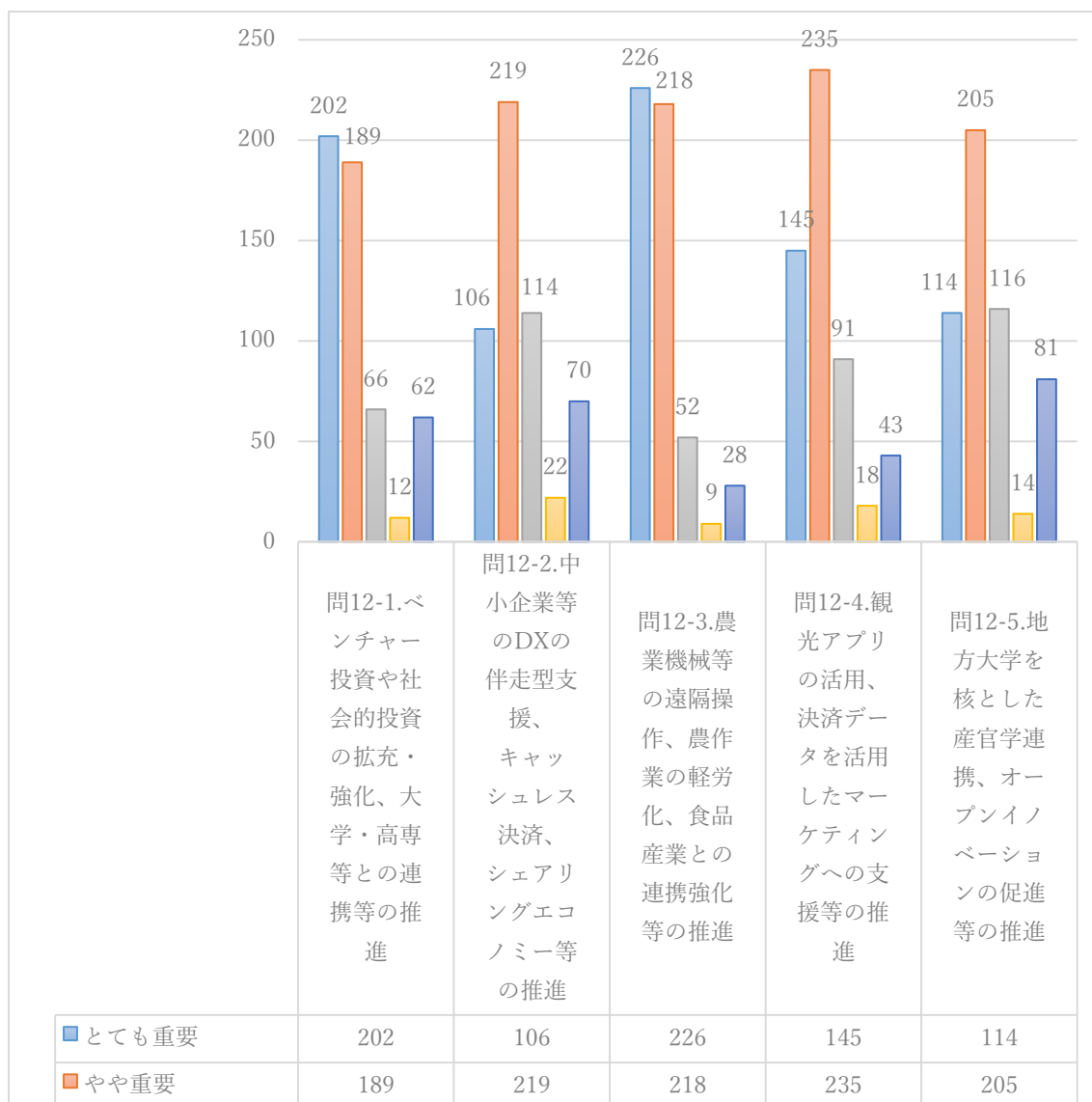
市内で生まれて市外へ移られる方を減らす為、市の良いところを感じられる環境で育つ事が大切だと思う。そして利便性は生活の質に直結するので交通の便利さ、店舗の充実など、もっと市民の声を取り入れて頂きたい。

若い人の働き場所が多くあれば、県外へ働きに行くこともない。（又、転居する必要はないのではと思います）

問12. 次の項目は、人口減少に対し、国の総合戦略（デジタル田園都市国家構想）において進めようとしている主な施策です。高島市に置き換えたとき、あなたが考える重要度を項目ごとに記載してください。

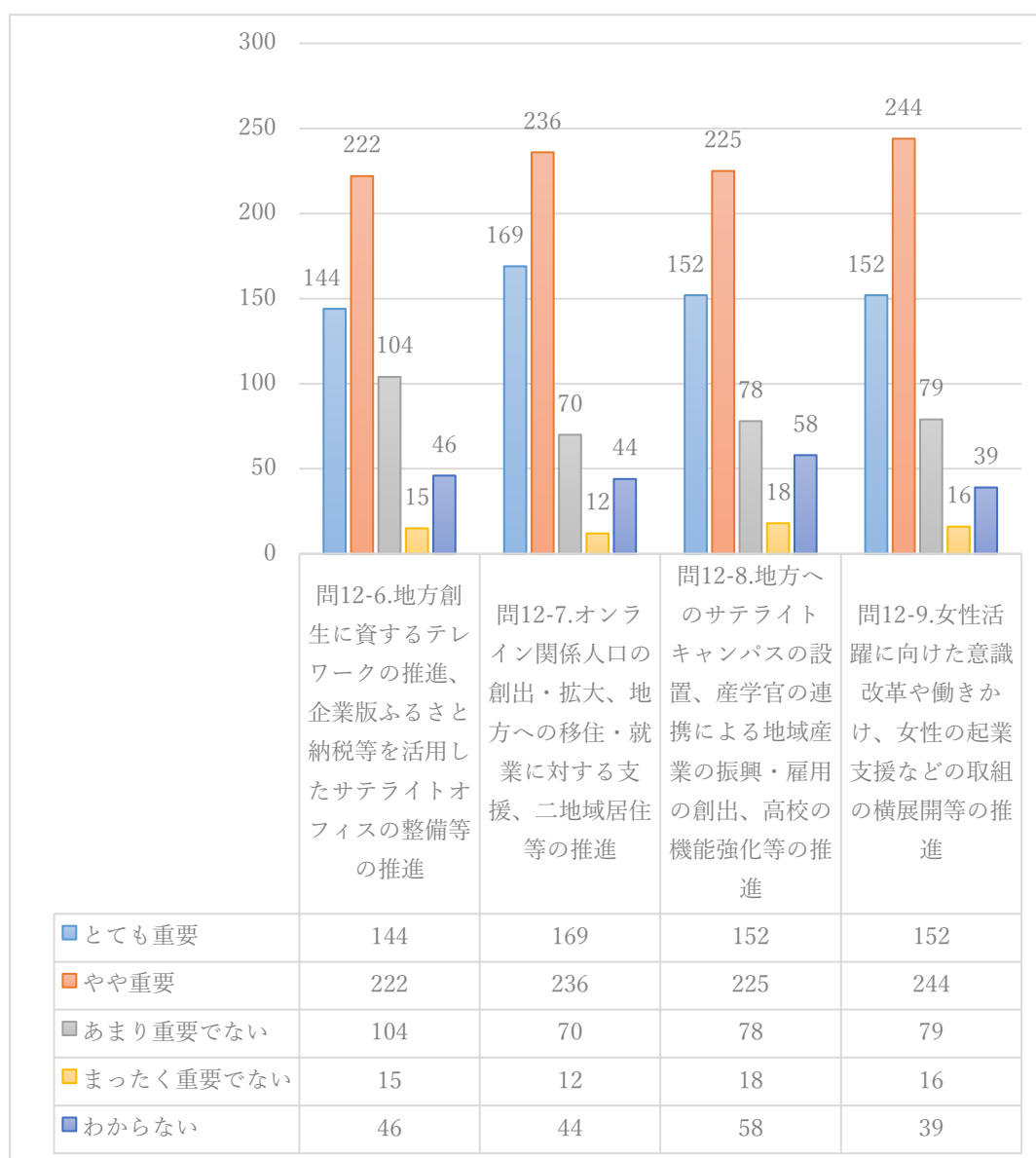
【地方に仕事をつくる】

- (1) ベンチャー投資や社会的投資の拡充・強化、大学・高専等との連携等の推進
- (2) 中小企業等の DX の伴走型支援、キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等の推進
- (3) 農業機械等の遠隔操作、農作業の軽労化、食品産業との連携強化等の推進
- (4) 観光アプリの活用、決済データを活用したマーケティングへの支援等の推進
- (5) 地方大学を核とした産官学連携、オープンイノベーションの促進等の推進



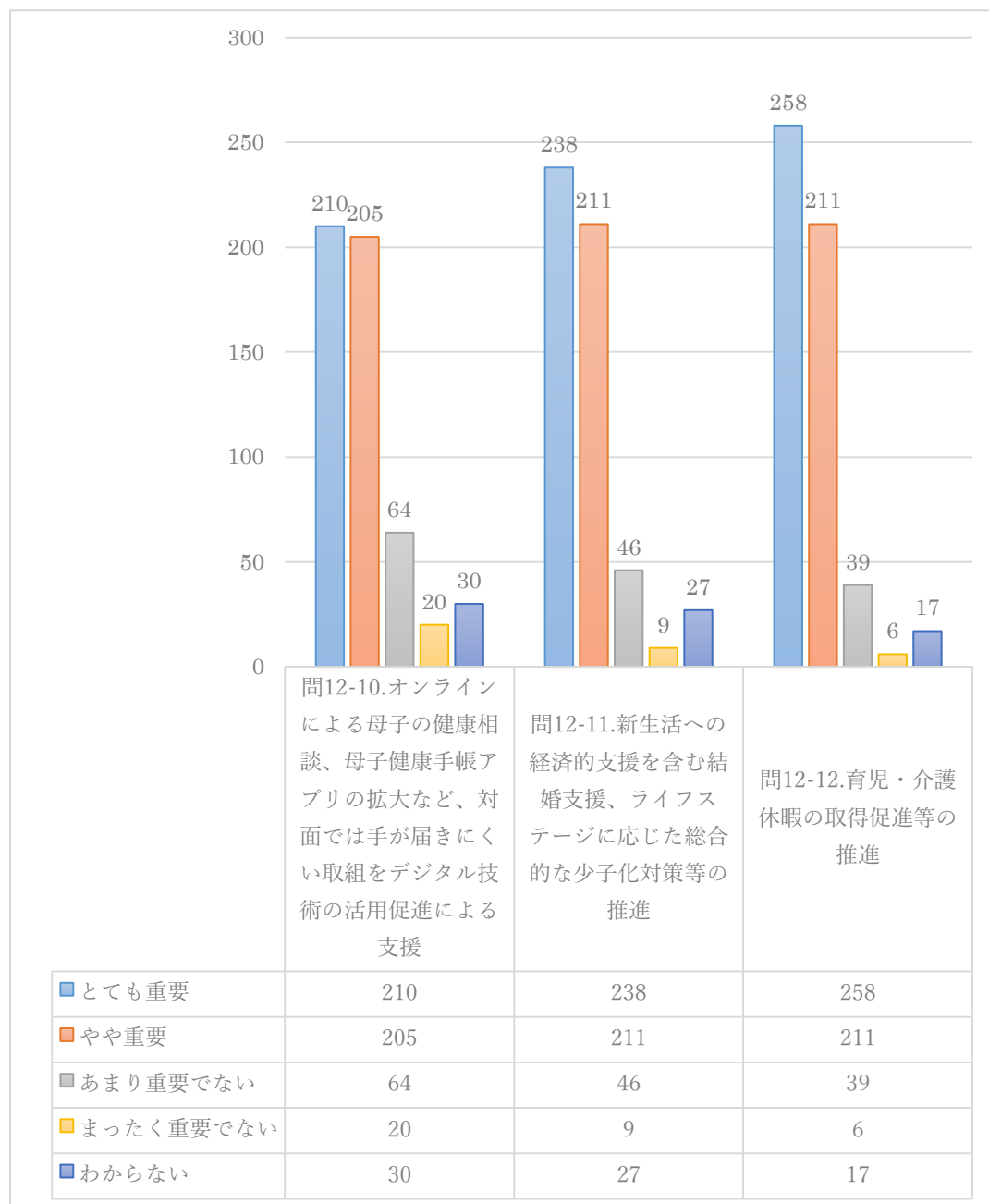
【人の流れをつくる】

- (6) 地方創生に資するテレワークの推進、企業版ふるさと納税等を活用したサテライトオフィスの整備等の推進
- (7) オンライン関係人口の創出・拡大、地方への移住・就業に対する支援、二地域居住等の推進
- (8) 地方へのサテライトキャンパスの設置、産学官の連携による地域産業の振興・雇用の創出、高校の機能強化等の推進
- (9) 女性活躍に向けた意識改革や働きかけ、女性の起業支援などの取組の横展開等の推進



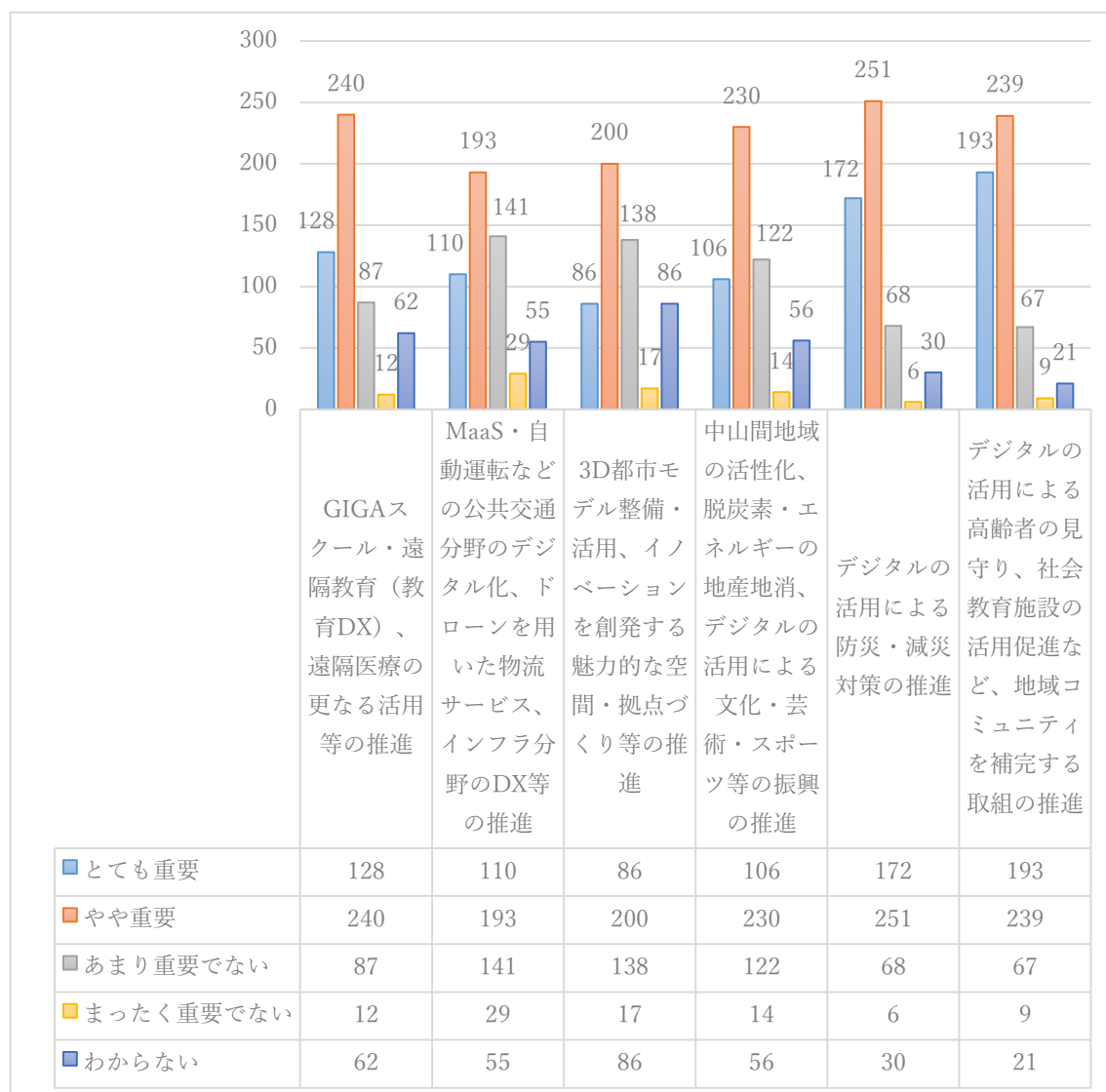
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

- (10) オンラインによる母子の健康相談、母子健康手帳アプリの拡大など、対面では手が届きにくい取組をデジタル技術の活用促進による支援
- (11) 新生活への経済的支援を含む結婚支援、ライフステージに応じた総合的な少子化対策等の推進
- (12) 育児・介護休暇の取得促進等の推進



【魅力的な地域をつくる】

- (13) GIGA スクール・遠隔教育（教育 DX）、遠隔医療の更なる活用等の推進
- (14) MaaS・自動運転などの公共交通分野のデジタル化、ドローンを用いた物流サービス、インフラ分野の DX 等の推進
- (15) 3D 都市モデル整備・活用、イノベーションを創発する魅力的な空間・拠点づくり等の推進
- (16) 中山間地域の活性化、脱炭素・エネルギーの地産地消、デジタルの活用による文化・芸術・スポーツ等の振興の推進
- (17) デジタルの活用による防災・減災対策の推進
- (18) デジタルの活用による高齢者の見守り、社会教育施設の活用促進など、地域コミュニティを補完する取組の推進



問13. 仕事づくりや雇用の確保に関してあなたのご意見をお聞かせください。

回答
仕事づくりや雇用の確保
小さな変化だが、積極的に自衛隊隊員を受け入れると良いと思う。 数年前に自衛隊が規模縮小した際、若い世代が転出して地域が活気を失ったと聞く。 将来的な定住がされずとも若い世代が増えれば、消費や地域の賑わいが増すので、有効だと思う。 下心を見せれば、防衛省と高島市の連携が強まることで、利点もあると思う。
人口減少に伴い就職先も減少し、極端な話ですが、熊本県のように TSMC 等の大規模な工場が建設されない限り、増加の見込みはないと思います。
・デジタル社会が形成されると、人間社会の疎遠が危惧される。 ・デジタルツールの使いこなし、整備が末端まで行き届くか。
・自然を活かした農業の大型化で観光施設として活用する。(体験型農業) ・リゾート地として、交通、宿泊、体験を一体化した事業の創出
・農作業に従事されている方の高齢化が深刻である。デジタル技術や若い世代のアイデアを積極的に取り入れ、農業の効率化をはかってほしい。 ・地元の特産品が藤樹の里あどがわなど、ごく限られた店でしか買えない。もっと広く特産品を普及して、高島市外からの観光客が各地域を訪れる流れをつくらなければ、地域活性化や、雇用の創出に繋がらない。 ・京都、大阪からのオートキャンプ場利用客は多いが、北陸方面からの観光客数が乏しい。
①こんな企業で働きたいと思う会社の誘致 ※小学生、中学生、高校生、大学生の年代別にまずはアンケートにて意見収集する ②現在の高島市内で活動されている企業に第二、第三……。の規模拡大促進依頼をする。 この事は雇用場所、機会の増進を計る事となる。 ③フリーダンスの起業機会の増進と資金貸付特別制度の設立
20 代、生活に必要な最低限なお金。休日の増加。一人の時間など。難しい問題です。
JR 湖西線の本数が 1 時間に一本で通勤・通学に不便で住んでいられない。風で止まる日も多く、代わりのバスもない。特に帰宅時間に重なる 5~6 時台は 1 時間以上電車が来ない。堅田に引っ越す予定です。

いろんな働きかたを選べるといい。テレワーク、在宅ワーク、フレックスなど今は出勤して仕事をする人が多く、田舎にはそんな仕事がないイメージ。そういった講習、講座、セミナー、転職支援あればうけてみたい。土日や夜間に開催希望。転職への一歩にもなり、子どもを家で見ながら仕事ができ、園に登園している間に仕事ができ、給与も多ければ、子どもを諦める人が減るのでは？ママだけでなく、パパも在宅になれば、ママが出勤してパパが子どもをみるでもこれからの時代、女性活躍の時代にそっている。パパの育児参加が少ない。 小さな個人事業主、中小企業の方が、育休産休、育児参加への進みが少ないので、市からそおいう小さな会社へ案内、協力依頼、知識がない経営者へのセミナー参加依頼、書面による案内送付等、アンケートの依頼をしてみてもは。その結果返事がないところには、まだまだパパの育児参加が少ない、経営者が興味がない、知らないのでは。
このまま減少すれば公務員しか居なくなるのでは？と思う。 ●●●●クラスの会社を誘致出来れば。
これまで市当局は企業誘致を真剣にやって来なかった。このために若者が都会へ出ていった。歴代の市長にはまったく熱意がなかったように思う。
コロナ禍終了・観光復活を打ち出して、琵琶湖岸全域にリゾート施設が増えている気がします。一時的な盛り上がりにならないように、自然資産を守り、継続雇用を生んで頂ければと思います。製造業では大量生産はとっくに終わり、事細かなニーズ分析、カスタム設計・小ロット生産など、より高度なこと多様なことを考える人材が必要なのに、人手不足が加速しているのが心配です。上層部はデータベース、AI、イノベーションなど先進的なアイデアを色々やろうとしますが、現場末端が疲弊していて十分に成果が出せないのが現実ではないでしょうか。対策が欲しいです。高齢化加速で介護など人が直接やる仕事にばかり、人を集めるために賃金アップの恩恵があるので、学生のうちから将来どの業種を目指せば得なのか、と考えそうです。損得ではなく精神的に健康で働くことを目指して、どうすればよいか地域特性を活かした情報発信が欲しいです。
コワーキングスペースを増やしたり、異業種が交流できる場がほしい。

すみません。 デジタル田園都市ってなんでしょう。 難しい言葉を使いすぎてよく分からないですし、デジタルばかりになるから愛着が沸かず、交流が減るのではないのでしょうか。 仕事など、私は沢山あると思います。 むしろ、小学生からでも興味を持ったりすれば、仕事を体験するなどできたらいいなって思っています。 学歴などで人を判断するのではなく、個人の特性が活かせる働き方、学び方が必要です。 みんな同じではないのですから。
デジタル技術等により、高島で仕事や勉強ができる仕組み作りは大切だと思う。並行して、いつでも気軽に京都、大阪に出られるよう、交通インフラを確保する努力も引き続き(切に)お願いしたい。
とにかく、良い勤務先、これに尽きる。これがあれば他はなんとかなる。それこそ公務員を蹴ってそこに行くぐらいの勤務先。
フルタイムの非正規雇用の廃止くらいやっていただきたい
フレキシブルに勤務ができる場所や、在宅ワークができるような企業の紹介、賃金の増額、病児保育の年齢や場所の拡大、
ベンチャー企業や大学などの教育機関との連携で、新しい技術のビジネス化に向けた社会実証実験の場を高島市が提供する。全国から着目される様な、促進に向けた優遇措置を設ける。
まずはバイパスの早期開通による、交通の便の改善。渋滞や事故による寸断が多すぎると感じます。交通の便をよくして、工場など誘致に繋げる。 観光地化はとても良いことだが民間任せではなく、市も積極的に推進、問題のある箇所は改善してほしいです。 湖西線は、山々と琵琶湖が近く、全国的にも稀にみる景観のよい路線だと思います。大阪から北陸へ人を運ぶだけでなく、観光列車として路線を活用できると思っています。ぜひ働きかけていただけたらと思います。
まず高島市役所で男女共に育児休暇 100%を目指してほしい。 残業をできるだけせずに、早く家に帰って育児に参加できる体制を整えるべき。市役所でできていないのに、他の企業に勧めることはできないと思う。

まず従来の高齢者の定義「65 歳以上」を改めるべき。 そして、健康な 65 歳以上の高齢者？（何と読んだらいいか）の社会での活用方法を考えてはどうか。 ・ まだまだ働きたい人には、仕事を ・ 地域貢献できる人には、役割を ・ スポーツ、レクリエーション活動したい人には、場の提供を 活動したいニーズと、求められるニーズのマッチングをする、市役所にそのようなことを広く扱う部署をおいてもいいのでは？（縦割りではなく）
もっともっと農業を軸に展開すべきだと思います。高島市は災害も少なく、水や木などの資源が豊富です。新しい箱物を作るのではなく、今ここにある自然を最大限に利用すべきだと思います。上手に野菜を作っている高齢者の方がたくさんいます。とても貴重な技術を持っておられます。今のうちにそのノウハウを受け継ぎ、発展させるべきと考えます。
もっと多くの人が雇用される事ばかりじゃなくて、自分の特技を活かして起業する人が増えたらいいなと思う。上手くいけばもっと豊かな街になると思う。
リモートワークのみで仕事を完結できる企業誘致を進めてはどうかと思います
移住→地元企業就職の手当 他自治体では移住支援金が出るが、高島市は出ない。 就活支援と抱き合わせで、支援金が出るのは移住促進に繋がると思う
移住者や外国人労働者に手厚いアピールするより、現在在住している人が暮らしやすくすべきだと思う。 介護施設やグランピング施設など作っても働く人がいない。 農作業をやる人も減ってきているのに、もう少しやり方をかえるべき。
家の周辺でも耕作放棄地が目立っています。移住して新規就農した人が途中で失敗して借金を抱えて農業を諦めたり再び転出される場合もあると何度か聞いたことがあります。個人や企業が高島市内で農業ができるサポートがもっと必要なのではないかと思います。
外国人など人を呼び込めばいいというものではなく 人口が少なくても 1 人 1 人が幸せに暮らせるコミュニティを作る必要がある
外国人も含めて、高島市で働きたい人、働いている人を大事にして、高島市で働き続けてもらえるような魅力的な企業を増やす。 積極的な企業誘致と、人材の受け入れが必要だと思います。 外国人へのサポート体制も充実させてほしい。

害獣対策で、ハンター養成や規制緩和。森林管理の人材育成をする他、銃殺、捕獲後の有効活用をスムーズにネットワーク活用すること。
学校卒業後、若者が都会に出る一因は働き口が少ないのが大きな要因だと思う、仕事作り、雇用の確保は必須だと思うが高島市の立地を考えると一、三次産業の振興を図るのが良いと思う。
観光産業の推進。 企業誘致対策、湖西道路の敦賀 IC 直結。
企業、工場、学校を誘致する。 広大な土地の有効活用。
企業の絶対数が少なく個人事業所に当たっては倒産・廃業が多く、都会と比べると最低賃金の低い現状で市と市内企業の力のみでは現状打破はかなり困難な問題かと感じます
企業の誘致
企業誘致＝仕事があれば人口減少の速度は抑えられる
企業誘致が必要
企業誘致の促進と農林水産業に対する手厚い補助によって、高島市で就労しても生活基盤が確実に作れることを明らかにしていく必要があると思います。
建設関連への人の増加は無理、第一次産業への他県の様子は移住を含め増加あり、などから都会から高島への移住の支援を。
雇用が継続できる企業の誘致が必要
雇用拡大するための助成金を設ける。
雇用場所の確保
雇用募集はあるものの、高島市全体的に給料が安いと思います。 人間関係が良くても、雇用条件があまり良くない所も多いし、「個性」との事、不適切行動があっても改善されない企業が多い様に思います。
交通インフラの向上、高齢者の健康増進
交通の便をよくすること。道ができると人の流れができる。
交通の便を改善する
交通の便を今以上に不便にならないことを望みます。
交通網の整備をすれば、定住する人が増えると思う。
高島らしい企業誘致をすべき
高島市での雇用拡大について。新規就農者を応援する施策がよいのでは。 特に市全体で無農薬無化学肥料栽培の作物づくりに力を入れる等すると、特色が出

てさらに作り手にも買い手にも優しくて良いですし、市の道の駅等で売っている野菜がそういうものがスタンダードになるとすごく良いなと思います。
高島市にはたくさんの企業もあり働くところはあると思います。 その事をもっとみんなに知ってもらえるような取り組みが必要だと思っています。
高島市の良さは、湖、山の自然に気楽に触れる事が出来る強みがあると思います。 体験型レジャーに力を入れ、地元の若い人が働ける場所を提供し、他府県へ転居しない環境も必要かと思っています。
高島市は、自然豊かな土地がたくさんあるので、自然と共生する形（農地や畑地を無償貸与）の事業、環境保全を兼ねた事業への土地の無償貸与など、高島の自然を維持しつつ、そういった分野に興味ある人呼びに努めると良いと思います。近年、駅近の農地がボコボコ埋め立てられ、コンクリート化され、宅地や商業用地にされています。人口が減り店舗で活性化するのは、高島市のためにはならないと思います。
高島市は、無料で市外の事業者には学校等の施設を貸与し、市内の人の雇用を促進しているが何の効果も見られない。それどころか、この施策で入ってきた事業者のほとんどは、事業内容が芳しくない。 市外の事業者を支援し、何の効果も見られないような施策は税金の無駄使いでしかない。 そんな無駄なことをする前に、市内の中小企業や個人事業者の支援にもっと力を入れるべき。何故なら市内の中小企業や個人事業者は、税金を納めているが、市外の事業者は、今迄、税金を納めていない（市補足：市外事業者だから税金を納めないという根拠はありません。）。市民の生活を守る事に税金を使うべき。
高島市は働く場所が少ないとよく聞く。高速道路もない場所に企業はきてくれない。どんなに田舎でも高速道路さえあれば近くに企業が来てくれるイメージがある。高島市に住んで大津に通勤するにしても、大津から高島市に通勤するにしても道路が一本しかなく不便すぎる。
高島市独自の強みがない
高島市内には他地域に比べて農業に使える土地が豊富にあると思います。市内の農業従事者は高齢化が進んでおり、若い方の担い手も多いとは言えないと思います。 しかし高島市の魅力のひとつとして農業は欠かせないと思います。若者を農業に呼び込む工夫や高島市の自然に惹かれて移住をしてこられた方に農業の魅力を感じてもらえるような仕組みがあると良いと思います。
高島市立高校など特色ある教育機関の誘致と設置を図り、雇用の拡大に努める。
高齢者含め働く環境（簡単な業務を分散して活躍頂く）例えば市内の美化など。機会と場をつくる。

国道 161 号線の道路整備を早くして頂きたい。 道路整備により工場等を誘致し、若い世代の働く場所を確保し人口減少を止めたい。
今までの提案に全面的に賛成。すべて素晴らしいです。 問題は、どんなにいい施策もできるかどうかが重要。 そのためにどうするかという提案がない。 ビジョンやポリシーだけではだめ。その実現のために施策を示して市民に判断を仰ぐべし。 いいと思えども、できるのかどうか評価、判断できない。
今後市内に人口空白地帯が増えていくと考えられるので、移転補助金などで居住地や商店を密集させ、地域の維持コストを削減すべきだと考える。
仕事があれば、生活拠点が增えることは間違いのない選択肢になると思う
仕事づくりも大切ですが、その前の教育から大切ではないかと思います。現在、高島市にはどんな職種があり、職業があるのか？（個人事業主、小さな会社なども含）把握できている人たちはいるのでしょうか？そして、その仕事の魅力をちゃんと伝えられているのでしょうか？こういう回答フォームも高島市内でできるはずなのに、あえて東京や神戸に拠点をもつ会社に投げている…。高島市内で仕事を無くしているということになります。小学校からプログラミング授業などがあるのだから、身近なところから仕事が生まれることをなぜ教えないのかなあ、と疑問に思います。
仕事先が、少ないため市内に住まない事もあるが、仕事を選ばなければ、市内でも沢山の働き口あると思います。
子育て世帯のお母さんは、専業主婦が出来、子育てが終わったら、働ける支援が必要。
市外からも来てもらえるよう、通勤に利用する JR 湖西線の利便性の改善(遅延や運休)。 魅力ある観光地として観光客を増やし、観光業にも従事できる職種等を増やす。
市議会議員が市のために市民の為に何をしてるのか？ しがらみのない市政を構築し、より魅力ある市にする努力が見えるような働きをして欲しい。 他の市のマネではなく高島だからこそこれができるという事を行う事で魅力ある市になり外からの移住が増えて行くと思う。子育てに優しい町と言いたいなら保育に携わる保育士の先生の給料を滋賀県一高くするとかにすると保育の質も上がると思う 現状安すぎると思う。

市内にある企業の中途採用など、正規職員の募集が少ない。高卒、大学中退、中年退職者などの人員も正規雇用できる企業を増やすことができれば、高島市出身の人も戻って来やすい。企業が少なく、アルバイトや非正規雇用はたくさんあるが、最低賃金も少ない。外へ流出した人口を呼び戻す、永住には企業の増加が必要。
市内における雇用確保より、市外で働く人が住みたいと思えるまちづくりを重視して欲しい。
市内の企業は土日や祝日の出勤があるなど稼働日数が多い割に利益が少ないので給与水準が低い。都会に比べて土地が安いことを活かして大手企業を誘致したり、元ある企業の経営者向けに経営力を高めるコンサルティングセミナーを開くなど、市内でも高収入を得られる仕事作りが必要だと思う
私たち夫婦とも聴覚障害者です。 聴覚障害が主な理由でどの会社でも断われる状態でもっと聴覚障害者のコミュニケーションの方法は手話、読話、筆談などがある事、また聴覚障害以外、聴者とあまり変わらない事を1人でも多くの方々に理解していただきたい。実は、私は大津市に住んでいた頃、福祉制度などを使用しないで聴者並にカフェ経営（16年間）して成功しました。
自然（琵琶湖）を活用したレジャー施設や食品開発、癒しを得れるモノ、汚いものをキレイにする
自然を活かしたサービス業の活性化を目指す
若者がいろんな職種を選べるような地域にしないといけない。
若者が望む仕事環境がある企業・職種を増やす。 若者が望まない職種でも割の良い給与を支給出来る社外的な雰囲気作り(市内の大企業が率先して給与レベルを上げる)
若者にとって魅力ある事業の構築でしょうか
周辺市町から高島市に流入人口を増やすべく企業誘致。観光客誘致など今一層努力してほしい。JR 湖西線の運休（日・時間）の短縮を JR に一層働きかけてほしい。 万一北陸新幹線ルートが再検討することになれば、湖西ルートについて市として賛成してほしい。北陸新幹線の高い暴風壁が山側に新幹線を走らすことにより湖西線が運休する基準の風は防げるのではないかと？また、並行在来線問題も最近の貨物列車の増加により必要以上に心配しなくても良いのではないかと思います。
就職できる場所の確保 他の地区から移動しやすいインフラ整備 賃金の底上げ

就職先があまりにも少ない。 若い人が選びたい職場が少なすぎる。 山があり湖があり昔ほど雪が降らず、生活環境は良いと思います。若い人も就職したくなる職場があれば移住してくれると思います。
住みたいと思う様な魅力的なモノが、感じられないし、無い。
住みやすい街 便利な街 やさしい街
小中高の時期に学齢に合わせた内容により、さまざまな仕事や人にふれる機会を設けること（そもそも知らなかったら選択肢に入らない）。
詳しいことは分かりませんが、 最近人気のある、たかしまちぢみの生産、PR に 市をあげてもっと力を入れたいと思います。
人が集まる魅力ある街にするには不便さに打ち勝つ魅力あるものを考える必要があると思いますが、それが何なのかはやってみないと分かりません。
人口を集約すべきです。今みたいに分散させ続ければ未来はないでしょう。インフラが維持出来なくなっているのです。であれば、幅広く手厚いインフラを捨て、限られた場所に手厚いインフラ整備をすることで、維持費を抑えるべきです。
人口減少をどういう対策で解消していくのか、まず考えるべきではないかと思います。例えば、仕事づくり、雇用確保といっていますが、ベッドタウンにしたいのか、それとも仕事も住まいもできる地域にしたいのか、雇用確保はできているのでしょうか。どちらかという、賃金アップや雇用環境、住んでる地域の魅力アップ等ではないかと思います。
人口減少対策には、雇用に加えて高島市に住みたい意欲が必要です。その様な方の多くはこの地域の出身者ですが、それでは限定的となります。私は（あくまで個人的）デジタル化を活用した教育や市民サービスの向上を強く推奨します。 キーワードは「子供」と「高齢者」です。 具体的には既設校に強烈な特進コースを設けるなど実績を作る。 また、市民サービスでは、現行の防災無線をデジタル化するなど双方向での情報のやり取りを可能にして、高齢者の見守りや市民サービスの向上、行政事務の効率化を目指すべきと考えます。 他地域からの参入を望むならば、何れも強烈なインパクトが必要です。

人口増加に向けての働きかけで重要なことは第一に働く場所、第二に子育てのしやすさだと思う。 今ある観光スポットの回りに商業施設をつくり他府県から足を運んでもらった方々について立ち寄ってもらえるような人の流れを作ること、居住者や移住検討中の方々の働く場所にもなるし人が集まる魅力的な町になっていくのではないかな。
世界的に、食料不足、水不足になると言われています。また輸入品の高騰が起きており、今後も続くと言われています。高島市は、世界的に比較して、降水量が多い地域であり、水資源が豊富な地域にあります。将来の食料不足や水不足に対応するため、作物が育つ立地を生かして、輸入に頼らない農業の促進をしていけば、社会性や将来性から優秀な人材が集まります。あとの仕事は、インターネットが通っていればどこでも同じです。都会も、自然も近い高島市なので、無理にしなくても市が考えなくても自然と人は集まるでしょう。
成長企業の誘致。
積雪が邪魔しています。 しかし、公共機関の改良や整備は、人の手でどうにでもなると思います。
先にも、書いたように IT デジタル化は、とても大事。そのためにはネット環境の充実をするべきだと思う。 市内どこでも、フリーで使えるネットがあれば、例えば農業やっている人が自分の畑から取れる野菜をタブレットで知らせ、消費者が直接注文して発送する。など、どこかの町で行われているようだ。 高知市では、保険会社の事故対応の拠点があるようだ。電話とネットがあれば、会社は地方にあっても十分機能できる。 そんな企業をどんどん誘致すれば、若者が移住して来てくれると思います。
先ほどの回答と重複するところもあるが、人口現象は地方だけではなく都市部でも起こっていると捉えている。高島市の魅力はなんと言っても自然の豊かさである。更にもっと農業に力を入れて行くべきである。それも農薬や化学肥料を使わない自然農法を使った栽培方法を市をあげて推奨し、農業で生計を立てようという意志のある若者を迎え入れ、市はそういった産業に補助金や助成金を用意すべきである。安全な野菜が流通できる独自の仕組みを作り上げ、高島市へ行けば農業でやっていける??そんな口コミが出るような地方作りを目指してもらいたい。日本は米、野菜など、今後食料難がますます進むと警鐘を鳴らす人は多い。今のうちに手を打ってもらいたい。
先程も述べた通り、居住区間と勤務先の通勤補助をして働く者を、高島市に呼び込む。 都市と農村の交流事業を推進させ、田舎暮らしの支援を行う。

全国を転勤で回ってきたが、高島市は環境整備に於いて遅れている感は否めない。何も無いではなく自然が有るという視点で SDGs を意識した環境整備で大学とも連携して進めてはどうか。大きな事業なので雇用は生まれるし、継続もする。多市からも専門知識を持った方や興味を持った方に参加頂くことで活性化もする。モデルを目指してやってみては如何でしょうか。
多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりが必要だと思う。残業時間の軽減で、メリハリをつけていくべきだと思う。働きすぎ。 仕事によって労働環境は様々であると思うが、暑すぎる環境や重労働の環境は、健康面などの保健衛生に要配慮するべきだと思う。
大きな雇用を生む企業の誘致
大企業の誘致を推進していただきたい
大企業の誘致等にて働く場所を増やすと人口流出は減らせるのではないかと思います。
大型ショッピングセンターの誘致。安曇川にはプラントがあるが、マキノ地域には自然の施設や飲食店など魅力あるのに、もう一つ何かほしいところ。
第一次産業に従事してくれる人を増やすために支援、補助金を支出してほしい。 メタセコイア並木を中心に観光産業に力をそそぎ、雇用を増やしてほしい。 製造業でもなんでもいいので企業を誘致してほしい。 安曇川近江白浜でリゾートホテルを核とした街づくりを推進してほしい。
短期間や短時間などの雇用と副業の推進があってほしい。 子育てと両立したい思いもあるが充実した雇用と思うと限られてくる
地方都市で独自にオフィスを構えて雇用を創出する従来のスタイルには限界があります。コロナ以降一般的となったリモート勤務に対応するため、一番大事なのは自宅につながるネット環境の整備です。高島では自宅で勤務をするスペースはありますが、山間部では光通信のネット環境が確保されず、5G 通信もできないエリアが多くあります。 営利目的の企業に開発を任せると、人口の多い中心部のみの整備となりますので、自治体が率先してネット環境の整備を進め、VR 環境で都市部のオフィスと同様の勤務ができるようになれば良いと思います。
中小企業の賃金が安すぎる。 底上げが必要
賃金格差等の問題は発生するが、企業誘致（工場等）を積極的に行い雇用の確保と移住者による人口増加を狙う。（法人税、住民税等の税収の確保にもつながる）
賃金並びに時給が低すぎる。都会に出た方が賃金、時給が高いから田舎に住みにくい、賃金、時給をもう少し上げれば良いかと

定住人口を増やすために空き家の再開発 企業とタッグを組んで家賃補助 定住促進
定年退職を迎えた人たちの中には、まだまだ働ける人たちが沢山おられるので、元気な高齢者も活躍できる場所がほしい。いろんな経験を積んであるからこそ、できる、わかることがあるはず。いろんな年齢層のひとが助け合って、アイデアを出し合って働ける場があるとよい。
電車の本数を増やす
都市部と同様に、国籍や性別・年齢関係なく組織に属していなくても個人で自立的な仕事が可能になるよう助成金や補助等を充実しよりよい循環がますます可能になれば新たな可能性が広がるのではないのでしょうか。
都市部に比べて高島市は雇用が少ない、雇用時の金額が低いので、市外に出ていくのは致し方ない
働き場所の確保が必要と考える。
働き方を企業努力とせず子供への送り迎え等々子育てを市が支える体制をもっと作った方がいいと思う。 観光に力を入れすぎて今住んでる人への貢献度があまり目に見えてない気もするので。 保育士や介護職の給料を上げた方がいいと思う。
働く場所の誘致を積極的に行い、そこからの人口減少を止める政策を行っていく
働く世代が住み良いと思える地域であることが未来の人口増減を決定していくと思います。現代の働く世代、未来の働く世代が住み良くするためには、雇用の産出だけでなく、そこで働く時の社会保障や子育てしながらでも働ける制度の充実が必須だと思います。今後 AI 等によるスマート農業をはじめ、各業務の自動化によって仕事の軽減を目指しながら、加えてそれを管理するための雇用を広めていけると良いと思います。
働ける企業の選択肢を増やす。魅力ある農業の構築。
道路は来年改善されるが湖西線がよく止まるのは通勤通学、ひいては就職において大きな問題だと思う。高島市に通う(から通う)と言うだけでハンデキャップを背負ってしまっている。
任意による補助金や給付金申請を全世帯にわかりやすく連絡・報告が必要。こんな補助金給付金が国・県・市から出ます、ただし自分で調べて申請してください、ではなく市の方から各世帯へ通達・連絡有れば助かる。
白鬚神社などの観光地はあるが、観光地によくある土産物屋が並ぶ場所が高島市にはなく、観光地を経済的には活かしきれていない。

観光地近くに市内の魅力ある商品が立ち並ぶ、土産物屋通りを作れば雇用が生まれる、
風で止まらない湖西線
偏に大企業のようなゆとりのある企業誘致が必要だと思います。 市内に倣うべき企業がいれば既存の中小企業の働き方改革の礎として実体を以って進んでいくと思います。 既存の文化施設において官庁主催の催し(例えば滋賀地方安全衛生大会)を実施し、県内における地域の認知度の向上が必要です。 現時点でも東近江市、甲賀市等対岸の市の方とお話すると極めて高島市に対する認知が薄いことを実感します。 最後に交通インフラの早期改善です。 北小松地域の慢性的な渋滞は市に訪れる方にとっては致命的なマイナス要素です。郊外で渋滞の無いゆとりのある交通インフラを持つことは県内ではほかにない最大の魅力にすることが出来ると思います。
北陸新幹線敦賀沿線にもっと乗っかって、街を活性化させて。
魅力ある街づくりで人の定着を図る。市の予算を右や左に動かした補助金行政では少子化や若者の定住化は難しいことは明らか。歴史的遺産の勝野（旧大溝藩街並み）と近江最古の大社白鬚神社とを結びつけた『江戸まち再生プロジェクト』はどうか。イメージは「倉敷美観地区」や「お江戸川越」。電柱埋設化と江戸まち屋を再現した勝野・白鬚神社と JR 駅を循環バスで繋ぎ、観光客の回遊で街の魅力を上げること。10 年・20 年の長いプロジェクトになるが、他市との差別化が出来る魅力ある事業になる。魅力ある街ができれば人は自ずと定着すること間違いなし。
魅力的な雇用環境を作るために、企業風土の改革が必要だと感じる。 受け入れる側の感性が古く、外部からの人間を受け入れにくい。
例えばゴミ焼却施設の新設における公設民営や市職員の派遣職員化などに見られるように、市自体が本気で正規職員の雇用を増やそうという気がまったくないので、「デジタル」のような小手先の手法に頼ろうとしているのだと感じる。予算がないとか税収が少ないとかいろいろ言うけど、富裕層や宗教法人から金取ればいいのであって、真面目にやれと言いたい。税収減を福祉切り捨ての言い訳にするな。
労働人口が減少する事が間違いない状態で、無闇にしごとづくりや雇用の確保は得策ではないと考えます。むしろ、貴重な労働人口をいかに社会的価値の高い仕事に従事させる事を考えるため、選択と集中を意識した施策が必要ではないかと思います。そのためには、就業希望者がスキルを身に付けるための場を用意する施策や、社会的価値が高いが給与が低い仕事に手当をつける等の施策を行う事が有効であると考えます。

食物を生産しなければ農業は成り立ちません。観光など他所から高島市に來たいと思わせる自然豊かで、広大な土地もあるのです。働く所があれば美しい高島市若い人を呼び集める工夫をしてほしいですね。草だらけではもったいないです。
高島市の企業の賃金の引き上げ。公務員の給与の削減。
まず人口を増やして給料が高ければ人は集まると思う。あとは子供を育て安い環境作り。
半導体工場の誘致はいかがでしょうか（きれいな水が豊富にある）
ベッドタウンとして公共交通機関との連携を図るべき
雇用確保の助成金は？
人口減少じゃなくて、生活していけるだけの雇用施設や商店が減少していると、人もこないし、他市へ行ってしまふ事により、他市で住居を構えると、人口減少してあたりまえで第三次産業商業都市化しないと、減少ばかりで、高島市も消滅方向に向かう。
意見ありであるも記載なし
企業誘致で職場の増加（雇用の確保）
とにかくインフラの整備。道が混まなくて電車が4本/hくらいあれば必ず人が住む。
早く交通インフラを改善して雇用等の改善につなげてほしい 1. 湖西線→暴風対策をしても止まらない湖西線にしてほしい。 2. 湖西バイパス→4車線化を早く実現して渋滞をなくしてほしい。少なくとも完成予定スケジュールを示してほしい。 3. 琵琶湖線のように京阪神のベッドタウン化の為の政策をして人口増につなげてほしい。
高島で企業するメリットはどれほどあるのかを明確にするべき（ここに会社を置きたい！と思ってもらえるのか・・・）
農業、林業、水産業に平行した支援、対処を！！
高島市以外の市、町、村を参考（うまく人口減を押さえてる所）
農業や林業は人がすくなくなり自動化で出来る（リモコン等でする仕事）を増やして、考える場所を作る（廃校等で）教える人をきてもらう。
高齢者の方でも出来る仕事の紹介
恵まれた農地がある高島市ですので、農作物の生産を、工場的生産をできるように計画で希望する人々を呼び込める企画、実施を。
市が中心となり新産業を市民（まだ働く意思がある人）高齢者を活用して低コストであつまれる所を提供していただきみんなで進めていく（マッチングアプリ的なことを元気な方がサポート宣伝してどんどん高島市にきてもらう企画をするなど）

工業地帯の活性化、企業誘致 高島市内で働ける機会を増やす必要がある。現在、求人情報を見ても介護サービスがほとんどとなっている。
高校、中学の時点で、市のさまざまな企業と連携し、体験や見学の時間を作る。
企業誘致を進める
若人に魅力ある仕事づくり
・多方面の企業誘致。 ・何にも都会に出ずとも地域で全てが完結出来るような地域環境の整備の促進。 ※滋賀県自体（特に湖北・湖西）の問題でもあるのかな！
工場の誘致
大きな会社等の進出
例えば、大企業に無料で土地をあげるの、ここに本社（工場でも）をたてて、仕事して下さいなどしていく（極論）。
男性にも女性にも仕事があること。 乳幼児の保育施設の充実。
・高島は面積も琵琶湖の水の供給量も滋賀県内で一番多いので、第一産業（林業、農業の研修、研修生の人材育成を全国にアピール、発信→住宅、給与保障、若手の高島への定着の促進。・行政のバックアップが必要不可欠だと思います。・病院にある様に総合診療科の様な総合・仕事・雇用、人口増加促進課を作り、他の課との垣根を越え、柔軟な連携を計り、実行力のある本気の対策をすると良いと考えます。・企業誘致 ・水源の山、河川の法律による保護・保全（水資源の安全性）
・介護施設の充実 ・収入の安定化
大企業の誘致・・・大手企業（工場でも何でも）が市内に来てくれば、若い人も増えると思うしインフラ整備もできると思う。
人口減少については、湖西線（JR）駅エリア（高島・安曇川・新旭・今津・マキノ）周辺の商業施設や企業体誘致の減少で、町の核となる駅周辺がひなびた状態で魅力のない町にしており、駅周辺の活性化こそが必要と思われます。まず、駅周辺に大規模な商業施設を誘致して仕事づくりや雇用を確保し魅力が定着後に企業誘致を行い、更なる雇用確保を目ざしてはいかがでしょうか？
一般的に核家族が常識となっている現在、共稼ぎをしないと生活水準も上がり人並な生活・子育てがしづらくなっていると思われる。それらを解消する為の高収入業種の中でも人間の生活に直接必要な第一次産業的業種が1番3Kがきつい割りには収入が低く魅力が無い。その結果、その業種の従事者の高齢化となっており後継者もなかなか育たないのが現状である。これらに従事したい人が有れば若者に限り設備投資・準備資金等に魅力ある頑張れる要因の有る例えば公的な援助・補助・支援

していく制度等を整備して行って、若者を育てていかなければ、何れは5年～10年後にはある意味第一次産業従事者が無くなって食糧不足・生活必需品不足の時代が来るのではないかと思われる。これらの法的・制度の整備を他府県・他地区等に先駆けて行えば若者の流入・子ども人口の増加に繋がるのではないかと考えます。
問16に関連。ネット等で生活が出来れば素早い対応も可能となる。インフラ整備は次点でも可能と考える。
企業が高島地域を進出したい場所と考えてもらえるよう、行政は誘致や交通網の整備に力をいれるべし。オンラインによる勤務が増えても交通が断たれるような所では子供も育だたない。
問11の端印がはっきりして市民に浸透すれば、おのずとその問題は解決する
限られた人口（減少化の一途）、アクセスの悪さを考えると、事業用土地を提供してでも、それをメリットとして進出してくれる事業者を呼び込むことぐらいしかないと考えられる。
混本的な問題解決なくして問に対する回答はない。政治がらみがあると思うが、首長を初め、リーダーの政治力に期待したい。
・道路整備 ・企業 ・自衛隊への働きかけ
企業の研究施設の誘致、大学のサテライトの誘致
職場の確保（若者が働きやすい）
農業や福祉、介護や教育現場などで、人手の必要なときにちょこっと手伝ったり、複数の仕事を兼業できるシステムがあつたらいいと思う。
琵琶湖の反対（湖東、湖南）では京都の大企業がたくさん工場を進出されていますが高島市では●●●●のみ。何かネガティブ？雪が降る、161号しか道路が無く、バイパスもそれも、すごいスローペースで。
公務員を減らし民間に仕事を回す
外国人の人も働きやすい高島市になって欲しい。大阪や町の賃金に差がつきすぎて、高島市の最低賃金が安いので、高島市から出ていってしまう。
高島市は琵琶湖の東と違い、面積は小さく、働く事業所（場所）も少なく、又、道路については、高島市とはちがひ、何本もある。足もとをしっかりと造らないと人口の増加は望めないと思う。
企業（製造業）（サービス業）等を誘致する働く場所があれば、若い人達が、地元に残るのでは・・・と思います。
前期高齢者のため、それにあった雇用があれば良いと思う。若者には何をしたいか意見を調査し、それにあった職等を設けることも大事と思う。

かつての繊維業界が少なくなり、会社がなくなり、雇用も少しなりあるいはなくなり、他業種が必要となりますが、現在では観光かもしくは安価な土地の利用出来る業種が必要と思いますが、どんな業種があるのかわかりません。
高島市に中小企業や大企業を作っても若者の数が減っているため、会社が成り立たず潰れてしまう可能性がある。
私自身も12年前に移住してきたが、その時からでもうどん、おすし、カレー屋などが出来てきた。161号線も車がふえたので、まだまだお店等の誘致を積極的に行ってほしい。
高島には若い人のはたらく場、生活の場を基本にしてあげる。今、ないから、都会へ出るのではないかな！！
市内の農産物を加工し、付加価値をつけて、いけばどうかと思う。その過程で雇用の確保もある程度できるのではと考える。市外からの営利目的を第一の事業者にかかせるのではなく、高島市が一環として取り組まなければならないと思う。
借金しても企業誘致。
・雇用の確保は市長が率先して動く。 ・企業誘致に力を入れる。 ・チームを組んで、会社訪問等に力を注ぎ、研究する。 ・市内の若い経営者を集めて、この議題について討議をして新しい仕事や雇用について考える。 ・特に他府県から高島市へ来られて起業されている方達の意見を聞く。
若者がどのような職業、労働環境を求めているのかを把握する事が先決である。ニーズのない企業の誘致をしても意味なし。農業に関しても、どのような農業だったら、従事しても良いと思われるか、意見を聞く必要がある。
難しい問題なので、どう言ってもいいかわかりません。
各町の商店街の活性化。空店舗の活用
①若年層だけでなく、中高年層への雇用の確保
・若者にも魅力的な企業（支社、子会社も可）の誘致で、市外へ出ていく人を地元で留める。IT関係など高島の地に適した会社もあると思いますので、土地の提供、人材のアピールなども含めたことを考えてはどうでしょうか ・高齢化社会を見据え、企業に高齢者雇用を積極的に働きかけることも必要と考えます。高齢者の経験・知識などを生かす場は多いと思います。
企業誘致をすることも大事だが、地元住民、企業、行政三者のコミュニケーションも大事だと思う。
わからない

・外国人労働者の雇用に頼る ・今ある伝統芸術、産業を保護継承していく人材を育成する為の支援をする。
・高島市に行けば「あんな良い物、良い野菜、おいしい果物がある、から買い物に行きたい。」と思わせる差別化した地場産業を越して行かないと雇用等は生まれな いと思います。又、他の地域の道の駅等もっと研究していただききたい。 ・「地場産業」の現在は閉鎖的だと感じられます。
第1次産業の隆生を後押しする施策の具体化。
高島市は、観光に力をいれている様に思います。私は建設業をしています、若い 人が建設業に入っていない様に思います。
市内で雇用づくりをすることも大切です。ただ、市外へのアクセスがないと難し い。鉄道、道路など他へのアクセスをしっかりと確保してほしい。企業も、大都市圏 にアクセスが悪いと、誘致できないと思う。
人口は減少してますが、仕事をしたいと思っている人は増えてると思います。シル バー人材センターにも沢山の人が登録されてます。市役所の本庁や支所等にもアル バイトを雇ってほしいです。特に障害者をもっと雇ってほしいです。午前中だけで も、午後だけでもよいので、障害者にも仕事をさせて下さい。必ず役に立つ作業は あります。小さな雑用でも障害者にさせてあげて下さい。
働く企業が少なく、若者は都市へ流出していくのは当然である。企業誘致も地理的 気候的ハンデがあり、現実的には不可能である。
現在ある高島市にある優良、安定の企業に雇用の枠を拡充してもらう
地産地消で地域を活性化する
11人の孫がいる私にとって、孫達が出来ただけ近くで気に入った職場に出合える 事を望んでいる。
年金生活者にとっては、今の現状での生活が苦しい子供に頼れない現在、身体の健 康な人達も沢山おられると思います。そんな人達が一日数時間でも働ける場所があ れば、市のうるおいにもなると思うのですが。
今後伸びる分野（半導体）の企業の誘致による話題性の創出による雇用の拡大
・一部上場の企業の誘致。雇用の場を増やして欲しい ・新快速の本数を増やす。自宅から出勤出来る。京都、大阪方面に通勤出来る。自 宅から大学に通う
農業、林業、そして地場産（伝統工芸）のものが若者にうけつがれていく工夫が必 要。そのために安定した収入に結びつけるようにする
全ての基本として「給料が安い」「仕事がない」が高島市の現状だと思います。京 都や大津まで出ないと安定した給料がもらえる定職に就くことは、厳しいです。ま ず、安定して暮らせる賃金が大切です。

若い子が学校を卒業し、街で就職、流出して、人口減少、地元の人々が生まれ育ち、この地元で働けるようになればいいなと思う一方、このような考えの働き方が時代にそぐわないのかなと思ったりもします。他の地域から移住して来て、いい暮らしをしている方もおりますし、そうすると個人の才覚になるのでしょうか？このような課題は、今や全国的な課題でもあります。
問１２は※注釈を読んでも、尚、理解できず答えられませんでした。消滅の可能性有る市と聞いてショックを受けていますが、県内各市町はもちろん全国全ての市町が少子化に発する人口減少に大変苦慮されていますが、決ったキャパの人数を取合っても仕方がないので、資本を使ってむづかしいことをするより、高島にある多くの観光資源を尚一層生かし観光客を増やし、そこで働ける老若男女を増すくらいのもので良いのではないのでしょうか？
今も様々ありますが、地の利をいかしたこと、また、この地でならでることの起業を支援していく。
企業の定年制度を見直し、元気な人には長く勤めてもらう事も必要だと思います。
すべての事で、交通の便が良くならないと・・・（強風で止まる湖西線、R161のBP）
福利厚生がしっかりしている事
私の住んでいる所は、冬期の融雪装置がなく、たくさん雪が降ると、車での出勤が大変です。地区内の除雪も、時間がおそく、子供達に同居してと言えません。若い人に住んで、仕事して良かったと思えないです。人口の増えるような企業の誘致、職場があれば。
働き所が無いと雇用の確保は解決（対策）出来ないのでは
市内での仕事づくりも重要と思うが、京都・大阪方面から移住しても通勤・通学ができるようなJR湖西線のダイヤ改正がなければ、人口増加は望めないと思う。
高島ならではの仕事には大賛成ですが、拡大な土地だからと無理矢理外部から汚染的な仕事場を持ち込むのは反対です。また、通勤の事を考えても湖西線何とかして下さい。

問14. 若者の移住・定住を促進することに関してあなたのご意見をお聞かせください。

回答
保育、教育で差別化を図ると有効だと思う。 自分世代だけ見れば高島市に住み続けたいと思うが、子どもがいれば友達との触れ合い、課外活動の活気を考えると、今は積極的に定住を選べないと感じるため。
・移住者に対する手厚い補助と子供たちにかかる費用負担の低減。
・起業家のネット通販を支援する。
①年代別に対して高島市の魅力発信 ※生まれて、育って来た街の良い所を理解させる。地域に於けるコミュニケーションの場が、必要。 ②雇用場所の確保 ③U ターン者の雇用場所の確保 ④成人を祝う会の活用 ※高島市の魅力発信アピール
JR 湖西線の本数を増やし通勤通学が可能になってほしい。
いちご農園のお金はどうなったのでしょうか？ ↓ いくらでも使えますね。 子供 1 人出産したら、市からいくらかお祝金が出るとか、他とは違うことをしないと減る一方でしょう。
インターネットの高速化、5G の誘致はテレワークを推進するために絶対必要。 湖西線の強風による運休も高校生以上の住民にとっては死活問題。 若年層が住める単身者用の低料金な公営住宅をもっと増やしてほしい (親と同居している未婚の人が多いいのも結婚が進まない大きな要因。非正規だと住宅補助がないので、非正規でも一人暮らしができるくらいの家賃の住宅があればいいのと思う) 遠方に通学している学生への通学補助
ここにいても様々なことができる見通しがもてること。
この地域にとどまりたいと思う仕事のやりがいと収入が確保できるか労働環境の構築。
しっかりとデメリットも感じてもらわないと、結局は悪い印象を持って出て行かれてしまう。
ショッピングモールの充実。
ショッピングモールを誘致したり、JR に働きかけ、京都へ行く電車を 30 分に 1 本に増やすなど、若者が遊びやすい環境を整える必要が有ると考える。

すでに子育て支援に関しては、全国的に見てかなり優遇されている内容であると思います。これより更に若者の移住、定住を促進するのであれば、高島市で家を作る若者に対し、支援を行う内容の施策を考えることが有効だと考えます。
デジタルなど流行りのものを取り入れるよりも 地域の伝統文化に誇りを持てるまちを作るべきではないか
とにかく高島市は基本的に給料面で大都市とは比べ物にならないくらい低い水準だと思う。 若者が大都市へ流出しないような取り組みを行わないとどんどん先細りになっていくと思う。
とにかく新しい商業施設や店舗をどんどん取り入れる
なぜ若者にこだわるのか？ 何歳までが若者？ 移住希望者全員にするべき??
まず、若者にとって「魅力ある働く場」があることが第一だと思います。
もっと高島市の良さをアピールした方がいいと思います。
もっと魅力のある街づくり。
やはり 若者のパワーをお借りできたらと思います。 わたしは、農家に少し関わっていますが、農家をやりたくて…と、畑を借りたという若者に会いましたが、住むところを探しておられました。畑もなかなか借りるのも難しいようでしたが、休耕地もたくさんあるのですが…たった一つの例ではありますが、そんな若者もいてくれるので うまく定住してくれたらなあと思います。
やはり定住となるといい学校、安定した仕事先があるべき。
安心して通勤が出来る環境を整えることが重要だと思います
移住、定住の促進は判らないではないが、他地域を見ると大半が住居の補助や一時金の支給等、お金の事が先行している様で有り、それより必要なことは高島市にあった雇用創出、確保が必要。
移住者だけではなく、土地を受け継ぎ、そこに新築する者に対してももっと資金面で支援を 考え甘い
移住者に対して家賃補助など一定の財政援助により魅力ある高島市にしてほしい。
移住者に対する優遇策をもっと充実させる。金銭面の補助が一番。それと、もっと自然環境をアピールする。
移住者支援の拡充。
移住補助の拡充
一般的に、一朝一夕には事が進まないが、何か画期的な対策はないものだろうか？

家を建てる為の費用負担 自動車必須なのでそれにかかる費用の負担 空き家のリノベーション推進 一度出て市内に戻って来た人へのなにかしらがあると戻りやすいかも。
家建てる支援子育て支援空き家リノベーション
家購入を考えているが、建て売りがなく、仕方なく自由設計で建てると、堅田で建てる時と同じくらいの費用がかかる。 土地が少ない。 中古住宅の補助はあるが、古すぎてリフォームして買おうと思わない。
街の中に子供達の姿を見ることが無い とてもさびしい気持。元気な子供たちが居る 高島市をアピールしてほしい。
学生や若い人が遊ぶことができる店等を増やすことができれば、流出を防ぐことにつながると思う。
活気あるまちづくりと地域の人々に根付いた仕事が産み出されていくことが達成できれば若者を移住させ定住させることができると思う。
環境が整っていればリモートワーク可能な職業の人には 定住移住も促進されるかもしれないが 高島を選んでもらう という点でサービスを考える… 都会から仕事と家付きの移住制度に 生活基盤保障を付ける 若者だけでなく親族単位で引っ越してきてもらえる様な仕組みを考える
関西屈指の自然がキーワード
企業の増加、正規雇用、最低賃金の増加。
企業誘致 生活に便利な土地を使って、大きな住宅地をつくる。
企業誘致しかありません。
企業誘致だけでなく、山川草木を主体とした環境ビジネスやリサイクル素材を用いた製品を産学連携で開発、販売すること
既にあるかどうかはわかっていないが、 結婚の際、出産の際の補助金、定住における 住居の補助などあれば一定数は定住や 移住を考えるのではないかと考えます

強風時の JR 湖西線の通常運行をしてほしい。無理なら、堅田駅から、マキノ地域まで代替バスを運行してほしい。湖西線が通常運行しないと若者の移住は無理です。
教育環境を他にはない優れたものにする。また、すでにある魅力を発信する。
郷土愛を若者に持ってもらえるように親世代が伝えていく事が大切だと思います。親世代が（高島市は何にもない、働くところでなんかあらへん好きなどこ行ったらええんや）などということを行ったりするのも良くないと思います。親世代の考え方も大切なのではないのでしょうか。
近所にも空き家があるけど、権利とかの関係で壊す事さえできないらしい。家が壊れてしまう前に若い移住者が住んで活用できたら一石二鳥だと思った。
近隣で災害が起こった際、自宅に帰れないから、定住しない。
空き家バンク等に問い合わせた経験が過去にありましたが、内覧希望の際には担当の人からは不動産やさんに問い合わせるようにと回され、言われた通りに不動産やさんに問い合わせたら役所の担当の人に問い合わせるようにと回され明らかに紹介する気がない対応をされたことがあります。他にも同様に気持ちを削がれるような思いをした移住希望者もいたことでしょう。それでは移住・定住促進に貢献するどころか、自ら妨害しているだけだと思うのでますます賢い人々は役所に頼らなくなり自立的に行動し生きることの方が効率的かつ信頼に置ける結果となるのだなぁと確信させていただく機会となりました。
結婚に対して 100 万支給とか、定住に対しての住民税の削減とか、子どもひとり生まれたら 100 万 2 人目は 200 万 3 人目は 300 万とか。
減税
現在、暮らす人々が、豊かに過ごしていることが、大きな魅力に繋がると思います。移住のきっかけづくりと同様に、在住者の発展、活躍の応援事業も並行していただきたいです。
古い考えの地区は新たに住みにくい。 その辺りの改善と新規転居者に優しいまちづくりをする
故郷協力隊などの制度をもっと活用して若い人が移住しやすい仕組み作りが必須 東近江などはその制度で成功しているように思う
湖西線が年々不便になり、京阪への通勤が困難になってきている。 高島市内に雇用がなければ若い人は高島市に移住しない。
湖南地域 京都 大阪へ通勤通学が楽に出来る環境づくり（交通機関、道路整備等）
雇用、低賃金の解消
雇用と賃金が高島市より見劣りしないように できるかだと思われる

雇用の機会の創出が必要
雇用の場、リモートワークの推進
保育園の充実
雇用場所の確保
娯楽が少ない。
娯楽と魅力のある仕事と収入がないと、定住はないと思う。
交通の便が悪すぎます 雨風ですぐ運行取りやめになる湖西線、 渋滞する 161 号線、これでは現在通学している学生も就職で高島市 から出ると思います。 就職も市内でしたいのと思うのは、家業の後継者か公務員 が大半だと思います。
交通の便が悪すぎる
交通の便を確保する。JR が止まりすぎ、通勤通学が非常に不安である。
高島には良いところがたくさんあるけど、車がないとどこへ行くにも不便だった り、車でどこか行くにしても 161 号線のバイパス工事が完了するまではアクセスの しづらは課題だと思います。福井県と高島市を繋ぐ道路も、通り慣れない人から すると運転するのが怖い道です。
高島の自然と共に暮らすを魅力として発信していき、前項目と重なりますが、新規 就農者を支援していくのがよいのでは。
高島市にしかない魅力を発信する 他の地域では味わえない暮らしを紹介
高島市に魅力を感じている人はいるので、いかにつながる機会を増やすか。定住に 関しては地域の人との関わりをいかに増やすか。コミュニティスクールの推進。
高島市の産業を PR する。就業したい、移住したい人への支援の充実。若者を受け 入れる体制の整えや受け入れる側の意識改革が必要だと思う。
高島市の魅力を発信し、また、空き家をリフォームして安く貸し出すような取り組 みを進め、地元の人達と助け合って生活できるような環境をつくっていくとよい。
在宅育児支援事業の給付金は市外の子育て世代の友人の間でも非常に評判が良かった です。私自身子どもに持病があって仕事ができなかったので、この給付金にとて も助けられました。在宅で育児をしている家庭へのサポートという発想も先進的で すごく良いと思っていたので、この事業の廃止はとても残念です。 住みたいけど仕事がない…という意見も聞いたことがあります。自然と農業用地を 活かした町造りを進めていけば、それを求めて移住するご家庭も増えるのではない かと思います。
仕事がないのと都会の方が待遇面が良いから高島には残らないと思う。
仕事をつくる事が定住者を増やす

子育てしやすい街だと思いますので、広報活動に力を入れてください。
子育てや仕事の悩み相談するところが少なすぎる。子育てについても苦情が多すぎる。仕事が少なすぎる。今あるものを使ってもっといい方向に向かうべき。
子育て環境を充実させる
子育て支援 保育士の質向上の為給与の改善
子育て支援の充実 教育大勢の強化
子育て支援の充実。
子育て支援を充実させる必要があると思う。(金銭的な支援や子育て世代が集まるような施設を作るなど)また、湖西線の強風による運休を減らし、利便性を向上させる必要があると思う。
子育て世帯へのベーシックインカム。
子育て世代としては医療費や給食費助成はとても助かっているのを継続してほしいし、今増えている不登校にたいしてのフリースクールの助成などかあればロケーションもいいし、のびのび子育てしたい世帯にとって他都市からの移住なども、増えるきっかけになるのではないかと思います
子育て政策や補助金制度などの情報発信、アピールをもっとするべきだと思います。
市からの色々な支援（助成金）をして欲しい
市の魅力をデジタルで発信するなど現代に合わせた活用をする方がいいと思います
市外に行かせない為の施設誘致
市内での生活は若者にとって不便な点が多いものの、メリットが無いと感じる。若者向けの娯楽施設や商業施設を充実させたり市内に住んでいてよかった、もしくは市内へ移住または戻りたいと思えるような市独自の制度を作る必要があると思う。
市内で苦しい生活ではなく、皆が楽な生活が出来る都市作りをお願いします。
市内の学校の勉強面での充実化や、市に住みながら他地域の学校に通うという選択の取りやすさを向上させて欲しい
私の周りにも空き家になっていて、勿体無いと思う場所がある。 持ち主は、子、孫の世代になっていたり、直径の子どもがはず、相続がしっかりされていないようなところがある。 民間ではどうしようもないが、個人情報をしっかり持っている行政が、追跡して空き家の処分できるよう相談にのってあげて欲しい。

私も２年程前に高島市民になりましたが、 こちらへ来るまで色々な促進に関する情報を知らなかったです。 もっともっと情報を発信した方がいいと思います。
私達夫婦は高島市に職場があったので、こちらに住むようになりました 子供が小さいうちの子育ては自然も多く良かったですが、通学をするようになると不便さを感じるようになりました お給料の高い仕事があるというのは若者にとって重要で、そういう企業があると若者も戻ってくるのかなと思います
自給自足型住宅の販売。現在の高島市の１反（１０００㎡）の農地の価値は極めて低い。１０００㎡の内５００㎡を米作りに、３００㎡を住宅に、残り２００㎡を畑とする「高島次世代自給自足型住宅」を市が販売する。農地法等のハードルはあるが、京阪神から近距離にある高島にはかなりの若年世代の移住が見込まれる。この場合、通勤は誰か一人がすればいいことになる。
自然が豊かで水の都である琵琶湖、山の都である箱館山などに魅力を感じているけど、お金を稼ぐ仕事が多くなくて諦めたことを聞いています。 また高島名物のお店がどこにあるか？わかりにくいのもっとPRして欲しい。
自然環境をはじめとする魅力は十分にあると思う。プロモーション(と、交通インフラ対策)をしっかりとすれば、若者への訴求力はあるはず。
若い人が一人で来た時の想定をしてください。 政策が、結婚している人、子供がいる人に限られているものが多いと感じます。 若い人が一人で高島市に来ている人を何人か見かけてます。
若い世代の求めるものを どれだけ理解しとり込んでいけるか 長いスパンで考える必要かあると思う
若い世代の定住には、やはりやりたい仕事があることと子育てが安心してできることが大事だ。そのためにどうしていけばいいか、難しい課題であるが、少なくとも、豊かな自然を守りアピールしていくことは大事かと思う。
若い層の市外の流出を防ぐために新規採用の枠を増やすこと。
若い方から見て高島市への居住等にたいしての魅力化支索の見直しが必要なのは？
若い方々にとって魅力ある市の構築が必要
若者が移住・定住するためには、仕事、保育、交通、医療、の保障は欠かせないと思います。 そもそも職場がなければ市外に働きに行くしかないですし、そのために預ける保育園は早い時間にバスで帰したり早い時間に迎えに来て下さい、なスタンスなので働きに出にくい状況です。

子どもが夜中病気など何かあった時に病院に小児科医がおらず、うちでは診れないので遠くの病院まで連れて行ってください、では安心して市内に住もうと思えない、すなわち移住してもらえないと思います。 後々年老いた時にも、医療を受けるために交通の便が悪いので毎回タクシーを使わなければいけない。そうすると老後は都会の方に移った方が安心だな、と思います。 現在の若い世代は効率や実用性重視のように思います。若者が高島にいるメリットを感じない限り若い世代の移住や定住は難しいかもしれません。 あくまで私見ですが…
若者が移住してこない原因として、お店が少ないことや電車の本数が少ないことなど利便性での面が大きいと思います。ですがお店を作っても人がいないのであまり良くないです。私がバイトしてる時に、観光客の人が来て買い物をして「安い」と言っていました。たしかに都会に比べものが安い気がします。子育ての環境として、私自身は自然豊かな高島市で子育てをしたいと思っています。都会には無い魅力が沢山あると思います。
若者が求めている地域や環境、仕事のリサーチをして、近づける努力をされてはどうでしょうか。
若者が求めるものがないから若者が市外へ出ていくのだと思います。 若者の意見を直接吸い上げる機会(例えば中学や高校にそういう場を求める等)すれば形式張った答えではなく、真に若者が高島市に求めるものが見えてくるのではないのでしょうか。
若者が集まる店を増やす ドーナツ屋、カフェ、カラオケ、ボーリング、居酒屋通り
若者が増えなくては人口は増えません。 まず、彼らが好むスポーツや趣味の環境を整えましょう。我が家は、高校生になる息子にいつでもゴルフができる環境を与えたくて高島市に引っ越してきました。 同様に、若者は自分が好きなことを十分にできる環境があれば、すぐにこの街に居住するためのすべを考えるようになります。そこで先ほどのネット環境があれば、リモート勤務もできますので、とてもよいと思います。
若者にとって魅力のある都市としてまず学生が学ぶ施設に魅力がないと思います。何か他高校とは違う魅力発信が必要だと思います。県内による初の高専創設もありこれから高校世代はさらに厳しい競争になるように感じます。大学での可能性としましては農学部による学校農場の展開等新たに学校を設けることは難しいので、付帯施設の誘致の形をとるなど、既存の大学生が短期間でも実際に生活を体験してもらう事で魅力を伝えられるのではと思います。若年労働者への定住促進については若

年労働者が労働に何を求めているのかを真摯に向き合う必要があり、単に休暇の取得等の優良な労働環境だけではないように感じます。
若者に関しては、働く場が無ければ移住や定住は難しいと思う。
若者に高島を魅力的に思ってもらうために、やることは山ほどあります。 実践が全くできていないのが現実ではないでしょうか？ 豊かな自然だけをアピールするのではなくて、その中で育まれて行く様々な仕事などがあるはずです。 新型コロナで働き方も変わっています。 そのチャンスを全く活かしきれていないのが現状ではないでしょうか？ 若者が「ぜひ、ここで暮らしたい」、「ずっと高島市で暮らしたい」と思わせる魅力的な仕事、環境、制度を創造すべきだと思います。 未来は今から始まっているのですから。
若者のみを対象として考えた場合、遊戯施設及び大型商業施設の充実及び大企業の市内参入が必須となると思います。
若者の移住促進にこだわる必要はないと思います。無理やり呼び込んでも、高島に興味なければ、街は良くなりません。本当に高島の良さを分かってくれる人なら、自然と移り住もうと思うと思います
若者の移住定住を促進する事に使う税金を、税金を納めている市民の為に使うべき。 多くの税金を使っても、他の自治体の効果を見ていると、あまり期待出来ない。
若者の聞き取り、ニーズを汲むべき。高齢者と若者が共存する地域社会を作るべき。また、大型店やチェーン店などの誘致をし、若者に高島市で十分満足できるように。
若者を取り込むならデジタル推進は必須だと考える。都会から遠い分デジタルのメリットを十二分に活かさないと若者は来ないと考える。
住みやすい街 魅力ある街
住む住宅がない。空き家をシェアハウスにしても良いと思います。 高島市の生活環境をもっと知ってもらえると良いと思います。
住宅の補助金などを増やす
少子化が進む日本で若者を増やすことは、降雪の多い高島では余程魅力あるものがない限りほぼ不可能かと思われます。
人とのつながりを大切に輪を広げていくことが、移住や定住の促進につながると思う。 また、期間限定のお試しなどができるといいと思う。

人口減少対策としては最も大切で核となるものだと思う。
図書館や公民館の施設、高島市の市政がもっと充実したものであれば、ずっと過ごしたいと思う。しかし、今はこれからも一生住みたいと感じられない。
昔から排他的な町であり、住民の意識改革もまた必要になると思います。 私自身生まれは高島市ですが、両親とも県外の出身だったため、しばしば肩身の狭い思い、住みづらさを感じました。
積極的に進めていくべきだと思う。
交通の便が悪いので、大津方面、京都方面で仕事をするには住みづらく、旅行などにも行きづらいので移住やＵターンの決意に至りにくいと思います。
市自体が本気で正規雇用を守ろうという気がない自治体に若者が来るわけがない。
農業をやりたいという若者を応援する仕組み作り。
先程から言っているように、地元のことをもっと知った方がいいです。 今の学校の授業だけでは足りないと思いますし、先生の負担が大きすぎます。 学校への資金も足りていないと思います。 色々な体験をさせてあげたくても資金がなくて、できることが限られていると言う声を聞きましたので。 あと、若者だけではなく、今まで地域を盛り上げてきてくださった高齢の方達にも住み良くなればいいですね。
交通の便だと思います。
前項に述べた通りである。現在の高島市の施策は、人口減少を言い訳に予算確保のため保育施設の閉鎖を考えるなど真剣に人口減少に歯止めをかけようとしているようには見えない。
其処に継続した仕事があれば若者の移住定住は可能だと思われるが、何もないところには呼び込みは難しい。他市に勤務となれば止まってばかりの湖西線では二の足を踏むのは当然。大学や企業の誘致も行政としてもっと力を入れてもらわなければ、若者の呼び込みは難しいと考える。
大学のフィールドワーク先として高島市を提案し、そこで高島市の良さに気づいてもらう
大学の誘致、交通手段の多様化
大学卒業を期に市外へ出るため、クリエイティブな業種の企業誘致が重要。
大手企業の誘致を促し若者が集まり働く場を増やす事が必要。
男女のマッチングサービス、出会いの場を提供する。 結婚、子育てをする前に出会いがない人が多い。 役所で出来ない事もあると思うので、商工会等団体を使ってもいいと思う。

中高生?大人、ファミリーが利用できる、屋内型レジャー施設があれば良い。ボーリング、カラオケすら市内にない。
定住して頂く為に、病院の充実や 地域の方々の Welcome な姿勢 近隣への雇用の創出
田舎特有の濃いコミュニティ、ご近所付き合いの中住んでいるが、高齢の方ほど「よそから来た人」との隔たりを作りやすい。 移住してくる方達だけの地域を作る訳ではないのなら、地域ごとに迎え入れる住民の意識など確認し合うことが大切かなと。
都会化するだけでなく、高島らしさゆえの田舎の良さを発信できたらいいですね。
働き口の確保です。 大学を卒業後、働くところが少ない。
働き場所の確保。
働く世代、子育て世代が高島市に移住したいと思えることが重要と考えます。地元の子は外に出たがりますし、出て世間を見てくるべきだと思います。その上で戻ってきたい、地元の良さや可能性を見て戻りたいと思えるようにしていくべきでしょう。 出戻りした立場としては、子育てしやすい環境であるかどうかの方が特に大きく関わっていると思います。移住にかかる費用の支援、働く時の社会保障、子どもの保育や教育環境、医療機関の充実(特に産婦人科等)は大きいと思います。今のところそれぞれに向上に向けた対策支援を実施されておられますので、今後予算をみながら更なる充実を期待してます。日々、市で働く皆様に感謝してます。お疲れ様です。
道路網整備
夫婦合わせて 75 歳迄の高島市定住者を増やす。 限界集落に定住した、子ずれ夫婦に財政支援を一定期間内の支援を行う。
風で止まらない湖西線が必要
閉鎖的かつ排他的な住みにくい地域を無くす 昔から住んでいる人間の意識改革が必要
保育料が無料なのは魅力だし、小さな子供の遊ぶ場所もそれなりにあると思うが、子育て中の大人が息抜きできる場所、娯楽がほしい。 若者はやはり新しい物、事、場所が好きだと思う。 高校卒業後に若者が出ていってしまうのは仕方がないと思う。 定住してもらえる、帰ってきてもいいかなと思える町づくりが継続的に必要かと思う。

魅力ある企業の誘致や、賃金の増加、地域の子どもたちが進学で離れた後も戻ってこれるような場所づくり、
魅力ある就職先の確保
魅力的な雇用状況が見当たらない。
無理だと思います。高い賃金の働く場所、様々な娯楽、それらを整備するのは現実的に不可能でしょう。 であれば、コンスタントな金銭を支払うなど、金銭的なメリット以外無いと思います。
利便性が悪すぎる。京阪神地区へのアクセスが悪すぎる（JR 本数少なすぎる、近江舞子以北は1時間に1本）。161号線の渋滞も激しい（バイパスを早くつくるべき）。滋賀県内の陸の孤島です。湖南湖東に比べて差が著しい。不便なところには若者に限らず、よっぽど田舎が好きな人以外は住みたがりません。
農業専門学校 全国の若者、不登校、障害者など農業を通じて、全寮制の寄宿舍
湖西線、びわこ線、北陸線を廃止して、京都駅から右回り、左回りで東～西・西～東へ行けたら便利になると思う。高島市から彦根、米原へ行くのは大へんです。同じ滋賀県でも大きな差があります。
交通網を整備することが急務
明石市のようになってほしいです。
テレワークのさらなる推進で若者のユーターンに期待。
通勤できる様に JR との連携を。（風や雪で止まるのであれば、せめて通勤通学時間だけでも代行バスを出してほしい）
JR の利用に関して危機管理もあるのでしょうかが運休になる事が多く、小松以北ではいつも代行バスもなく、通勤に不利である。風よけのトンネルなど運休の少ない路線にしたら、若者が少しでも移住するのでは。
空家が増加しているが、これの活用（リフォーム費用補助）
移住・定住を息子達に話した事もありましたが、今津に帰って何をするの、と言われ商売するにも人口が少ない。勤めるにも、それなりの職場がないと言われ、言いかえす言葉もなかった。今津では生活していけないとの事。
・安曇川に会員制の宿泊施設が出来そうですが、今津にも温泉施設があればいい ・出来もしないいちご農園に多額のお金を捨てている様は市政には若い人も信頼して将来を託せない。
交通の便に問題あり（JR に）
企業誘致で職場の増加（雇用の確保）
子供に対する手厚い政策。

・湖西線のダイヤ減、すぐ運休では会社や学校の事を考えると転居も考える人がいると思う。・市内や近辺に働く場所がなければ学校を卒業しても他県に出てしまう。
早く交通インフラを改善して雇用等の改善につなげてほしい 1. 湖西線→暴風対策をしても止まらない湖西線にしてほしい。 2. 湖西バイパス→4車線化を早く実現して渋滞をなくしてほしい。少なくとも完成予定スケジュールを示してほしい。 3. 琵琶湖線のように京阪神のベッドタウン化の為の政策をして人口増につなげてほしい。
交通が不便すぎるので、若者の移住・定住は難しいであろう。魅力的は施設も無い。
市内外の移動手段の充実。マイカー含む自家用車に頼らずどんな環境でも市内外移動が保証されること。
生計の成り立つ賃金の確保出来る様に。
若者が不安なく生活ができるよう官民で連携
若者には市内の外へ働かないような会社を作る
屋賃を無料にする。交通機関の補助。
①大企業との連携をつくり、社員がリモートで仕事できる住居を整える ②農業の工場化で農業に希望もてるシステムを作る。 ①②で若者の定住により、都市との往来が増え、自ずと交通機関が便利になり、商店も増え、楽しい町が徐々にでき上がっていくと、うれしい。
市内の不耕作地や田の担手となる人材に特化して募集して、住む場の確保（市営住宅）安価に貸し出し農業から7次産業化出来る人材を発掘する。マルシェや農業民宿、観光案内（山歩きトレイル）市の嘱託職員として、山の仕事に従事できるような農林水産、観光などに携える人材で地域を活性させる。子どもに対する厚い保護政策も必要であろう。
若者の意見をきめ細かくあつめて若者を交えたことを増やしていく。小さな頃から色々なことにみんなで進めて参加できる場所を増やし勉強する。高島市の良い所をみんなで考え、小さな子からお年よりまでみんなで行事をこなしていく。行事を大切にして、全員でなにかしらにかかわれる事を市が考え費用のいらない楽しいことを考える。子供から年よりまで一度あつまって意見をきき実行していく。
若者の高年収につながる企業を増やしていかないと人口増につながらない。
市に大学を呼び、設立する土地を提供する（くらい安く補助できれば・・・） 活気ある高島市となるのでは・・・
魅力ある町づくり

JR 湖西線の本数を増やして通勤可能区域に。
子育てへの魅力づくり
移住・定住を促進すると言っても、その対象者となる人々が高島市に住もうと思う様な環境づくりが出来ないとむずかしいと思います。 ・住みやすい街＝ほとんどが地域で完結出来る環境 ・湖西線も課題 ・市内には、スーパー、ドラック、病院は人口比にしては、多いと思いますが、その先は？
湖西線の便数をふやす等
湖西線風等でよく止まるので、それに対するくふうの強化。
若者が楽しめる何かを作らないと、その何かがむづかしい事です。若者は、本来楽しめる所が好きです。花火大会などには、どこから来るのかわからないほど、若者が集まってくる。こういう事です。
魅力がないので難しい
・空家・古民家の整備、低価格でネット掲載 ・大型商業施設作る ・公園遊具の整備
滋賀には日本一、世界有数の琵琶湖があります。京都、大阪の1500万人以上の人々へ水を供給しているという誇らしい実績があります。その中でも高島は断然トップです。滋賀、高島をもっと日本全国、世界にアピールして下さい！そこで、学習船「うものこ」を活用、全国や京都、大阪、世界に修学旅行地として、滋賀県をそして高島の「朽木の森」・「箱館山」・「針江の生水の郷」をセットとして、環境学習＋観光することで高島の人々が、滋賀県民が水を大切に考え暮らしている様子を広く知ってもらふ事は、親世代や子どもたちが将来を考える上での重要な知識、経験となり、将来移住や定住の促進となり人口増加になると考えます。修学旅行で入った収益は若者の移住、定住、雇用、子育て支援に活用する。それには、行政の方のいろんなハードルを越えて行く勇気と情熱が必要と考えます。高島の良いところは守り、新しいく更新していく人口減少に歯止めをかける知恵と勇気が必要と考えます。
・使用されていない設備等を利用して、高島市を活性化させる事 ・高島市の魅力を伝えるイベントや物を作り、それで収入が得られるようにする事
・市内では1人1台車がいるので車購入への市内独自で補助金を支給する。 ・全国区の店が少ない。
現在、都会で働く若者はストレスで悩んでいる方が多く、自然の中で出来る仕事を支援することで、若者の移住・定住促進を図れないでしょうか？例えば、高齢で跡

継ぎがない農業従事者や専門職人の方への若者への紹介や支援を行うことで可能ではないですか。また、どんな山奥でもインターネットの使える環境整備が不可欠ではないでしょうか。ちなみに、私の住んでいるところはインターネットは使えないです。テレビも写りません。
第一次産業界も将来はもっと進んだ機械化・ロボット化が進んでも、それらに追従していける子ども・若者の育成と、事業者がそれらに載っていける為の財源の確保が出来る業種にしていく必要が有る。
自然に恵まれた高島市ですが、車社会と言えども高齢化が進む中で車（自家用車）を手放す様になるのは目前であります。老後をいかに楽しくゆったり過ごせるのか不安はつのるばかりです。交通の便が悪く人との交わりも悪くなり将来は一人暮らしが多くなるのは必至です。何か対策はないでしょうか。健康第一での生活を過ごしていますが不安がいっぱいです。農業が発展することを（今までと異なる農業）希望します。
H26、市の移住定住の命を受け東京に行くも全国的に滋賀県の認知度が大変低い事を知った。琵琶湖は知っていても滋賀県そのもののPRが急務であると思う。
終戦後、多くの学校卒業生が、又、優秀なる人材が全てという程、県外へと流出してしまった。流出した人達が、又、Uターンして高島に帰りたいたいと思っていただける町にならないと移住定住は難しいだろう。
今現在この様な状態で考えてもまずうまく行かないだろう。
他県が既に実施しているが、行政が土地や空屋を準備する。既存の放棄土地以外に、新たにある程度のまとまった住宅地を準備し、販売 or 無償提供（家は建てて下さい）して、移住や定住者を呼び込んでいる。もちろん、子育ての施策等も他より充実していることが条件。でないと呼び込むことは困難。
魅力ある市との発信必要。マスメディアを大いに活用（話題を積極的に提供するなど安価な型で）
・湖西線の増便 ・企業 ・道路整備 ・子育てに対する助成
1 高島市の魅力の発信すること 2 若い人が安く別荘を購入できる対策。移住につながるきっかけにする。
交通の利便性、湖西バイパスの充実化、JR 湖西線のダイヤの充実化
古民家などのあっせん

移住を考えてる人（すでに移住して来た人）や高島市に関心を持っている人が何に魅力を感じているの、どういう可能性があると考えているかをしっかり把握しておくべき。
日本人はあきらめて、外国人に移住していただく。
企業誘致のみ
賃金が安い。住民税や区費をとりすぎている。
高島市は琵琶湖の東と違い、面積は小さく、働く事業所（場所）も少なく、又、道路については、高島市とは違い、何本もある。足もとをしっかりと造らないと人口の増加は望めないと思う。
・若い人が働ける職場作りが重要 ・空屋を活用し、住居を提供する（廃棄された家電、家具など備品として提供する）。
休耕地がとて多くなつた様に思います。国の政策かとも思いますが、食料がいつになっても必要だと思いますので、休耕地を生き返える様なことは出来ないでしょうか。農業をする若者が少く、家業を継ぐ子息らがいないのが現状の様ですが
高島市に住みたいと言う人がいるのであれば、空き家をリフォームし提供する。
農業や林業など興味のあることを体験しながら仮移住する場を作る。
一次産業に参加してもらえ若い人の住みやすい空き家活用などを推進して、アピールする方法を検討されたい。私の住んでいる地域では、専業農家は一軒で高齢化され後が心配であります。
課題が多すぎて、市民の個人では何をどうすれば良いのかわからない。魅力的な高島市にすることが必要だと思う。一つずつの課題を抽出、分析して、行くこと。すでに高島市外から移住されている人をどう支援していけば次の世代（移住）につながるのかも、考えていった方が良い。
借金しても企業誘致。
若い人の働く企業が数少ないこと。市内への企業誘致は、市が力を入れないとできない。トップセールスも必要だ。そこにいる専門職が、いないとできない。先人達も努力して来られ、何もかもとは行かないので、高島市は「これ」というのを定めそれに向かって研究、努力していただきたいと思います。交通網が充実していないので若者には敬遠されがちです。安全な国道の充実を切に希望します。高島市には他市にはない良い所がたくさんあります。先ずゴミ袋が安いこと、他市は3倍位高い所もあります。まだまだあると思います。
高島市で住む事に対して、メリット・デメリットを明確にし、利点を正確に情報発信する。
難しい問題なので、どう言ってもいい分かりません。

受け入れる自治会の意識体制の整備が必要だと思っています。
ネット社会の今、あらゆる手段で高島市をPR
①若者の移住、定住促進も大切だが、高島出身の若者が一定市外での生活を経て、中高年になって、親の介護等で、Uターンできる様な就職等支援対策が必要。
・働ける場所（会社）、機会を多くもたらす支援が必要と思います ・若い人が家族を持てる出会いの場を作ったり、その後地元に着定できるような住宅補助や市が行っている古民家や空き家の活用をさらに推進していくことが大事だと思います。 ・大学の誘致も有効と考えます。湖西線での通学も可能ですが、古民家・空き家を下宿として活用しその後も地元に残ってくれば有難いことです
若者が移住するには、仕事面が充実していかなければ若者離れすると思います。田畑が多い地域がら農業が主になる事から、若者が魅力的に考える職場の増加が促進するように希望します。
積極的な移住を促進するべきだが、地域とのかかわりや子育て、雇用、病院の充実を図る必要があると思う。高島市は住みやすさとしては良いと思うので・・・。
若者の仕事作り、職場の確保が出来たらいい。
・仕事を持つ夫婦の放課後の学童保育で（現在今津町の場合しか知らないが）塾や習い事、スポーツクラブへの送りをきらきらクラブが担ってくれていて、夕方時にかかる為、軽食も児童に食べさせてくれている。その事が仕事を持つ夫婦には、とても有り難いことだと言っている。子育て世代では、こういった学童保育が本当に助かっているようです。学童保育の施設の整備安全管理が定住にもつながると思う。 ・JR 湖西線が通勤・通学の為、安全運行確保が移住につながると思う。 ・琵琶湖を眺む自然環境の素晴らしさを保全維持する。 ・R161の早期延伸。
日本の中だけでなく、海外より若者が魅力を感じられる所はなにかと考えて、教育機関を誘致まずしたらどうでしょうか。
高島の地域性を生かし、働く場の確保など生活に安定と収入が目に見える施策。
外から移住してくる人もいますが、地元の子が高島市に残る用な魅力のある町になれば良いと思います。
やはり、京阪神へのアクセスです！まずは、湖西線の運休がこれだけ多いと通勤することがむずかしくなる。距離的には、京都など通勤圏内であり、私自身平日は京都へ通勤、休日は市内ですごしていますが、休日の高島市内は最高の環境かと思います。市の方でも、鉄道に対する対策は重視してほしい。滋賀県内でも、人口が増えている市町は、アクセスが良いからという理由が一番です。
若者に移住を願うのなら、ある程度の支援が必要です。生活環境がかわると職場も学校もかわります。ストレスにならないように支える必要があります。支援金だけ

ではなく、生活用品や食品等様々な方法で若者の移住・定住を願ってます。自然豊かな高島市に沢山の移住者を迎え、移住者の意見も取り入れる等してほしいです。
企業の誘致。若者の働ける場所。
楽しいと思えるイベントに進んで参加できると良いが、進んで参加できない人もいるので、誘い合える雰囲気があるといいですね。あるのかも・・・。
若い間は都市部で暮らし、定年後に高島市へ移住・定住の方が自然な考えだと思う。若者に高島市で就職し、世帯を持って生活をせよとは思わないし、良い事であるとも思わない。
・働く場所の確保 ・道路、交通機関の整備
全国に年齢制限をして、何かやりたいことを持っている（考えている）若者にプレゼンをしてもらい、高島で可能な事なら色々な面でバックアップする。
空家利用で移住、定住を促進。
28年程前にくらべると子育て、現金的にとっても優遇されていると思う。それでも、どうしても子供の数が増えない。家があり、昔の家族構成が見なおされるのではと思います。湖西線が出来るのを待って、京都から朽木に帰って来て、主人が朽木から京都へ通いました。年老いた主人の両親もいたので、四人の子供を育てました。今孫が11人、ひ孫が3人と「昔の生き方かな」いなかでも都会でも、今からはどこでも働ける能力や学歴をつける事が大切ではないのかな。仕事を変える時でも大切
私がこちらへ引越して来て22年経ちましたが、その時に比べ、駅前が店じまいが増え、活気がなくなり、交通の便も悪くなり、移住、定住しようと思う若い人は少ないと思います。私が経験した事です、他の土地から来た者は、地元の人からは、「よそ者が」と言う言葉が何度も返って来ました。若い人達が、この街に住みたいと思える、街づくり、地元の人達ともっと親しく出来る市にしてほしい。
大型商業施設がきたらいい。 湖西線の本数を増やす、送迎など親の負担が大きい。 高島市に子供の希望できるような大学・専門学校、企業があるといいなと思います。 ここの暮らしが好きな子供はいいですが、高校卒業したら大学・就職で出ていき、そのまま他市・他府県に暮らす子供が増えると思います。
インフラの拡充、特に湖西線対策→風で止まる対策。コロナ禍よりの利用客減少に対する対応策。通勤通学へのダイヤ対策

・働く場所の確保（企業誘致、交通の（新快速の増加）・生活しやすい環境が整えられれば若い人たちがたくさん定住してくれるように思えます・若い人たちが安心して、結婚出来て、安心して子育て出来る環境づくりが大事な事と思います
空き家活用を市としてとりくみ、若い子育ての人に安くで貸すとか、若者の定住は雇用の確保と大きく関係するので両方が成立するとりくみを考える。
高島市内で働いて、手取りで30万円（月給）もらえるところってありますか？30代の3人家族が暮らしていこうと思ったら、それくらいの月給がないと安心できませんよ？何よりも働き口と給料。次に湖西線の本数を増やして都心へのアクセスを便利にすることが大切だと思います。
若い方に来て頂いて、若い人の考えで、市を活気づけてもらいたいです。田んぼなどが荒廃して、自然が荒れていますので農業など従事してもらいたいです。若い人以外の人にもたくさん来てもらいたいです。
問12は※注釈を読んでも、尚、理解できず答えられませんでした。消滅の可能性有る市と聞いてショックを受けていますが、県内各市町はもちろん全国全ての市町が少子化に発する人口減少に大変苦慮されていますが、決ったキャパの人数を取合っても仕方がないので、資本を使ってむづかしいことをするより、高島にある多くの観光資源を尚一層生かし観光客を増やし、そこで働ける老若男女を増すくらいのことで良いのではないのでしょうか
高島市には自然が多く、澄んだ空気も魅力的だが、何か活動（仕事、文化、買い物・・・）しようとするれば、1時間以上の移動時間を要する。湖西線や道路を今以上に充実させたい。
住環境が整う事で、安心して子育てが出来るので若い人の人口も増えると思います。
難しい問題と思っています。
若い時はいいが、高齢になると交通・買い物・病院など心配な面がでてきます。
高島市の北部、山間地の土地を、有効活用してもらいたい。
政治的な方法で産業有地の提供
観光で訪れた人にまず興味をもってもらい「移住もありかな」と思ってもらえるしくみが必要
若い世代の方々が魅力を感じる環境は整いつつある様に思います。それを周知してもらえる様な行いとやはり湖西線大事です。通学に湖西線を使用する方が多いです。
企業の誘致など（ファッション、物流、化粧品）、健康食品などの会社の中継地点

問15. 結婚・出産・子育てを支援することに関してあなたのご意見をお聞かせください。

回答
結婚に関して、未婚者の増加が少子化の主な要因の一つと認識されているので、市内の未婚者に対する支援が必要になる可能性があると考えている。 今以上に市内の男性・女性の未婚率が上昇し、市内の子どもの出生数が減少するのではないかと考える。市のデータを確認しても、平成29年から令和4年までの出生数は減少傾向にあるようなので、可能性は十分にある。
高島市内での結婚支援を活発にしてほしい。 出会いがあれば定住したいが、無いので移住を考えている。
子育てに関しては、地域の方々にも見守られ、自然豊かで伸び伸びと育てやすく、都会と違って安心感があります。 しかし進学となると、選択肢が限られているので、交通面で不便を感じます。 今後、中学の部活動がなくなり、外部のクラブチームへの加入となると、市外に出られたり、運動がしたくてもできない生徒も増えるので、市内で活動ができる拠点を検討して頂きたいです。
・若い人たちの費用負担の低減。
・生活安定のための働く場の確保 ・子育て支援の充実
・保育士の給料を増やして欲しい ・子育て手当のお金のばらまきだけではなく、子育てに忙しい親に対してクーポン(美容室の割引)などを地域のお店と連携して配って欲しい そうすることで、その時間に保育園に預けられる環境を連携して作る ・学童に預ける際の値段を下げて欲しい
・保育施設の充実と臨時手当の支給補助・・・安心感の付与
一時的な支援ではなく、継続して子育てしやすい環境をつくる
①地域(隣近所)に於ける、見守りの促進活動※感傷しすぎない距離での見守り②高島市としての支援制度の告示強化※告示方法の検討結婚、出産、子育て世代別に考える
グリーゾーンやアイディンティに関する知識が低すぎて、差別を受ける。 在住しにくい。子育ての悩み相談をするところではなく、地域ぜんたいで子育てを見守ってほしい。 出産についても、病院のお祝い膳や食事など美味しくも豪華とも言えない。 子育ての託児サービスの値段が高すぎる。

こどもが少なくなっている中、異常気象なども相まって、更にこども同士で遊べる場所が少なくなっている。屋内で思い切り遊べる場所やそこまでの移動手段があればいいと思います。
それが出来るだけの収入を得られる雇用が有るのが疑問です。
まずは、若者に定住してもらおう事。または、一旦転出した場合でUターンしたくなるような魅力ある街づくりをすることが肝要だと思います。その具体的方策については、専門家の知恵を借りつつ、若者の意見に耳を傾ける姿勢が必要だと思います。 机上の空論では、人口減少は食い止められないと思います。
まず湖西線が止まらないことが重要。 高島市内だけで雇用促進対策をとっても、人口は増えないと思う。
やはり、出産後の手厚いサポートや、結婚や出産するメリットを、伝え継ぐ高島市のゆったりとした空間や、空気の美味しさ、四季折々の自然の素晴らしいこの地で子育て出来る素晴らしさをアピールして頂く。
やはり他の地区よりも、娯楽等が劣っている分、支援と環境がないと子育ても増えないと思う。
やみくもに婚活パーティーを実施するのではなく、結婚、人生について深く考えたり学ぶことのできるチャンスがあればよいと思う。
移住者ばかりに力入れすぎ、今は人口の奪い合い
医療費助成はとても助かる。
一ヶ月いくら支給というのを、まだ生まれていない若い人にも配ると言うような、何かしらの経済的恩恵意外にあまり支援は効果ないと思います。
給食費無料や、出産したときのお祝い金などがあり、とてもいいと思っている。
教育費と通院費の補助はとてもありがたい。 継続して欲しい。
金銭的な支援は色々あるのですが、共働きの夫婦では所得制限で受け取れないものもあります。働いている私たちが納めた税金なのに、税金を納めていない方に還元されるのは腑に落ちないなと思ってしまいます。
結婚、出産、子育てを金銭的に支援するだけではそのライフステージが終わった人や成長した子供たちが市外へ出ていってしまう可能性があると思う。一生市内で暮らしたいと思えるような制度や街作りに注力すべきだと思う。
結婚、出産が当たり前みたいな考えが私は嫌です。 色んな人が住み良い町の方がいいと思います。
結婚、出産する人たちに、何かしらかなり大きなメリットがあるといいと思う。

結婚しない、できない 30～40 代の男女が多くおられます。その原因は私にはわかりませんが、まず結婚しないと、出産、子育てにまで発展しにくいですね。原因解明と有効な対策が必要と考えます。
結婚せずともひとり親でも安心して子育てできる環境が自治体によって整備されていれば放っておいても子どもは増える。デジタルかどうか、オンラインかどうかなど枝葉の議論に過ぎない。ちょっとはまじめにやれ。
結婚による転入を促進する必要がありますが、生活のしやすさがその目安になると思われます。安曇川地区は商業施設等賑わっておりますが、それだけでは転入の条件としては隣市と比較して弱いです。結婚・出産・子育てとなると居住地が必要となります。居住地の支援例えば古民家のリノベーションにより、庭付きの広大な家屋となれば子育てにとっては他市にはない大きなアドバンテージになると思います。
現在の制度は、魅力的だと思います。他地域でも、これに関する事業等があると思いますが、ベースの取り組みとして継続いただきたいです。また、精度が活用されるよう、対象者に対して、積極的に周知をお願いしたいです。
現在も、子育てに対する支援は、私たちが若い頃に比べたら、かなり充実していると思いますが、安心して働きに出るために、保育所や託児所の運営が充実される必要がある。保育士さんの数を確保するためにも、給与をあげて保育士になりたい人を確保する必要がある。 私達の暮らしを支えてくださっているひとたちの働く環境を充実させることも必要である。
現状維持できれば最高
現状民間企業では育休制度等の制度の不充実を感じます。 また、保育園の不足も有るのでは無いかと思います
雇用場所の雇用
公園の整備、遊具を増やしてほしいです。 未就学児が遊べる遊具が子育て支援センターまで行かないとないので、自家用車に乗らないと活用できず不便。
高校卒業後大学進学を促進させ、そのための補助金を出す 条件として高島市の企業への就職をつければふるさとに優秀な人材が集まると思います
高島市が誘致した事業者は、何故か優良事業者以外の何らかの問題がある事業者ばかりで、苺農園事業者のように問題のある事業者ばかりである。何故そのような事業者血税に使っているのかわからない。もっと優良な事業者の誘致をし、たくさん雇用をうみだすべき。苺農園事業者に多額の税金を使うべきではない。その税金を結婚、出産、子育てに使えば良い。

高島市では、保育料が無料になっている。 これは大きな魅力なので積極的にアピールして欲しい。 都会では高い保育料、待機児童でなかなか保育園に預けられない状況がある。 ここは、高島市の売りなので。
高島市に産婦人科がないと思いますが、私は産婦人科と小児科がない所には住みません 支援の前に結婚、出産、子育ての支援より環境作りが先ではないでしょうか
高島市に住む事で仕事、生活、安全 が整い安心のある人生を送れるように市長初め議会で話し合うべきであると思う。 一市民からすると議会が何をしてるのかわからないので見える化、分かる化遠して市民が市政にもっと興味がもてないと良くならない
高島市に住んでいても出産は他市で、学校も他市へ通っている人がいるのが現状。 学校はともかく、安心して出産できたり医療機関にかかれたりできることを望む。
高島市の支援は十分だと思う。
高島市は子育て支援は充実していると思う。ゆとりある教育支援の実施。
高島市外に働きに出ているが、どうしても子どもの世話を妻にまかせっきりにせざるを得ない。妻も、普段子育てについて相談できる人、窓口がないと言っている。 親のどちらかの祖父母が近くに住んでいれば少しは楽なのだろうが、私たちは県外からの移住者で、頼れる親戚がいらない。県外出身者でも困ったときに頼りになる相手やサービスがあったり、外に出て働きたい女性が自由に働ける環境を整えてほしい。
高島市民の結婚、出産、育児に手厚い資金援助
今の世代は充分支援されてると思います。私達の子育て時期は助けてもらえなかったけど、子供の人口は多かったと思います。なので支援してもらえないから子供を作らない訳ではないと思います。 それよりも障害がある子の家庭を支援してあげて欲しいです。
今住んでいるひとが豊かに暮らせるようにすれば、豊かに過ごしている市内の人をみて、自ずと移住は増えていきます。 個人的には、匿名性になれるような、公園や図書館があればいいと思います。 夜の遊ぶところがない。飲み屋、カラオケ、夜空いているカフェなど、遊びがほしいですね。
産婦人科、小児科が少ない。 遠方に通う必要がある場合も多い。 助成の拡大。

産婦人科が少ない。 仕事をやめて高島市に来たが保育園も入れない。 在宅育児給付金も終わるそうで、働いてる人は保育料無料でお給料ももらえてうらやましい。
産婦人科の病院が少なすぎる。
産婦人科病院をお願いします。
仕事をしながら産婦人科に通おうとしても、夜間や休日やっている産婦人科がなく、堅田まで行っている。高島市に住んでいるのに大津市で出産という形にならざるをえない。
子どもたちも住みやすいように子どもらしいイベントを増やして欲しい。 我が娘の家族が大津市に住んでますが、高島市内では子どもが楽しめる場所が少ないと言ってます。
子どもを産んだ後が大変。小さい時より、中学、高校、大学に支援を。 中学校の制服を学生服、セーラー服、で統一しては？新旭のブレザーは規格が珍しいらしく高価なものであるそう。指定のシャツ等は必要ないのでは。白無地のカッターシャツにすれば、中学、高校と続けて着れる。市内の学校を白無地カッターシャツにすべき。 学生服、セーラー服はいかにも男女になるので、多様性を考慮するなら、規格が珍しくない安価なブレザー制服にするべき。 タブレット、パソコン購入にも補助があると助かる。
子育てしやすい施設を増やす
子育てにあたって、子供におもちゃや本をプレゼントしてほしい
子育てについては、子育て世代と市職、特に幹部職員の考え方が乖離している。 予算の事もあり、大変なものわかるが、それならそれで広く意見を聞くべきであり、していたとしても、その努力が見えない。
子育てや住宅などの補助金支給
子育てをしている人に金銭的な支援をする。高齢者が子育てをしている人の支援ができるような制度を作るべき。
子育てをするにはいい環境かもしれないが、結婚し生活の基盤をおくには働く場所等を考えると厳しい
子育て支援に重点を置いてもらいたい。 子供専門の医療機関が少ないと感じる。
子育て支援の一つとして、保育料の無料を高島市はされていて、とても感謝しています。今後も引き続き続けていただきたいです
子育て支援より、雇用を充実させた方が良い

子育て支援を最優先にした政策。 湖西道路の敦賀までの完成と湖西線の風対策。
子育て世帯が、もっと優遇されるべき。 補助金、税金控除等。
子育て世帯へのベーシックインカム。
子育て政策は、どこと比べても自慢できるくらい充実していると思うので、もっとアピールしても良いと思います。
子供3人以上の世帯には、財政支援を行う。 5人以上の世帯には、魅力的な支援策を講じる？
子供の医療費は大きくなってもかかるので20歳までは無料だとありがたいです。
子供の医療費や給食費、保育園費の無償化にはすごく助けられています。 子育て世代にとっては自然も多く、子どもが楽しめるイベントも多く、すごく過ごしやすい、環境だと感じています。 高島市で暮らし子育てをしたいと思う、世代がたくさん住んでくれるといいなと思っています！
子供をもう1人と思うなら税金が高すぎる。 もっと色々免除などあればいい。
子供一人に対して、幾らかの経済支援が得られる制度を作り、子供の人数に合わせてさらなる経済支援が得られる仕組みを作る。 高島市に移住したら子供支援が受けられる。子育てがしやすい高島市。を目指す。
市からの色々な支援（助成金）をして欲しい
市として15歳まで医療費の免除するなど子育て支援などの施策を行ってほしい。
市外・県外でも働けるよう湖西線の増便。産科の充実。
市内から産科病院が消えてから久しい。公立高島病院にその代替えになってもらいたい。国からの出産育児一時金が50万円に増額されると聞いている。産室や食事内容を見直し（外注業者のコンベ）市内・市外から高島病院を選んでもらえるような出産プランを用意する事。同時に、JR高島駅と直結する歩道橋を整備して、人に優しいホスピタリティを目指す。官民間問わずビジネスチャンスにはトライすべきだと思う。
市内での働き口や給料の問題で若い世代が市外へ出てしまい、残った市内の20代、30代は子どもがいても共働きをせざるを得なく、学童も定員があふれ、預けられないことになっている。子育てに関しては高島市の制度はかなり良く、私も助かっています。
支援に関して、どんな制度があるのか知らない。そもそも結婚や子育てに対して良いイメージがない。

支援を手厚くすべき。
自然に触れ合える環境を生かした 特色ある、保育、教育をする
自然豊かな点では子育てにはよい環境だが、子どもの預け先が少ない。育休中に一時保育をお願いしたかったが受け入れ枠が少なく、ファミリーサポートも頼んだが費用面で負担が大きく感じた。移住で実家から離れてしまった者にとっては、もう少し公的支援があると暮らしやすくなると思う。
若者が定住できる環境の整備。
若者世代に記載してしまいました 出産、子育てはこれからの世代に繋がるのでぜひとも、支援を続けてほしい
手厚くして頂ければ良いと思います。ただ、アピールポイントは再考の余地あります。子供を産む前は、「自然豊かなところで伸び伸びと子育てをしませんか」というのは、何となく良さそうに思いました。現実には、野山を駆け回るなんてほぼしませんでした。都会育ちで虫嫌いな母が家の中に入ってくる大きな蜘蛛やムカデに叫びまくる日々で、その様子をみて子供も虫が苦手になりました。登山もキャンプも川遊びも、いつでもし放題なのに、今や家族全員、誰も興味を示しません。少人数で保育園・中学校まで教員の目が届きやすく、きめ細かな指導をしてもらえるのはすごく良かったです。しかし、人間関係が固定してしまうせいで、挑戦や変化に弱くなったり、コミュ力不足になりがちかもです。部活動の選択肢のなさ、進路を選ぶには交通の不便さが足枷になりがち、など弊害もあることは、きちんと対策をするか、あらかじめ伝えて欲しいです。
出会いの場を創ることが大切
出会いの場を提供する事業をされているのはとても良いなと思います。 子育て支援というところで、働きながら育児家事を核家族でこなすというのは本当に心身ともにかなり疲弊します。家事、とくに夕食づくりを助けてもらえたらすごく有難いと感じるので、市販のお惣菜ではない手づくりのお惣菜が買えるような所があるといいないつも思っています。シニア世代等少し時間に余裕のあるお母さん方が集ってお惣菜をつくって販売してくれるような所を立ち上げてもらえたら、仕事と家事育児の直接的な支援になると思います。また家事代行のサービスの利用もなかなか取り入れるのに敷居が高いと感じるので、そのあたりも利用しやすくなればいいなと思います。
出会いの場所 安心して出産出来る施設 出産後のケア（母、父）
出産、0歳時保育、就学支援を1人からはじめ育児、託児を手厚く継続すること

出産、子育て支援が特に重要と考えます。産婦人科の充実や出産・育児休暇制度の普及、時短等による働き方の変更ができる制度の充実。また、子どものことで相談できる窓口の拡充。子育てしながら働きやすい環境が何より大切と思います。個人としては、かつて看護師の相談窓口への相談や金銭面での支援を市から何度もしていただきました。大変助かりました。細やかなケアが働く世代にとってはありがたいです。
出産する際の医療体制の充実(何か大きな問題があれば大津まで行くことになる)や子どもの教育も昔ながらのものばかり残っており、あまり今ならではの必要な教育(グローバル化しているのに選択肢としてそういうもの)が受けられない。教育に関しては選択肢がない。小中学に関しては、住んでいるところに近いところしか受けられない。 受けさせたいと思えば、子どもの通学時間が延びて、本数の少ない湖西線を使わざるを得ない。 それでは、やっぱり都会に住んで家を建てたり、引っ越して子どもにより多くの選択肢を与えたいと考えて、市外に出て行ってしまう。
出産できる医院が高島病院以外にもあれば良いなと思います。 子育てに関しては支援センターも充実しており、そちらにおられる保育士の方に子育ての相談に乗ってもらえるので育児のことで不安になることが少ないです。欲を言えば…オムツなど買う時に補助があればすごく助かるのと、共働き世帯で保育園に入れない人がかなりいるので保育園に入れるように対策してほしいです。
出産をしても預け先が見つからず、育休を延長する方が多いので、その辺りの整備を充実させるといいと思う
出産後、職場復帰を確実にできるシステムの構築。
出産後の子育てを安心してできると思うためには、時短勤務がしやすいことはかなり重要。そのために、時短勤務していても収入に不安がない制度が作られたり、その同僚の職務の負担感が軽減されるように給与が増加されるか補填員がつくなどするとよいと思う。
出産祝金の創設 (1人目 50 万以上、2人目 100 万円以上くらいの高額でないと意味がない) ひとり親の金銭的、マンパワー的な十分な支援
女性の産婦人科医が居ると良い。
小中学校の統一など、少しでも多くのクラスなどにしたらいいと思う
色々取り組みをされていると思いますが、利用者と本当に心の通い合う支援ができれば意味はないと思います。

人口が少なくなってから、子育て支援に力を入れるのは遅いのでは？私たちが子供の頃から親の世代に支援があれば良かったのでは？学費が要る年代の者には支援がないのもおかしい。奨学金制度はあるが、返済しなくてはならないし、また、保育園など収入で支払う額が違うのもおかしいのではないかな？自営業は誤魔化せるが、給与所得者は誤魔化すことができない。
生産人口が少ないのに結婚・出産・子育てを支援の前に、若者に高島市を魅力的に感じてもらうことの方が先なのでは？ そうでないと結婚・出産・子育てを考えられないと思います。
若者が住みたくなる、暮らしたくなる仕掛けを施せば、必ず刺さる層はいるはず。
湖西線の風邪対策等とても重要だと思います！子供の遊び場の充実
学校・園の統廃合 在宅育児支援事業の廃止 また、学区の端に住んでいるのですが、スクールバスが廃止されたために、子どもは毎日40分以上かけて歩いて登校しています。見守りも地域の保護者の方のご協力で何とかなっているような状況です。野生の猿も多く、また日陰もないために夏は熱中症が心配です。私達の住んでいる地区は子どもさんも少ないのですが、このような状況では子育て世帯の移住はあまり期待できないのではないかと思います。細かく現状を把握して、安心して子育てができる環境作りを進めて頂けるようお願いしています。
速効性があるのは、経済的支援です。結婚、出産、子育てを個別的、トータルの、ハード面、ソフト面から支援する体系の構築が喫緊に求められてます。高島市は部分的には合格点ですが、他の市町村の良い部分をもっと取り入れても良いと思います。
他府県、他の市町村から取り上げられるような突飛した支援や政策がないと移住、永住、人口増加は望めない
待機児童が0になるように中規模程度の保育園を作ってはどうか 保育士の待遇の改善も必要
大学までの学費支援、医療費補助など魅力があると人口増加につながるかと思います。
第一子を他県で出産し、第二子を高島市で出産しました。 妊娠から出産後までの補助やサービス等は高島市がナンバーワンです。世間では妊婦様や子連れ様など冷たい目でみられるのに、高島市は本当に子供に優しいまちだと感じます。 今実施されている補助は今後も続けていただきたいです。あとは認知が広まれば、必ず移住者は増えると思います。

地域で子供を育てるような環境が出来なくなっている。
地域として応援していけるのが良いと思います。そのアピールをされることもおすすめいたします。
地域住民がふれあう機会を増やすこと ワークライフバランスを改善すること 子どもが多様な価値観の中で育てるようにすることが大切ではないか
地域内の交流と教育を強化するために、地域の小中学生が、高齢者に動画編集やゲームのやり方を教えるような企画をしてほしい。高齢者にとっては、若い世代との交流のきっかけや帰省した家族との関わりを深められるものとなるし、小中学生にとっては、地域への愛着や、教えることによって自信がつくのではないかと思う。
賃金上昇
通勤の利便性の確保
田舎すぎて若者は高島外に出て行ってしまうのもわかる。とにかく不便。商業施設や働き口、交通の便がもっと充実すれば高島市に住みたいと思う人も増えるのではないか。 一方で、子育てはしやすく子供の保育料や医療費無料は魅力的。しかし、出産ができる病院が高島市民病院しかないのは残念。何もなければ個人病院で出産したいと思う妊婦さんが多いと思う。病院が増え選択肢が増えれば高島で子供を産みたいと思う人も増えるのではないか。
やれることは、すべてやってほしいです。
虹のよく架かる高島市は幸せな街だと 主張し、支援策を考えてほしい
風に強い湖西線が必要
保育園が充実しているという話で越してきたのに保育園が足りなくて妻が働けないので不満がある。
保育園を希望しているが、幼稚園にしか入れない事例をよく聞くが、もっと保育園の受け入れ人数を増やす。
保育園料の支援があるなどの施策をメディアを通じて大きく訴えたいかなと思います
本当に危機感があるなら、財源的に国レベルの対策が必要。自治体レベルでできることには限界があると思う。 その上で、自治体独自の魅力（地域性、独自性、付加価値）などの PR は必要。
未就園の子どもが、どこで過ごしているのかあまり知らない。 子育て広場などのボランティアや、ベビーシッターなどしてみたい。
無償化だけでなく、それを支える保育士や学童支援員の処遇改善が必要

娘がいますが市内では稼げる職は無いと出ていきました 出産子育て環境は良いと思いますがまず、生活が成り立たないと 便利な都会に軍配が上がります やはり大企業の誘致が一番の近道かと思います
明石市がやってたような取組が必要でしょうか。子どもにお金をとにかく使う。
問 14 とも関連するが、要は高島の特徴を生かした現実的で魅力ある施策を展開することである。第 1 期の創生総合戦略が何故うまくいかなかったのか、徹底的に分析していかないと単なる絵にかいたモチになる可能性が大。
連続してのスパンで 考える必要があると思う
物価高で生活はやりにくいですね。
未婚者を 30 代、40 代に限定した出会いのパーティの企画も良いが、50 代でも まだまだ結婚したい人はいくらでもいるはず。出会いのきっかけの場をつくってほしい。
一番重要なことだと思います。高島市に期待しています。
金銭面などの支援。教育機関の充実。
最重要課題です。話は変わりますが、安曇川駅前の土地の活用、ミニ遊園地等はいかがでしょうか。いつも子供の声が聞こえるそんな街です。高島市には子供の遊び場が少ない気がします。
定年退職された前期高齢者と連携して見守りができる様な公共機関をつくれば良いと思う。
常時利用できる児童館（保育園に通園していない幼児）が少ないと思います。
出産、子育ての支援の制度についてはすごく充実していると思います。私の意見ですが、イベントをもっと色々増やしたり、雨の日に遊べる施設を増やしてほしいです。
・宮の森公園の芝生の広場をお年寄りがグランドゴルフに使い子供がボールをけったり走ったり出来ない。 ・ビラデストの山上に以前は子供の遊べる遊具がありましたが無くなってしまいました。高島市在住の子供達の為、観光でビラデストに宿泊する子供達の為に遊び場があった方が良い。 ・寒い時期、暑い時期の為に室内で遊べる大型遊具施設があればいい。
今高島には、各集落に古い空き家が多くさん有ります。私が住んでる住宅にも築 30 年以内の中古住宅が 10 軒以上。その様な家を京都や大阪から誘致出来ればとてもいい事ですので、ネット等で広報すればどうでしょう。現在 400 万～500 万程で売っている家は、若い人達でも買えるのでは。
マッチングマネージャー制度（仕組）を作ってはどうか（未婚者が多い）

他の地域より充実させるべき！（手当など）。できれば大学卒業まで補助する。
近年、仕事をしている母親が普通になっています。なのに保育園に入れず困っている人が多いです。子育て世帯に支援する事も大事ですが、保育士さんに手厚く支援して、保育士になろう 保育士復帰しようかななど思ってもらい、子供の受け入れ人数を増やしていく対策も必要だと思います。
早く交通インフラを改善して雇用等の改善につなげてほしい。解決することが大事。（問11の根本を解決する事が大事） 1. 湖西線→暴風対策をしても止まらない湖西線にしてほしい。 2. 湖西バイパス→4車線化を早く実現して渋滞をなくしてほしい。少なくとも完成予定スケジュールを示してほしい。 3. 琵琶湖線のように京阪神のベットタウン化の為の政策をして人口増につなげてほしい。
子育てにおける不安は取り除くべき（金銭や託児）。今は祖父母にお願いしてる話ししかきかない。
未婚者からではなく、支援者から声かけを・・・
環境を整える
市内の若者が都会で結婚して、町内に帰ってこないため、町内での結婚の業務を営んでほしい（子供も少子化してる）
自然のなりゆき
出会いの場の提供（かんたんに出合うことができる）
若者を呼び込み、結婚、出産、子育てへの支援で人口が増えたとしても、平行して働き場所、魅力ある町でなければ、子どもが成長し大学で外へ出ていかなければならない現状では、人口減少は永遠にくり返えされると思います。サテライトオフィス、サテライトキャンパスの設置は是非急ぐ必要あると考えます。
とにかく補助をしていく
専門分野の方々と若い世代の方との対話の場。 若い世代の意見を聞き、改善すべき点を上げてもらう。
出産・子育てに対する手厚い支援を。
空家をもっと低価格で子供を育てる家族に。
最も重要な事だと思います。
結婚、出産、子育てが出来る様な社会を目指すべき。それが妥当だと思う人々を育てるべき。
少子化が超速で進む中で、仕事と子育てを両立するのは不可能と考えています。子育て支援を充実しても、少子化を改善する事はむずかしいと考えます。まず、子供が減ると社会がどうなるかと言う啓蒙広報が大切。次ぎに安心して子供を育てられる支

援制度のメニューと財源確保を図るべきと思われます。このままでは日本全体が破滅してしまいます。
全て若者に関係した事ばかり！とにかく若者が集まってくれるのが一番。今はほとんどの若者は大学を出て、市外地に働く人が増えています。無理かと思うが、有名大学の誘致なんか？
支援はし続けてあげて欲しい。若い子を大切にしていって欲しい。
補助金等多い目に
・ 24 時間体制の小児科開設 ・ 各年齢にあった公園増設 ・ 入園まで家で子育てしている家庭への支援金
・ 安定した雇用・収入（働く場所・会社） ・ 環境ーインフラ、住宅 ・ 託児所など ・ 支援金など ・ 高齢者との交流（地元民） ・ 病院 産科 小児科など ・ 各駅のエレベーターの設置、鉄道を利用しやすくする。 ・ スーパー ドラックストアの分散
イベント等を充実させて、年齢を問わず人との出会いを増やす機会が欲しい
手厚い支援を望む
出産・子育てはほとんど無料なのでこれを続けてほしい。結婚に対しても補助がでるとうれしい。
成功している自然体を参考にして、結婚への婚活パーティを役場主体でやって見るとか、出産・子育てについては、出産祝い金の充実や出産後の子育て相談のできる場所作りを充実させる。
結婚・出産・子育てに必要なものと言えば、 <u>人と金銭</u> に尽きると思う。ただし、結婚だけは条件が整えば後は見栄だけ。後の出産は中長期的に 1 子は〇〇円・2 子は〇〇〇円・・・。子育ては未成年の医療費は全額無料。教育費は公私共全額無料。そうすれば、問 13～14 の（意見記入欄参照）の様に人口増・流入人口増に繋がるのではないか。私腹を肥やす事は絶対ダメ！！
大賛成
結婚・出産・子育て、これに対して行政は充分だと思っているのか？
地域のマイナス特性を、いかにプラス特性を見い出すかの手法を考えねば、減少の一途を辿る。他の部門の予算を削減し、本問題に関しての新たな独自政策に予算を

当て、本市で住みたい、出産・子育てしたい！という若年層を呼び込むこと。中途半端はダメ！日本一を目指すくらいでないと。
生活環境（住み易いは当然ながら、都市部へも気軽に行ける環境）改善
湖西線が止まることのないように対策をたてることで大津市、京都市、大阪市へ通勤ができるようにする。
高齢者に対しての理解、結婚～出産～子育ての補助化
市外に通勤出来る様電車などの配慮がほしい
この地域の特性、魅力を活かした教育プログラム、教育改革が必要だと思う。他所にはないこの地域だからこそできる子どもの学ぶ環境づくりを追求していくこと。この地域において子どもを一番大事にしているという認識を共有し、アピールすること。「未来の大人」としてではなく「子どものまんま」で学びを深めていく教育環境、高島市はそれがおもいきりできる地域だと感じている。
公務員を減らし支援にお金を回す
外国から働きに来ている女性は、日本人の男性と結婚して日本で暮らしたいと思っている人が多いので、出会いの場を設けてあげると良いと思う。高島市に住んで人口も増える学童保育をもっと充実して欲しい。料金が高いとの親子世代の話をきいた。
高島市は琵琶湖の東とちがい、面積は小さく、働く事業所（場所）も少なく、又、道路については、高島市とはちがい、何本もある。足もとをしっかりと造らないと人口の増加は望めないと思う。（問１３・問１４に同じ）
働く場所があり（収入確保）、育休が取り易い、子供の年齢に応じた勤務時間体制など、安心して生活（結婚～子育て）出きる、しくみ作りが重要と思います。
単身のためわからない
子育て中の父母が病気の子供をみる為休みを取得した際、職場の対応がまだまだ冷たく思います。子育て世帯も気がねなく働ける場が必要かと思います。
・男女問わず育児休暇を取りやすくする ・子育てに必要なお金を国や県、市が負担する。
出産、子育てに関しては、かかる費用（医療費他）について、何も心配あることがないようにしてほしい。子どもが一人でも多く生まれなければ、この町の将来はないのだから、一番力を入れて取り組んでほしい。
出産・子育てに関して騒ぎすぎ。静かに応援。
若い人達が結婚しようと思うには安定した職業、給料が保証されていること。その上に自分では相手にめぐりあえない人達のために、お世話する人が存在することが大切だと思います。地域にたくさんの独身の男女が居られます。先ず結婚にこぎつけ

る事です。出産に至る迄も大変ですが、病院は大丈夫です。他市では一才の誕生日にお祝い金を支給されているとか・・・。ここはどうなのでしょう
難しい問題なので、どう言っているかわかりません。
結婚・出産・子育て支援の前に未婚率の低減策が必要。
問14と大いに関連しますが、男女とも高島市で出会うチャンスを増やすことが第一歩で、高島市に定住する人が増えてくれば、次の世代も残り人口減少に一定の歯止めがかかると思います。
高島市で結婚、出産、子育てをする人達が増える事がとにかくありがたいですが、特に子育ての支援はこと細かくしてあげたい気持ちです。子育てをしている方々には、頻りにアンケートなどとして声を聞くことが大事だと思います。聞くだけでなく、可能なものは実現させてほしいです。
今以上の優遇がわかりやすい様に告知する事。
・未婚の40代、50代の方が近くにも多数おられる。婚活の時期を過ぎられても、結婚できる希望が実現するような支援が必要と思う。
現在の社会状況の中では、経済的支援をすることで支えていていただきたい。
まず結婚しないと始まらないので、出会いの場を作るイベントを増す。
高島は、自然が豊かで、人が人間らしく暮らすには、良い環境です。子供も、自然の中で元気いっぱいすごしています。ただ、教育を考えると、むずかしい部分もあります。教育レベル向上にも目を向けてほしい。そのためには、大学の施設を誘致するなど、対策が必要かと思います。
出産に対して言えば、産婦人科が少ないですね。子育てに対して、スマホやタブレット等の影響で視力の弱い子供が多いですね。特に高校生の「歩きスマホ」が多くなっていますね。スマホで勉強してるのか、ゲームしてるのか、友達とのメールなのかわかりませんが、「歩きスマホ」はやめてほしい。対人での会話ができなくなるのではないかと心配です。
推進して頂きたい
もうすでに、いろんな支援があると思うが、高島で良かったと思える支援がいい。
支援する事には大いに賛成である。
結婚、出産、子育てがしやすい環境整備
出産、子育てに関しては高島市で特化した支援を考え、実行することをが必須
かつての経済大国は後退している。若者は結婚したいが経済力が無い（非正規雇用では）。支援する以前の問題である。このままでは、人口減少が止まらない？
出産、子育て支援をしてほしい。結婚式場も安くって、良い結婚式場を作ってほしい。遠くで高い式場を使わなくてはいけません。葬儀場はいくつかある。
明石市の事例に学ぶ。地方行政の成功事例より取り入れる施策の実施

高島市は子育て支援や医療について他市町村に比べ手あついが、PR が不足していると思われる。もっともっと高島で子育てしやすいことをPR すべきと思う。
現在、正社員として市内で働いていますが、手取りで20万円ありません。月々の支払い、生活費、日々のやりくりが大変です。結婚したくても、できないですよ。市内は給料が安すぎます。手取りで20万に届かない人向けに、何らかの支援があると助かります。
財政的な面もありますが、医療や教育の方も充実していった下さい。
費用面での援助と心の支えになれるように悩みや疑問など気軽に申しあえる場づくりを行うとよい。
支援推進をより強める事も要るかと思います
長い目で考えて、将来から逆算し今すべき対策を考える
出会いの場を提供するイベントのポスターなど時々見掛けます。それを経て、出産、子育ての支援は有難いと思います。当事者が何を望んでいるのかをしっかりと把握する必要があると思います。
縁結びなど、マッチングなど、できるだけ機会をもうけて、市内の若者に参加してもらおう。又、年齢などの枠も幅を大きくして出会いを見つけてほしいです。

問16. デジタルを活用したまちづくりに関するあなたのご意見をお聞かせください。

回答
・キャッシュレス決済の促進 ・オンライン学習の強化(自宅にしながら都会と同レベルの教育) ・スキマバイト等、仕事に多様性を持たせる ・集会等のオンライン開催を増やす ・極力、市役所に行かなくてもいいようオンライン手続きを増やす ・オンライン診察
・高齢者に対して利便性や安心安全に暮らせる PR が大切と思う。
・統計資料を充実させ、検索を可能にする。
1人1台 iPad 学習を進めている学校ばかりのわりに、教科書等のペーパーレスは全く進んでなく、子供の荷物だけが多くなっただけのように感じる。
アプリの活用はこれからの社会で必須で、すでに実施されていることと思います。自動化できる部分はどんどん自動化して、本当に人手の必要な部署や仕事に人員をさけるように引き続きしていただければと思います。
さっきも書いたけど「デジタル」と人口減少はまったく何の関係もない。そこに結び付けようとするところに行政の責任回避を感じる。
デジタルのみでは人口減少に歯止めは係らない、デジタル技術はツールとして使用するべきで減少に歯止めを方策を検討するべきである。
デジタルの便利な面ばかりにとらわれずに危険性をしっかり認識した上で 地域の文化を守りながら活用する方が良い
デジタルばかりではなく、田舎ならではの良さ（アナログ部分）とうまく MIX することが大事だと思う。 デジタルだけでは、現状高齢者が多い高島市ではついていけない方も多いので。
デジタルは必要無い
デジタルを活用したまちづくりとは、実際にどのようなまちづくりなのか？具体策を示さないと意見出来ない。他の自治体がやっているから高島市もやると言うのではなく、今後の情勢を考慮したまちづくりをするべき。
デジタルを活用した町づくりをしても、人口減少に役立つとは思わない。
デジタルを活用し小中学校の学力水準を上げる取り組みをしてもらおうと子供を持つ親世代にとって魅力あるまちづくりになると思います。（小学生の子供を持つ親御さんが、高島市の中学校に行っても勉強のレベルが低い。なので市外の中学校に行かせたい）というはなしを聞いたことがあります。

デジタルを駆使しただけでは人口減少は止まらないし関連性はないので、余計な予算を出産や子育て支援に回すべき
デジタル化して良くなるものはしたいと思います。人がやるから意味のあるものはお金をかけてデジタル化する必要はないと思います。
デジタル化するなら、高齢者に優しいデジタル化にしてほしいです
デジタル化による町おこしは、是非高校生を交えてプロジェクト化を文化遺産、歴史的背景の検証から発信力をからの観光の魅力発信
デジタル化を推進するのはいいが老人の多い町高島ではそれを利用する事が出来ない年代の人が多い。 一方的にデジタル化を進めても利用できなければ意味がない
なぜ人口減少とデジタル活用のまちづくりが結びついたのか私には分かりませんが、国の政策より、地元の方たちの声を聞いて、高島市独自のやり方で盛り上げていく方がいいのではと思います。
まずはデジ田の補助で庁内システムを改善し、住民と職員がどちらも簡単に申請から処理できるようにして欲しい
ムード作り
医療機関の予約をサイト等でできるようにしてほしい。 役所にいかないといけないことを減らしてスマホ、ネットでできるようにしてほしい。
回覧板ではなく自治会のお知らせもデジタルで送っていただけると手間が省けていいと思う。
居住地には、高速回線の選択肢がないです。20年ほどのあいだ、ZTVだけです。家電量販店で何らかのキャンペーンがあるたび、住所を言うと、エリア外です。まずは、そこから改善して欲しいです。
京阪神との距離を縮める方策に活用する
教育に関してですが、午前の授業はオンライン、午後は学校で行うなど、何があるうとも対面は残すべきだと思います。 私はコロナ禍の中、大学生活でオンラインの授業を受けていましたが、完全にオンラインになりました。そのため、同級生などと話す機会が減るといった事により、コミュニケーション能力といった今までであれば常識的な能力が欠落します。 社会に出れば、コミュニケーション能力は最重要と言っても良いほど必要不可欠な能力です。
具体的なものの提示がないと答えようがない

現状デジタルに弱い高齢者の多い市内でデジタル化を推進することは費用がかかるだけでメリットを感じる人の割合が少ないと思う。そこに税金を使うのは現状では無駄遣いになりかねないのでやめてほしい。
交通機関をはじめとし、体が思うように動かないお年寄りにとって過ごしやすいたは言い難い状況だと思うので、デジタル資源の活用を最大化し、少しでも過ごしやすいた町になって欲しいと思います。
交通手段の無い方に対するオンラインでの医療診察を希望します
行政に関して言えば、まだ窓口へ行かないとできないことが多い（と思っている）ので、インターネットを通じてできることを増やしてほしい（各種申請関係）。民間に関しては、コストの面、リテラシーの面から進んでいないことも多いが、生産性向上を自治体全体の課題とするのであれば、今ある補助制度の積極的活用について周知する、対象とならないような部分（または自己負担の一部）は独自の補助制度などを構築するなどして後押しすることが必要。
高島市が抱える問題として高度な医療が挙げられます。 市民病院では厳しい疾病等の際にデジタル診療等を通じて市外県外の高度医療施設へのデジタル診療等の推進が医療に対する新たなまちづくりにつながると思います。
高島市のデジタル通貨があっても良いとは思う、ネット通販で買い物をする機会が減れば地域内で新たな物流が生まれ、活性化する余地はある、アイカよりもランニングコストは低いと思う
高島市の高齢者の割合を考えて、高齢者が置いてけぼりにならないデジタル社会を創出してもらいたい。
高島市の場合、広大な面積に集落が分散しているのが難点と思う。商業施設は安曇川、今津に集中しており、例えば気軽に買物ができる仕組みを作るのにデジタルを活用して欲しい(もっと気軽に使えるオンデマンド交通とか、直接声かけしなくても一品買いを同地域の人にしてもらえる仕組みなど)。
高齢者が多いので、デジタル化が定着するか疑問です。 デジタルはオンライン診療や、社会福祉の面で対象者が申請制ではなく、もれなく支援を受けられるシステム作りなどに使われればいいのではないのでしょうか？ 過度なデジタル化はかえってトラブルの元になる気がします。（停電しただけで使えないとかは…困りますよね）
高齢者など取り残される人がないような体制を希望
高齢者には馴染みがないのでそれをどうするの？って思う

高齢分野に於いて、見守りや福祉の関わりが過疎地域で特に手薄になることが予想される。孤立死も増えるのではないか。高齢者に今更何かを覚えてもらわなくても、見守りができるデジタル化が推進されると安心材料になる。
使える人は使えるけど、使えない人は書面などの手書きの方がやりやすいのかもしれない。ですが、それはお年寄り目線であって若者が来てほしいなら取り入れていくべきではある。 デジタルは関係ないが、説明会なども平日にしていることで結局高齢者の方しか行かないから悪循環だと思った。
子育てしていて困ったときに気軽に相談したい場面が度々あるので、デジタルでも専門の方に相談できる場があると助かる。
市のホームページや学校のホームページがとにかく見にくい。若い職員さんにも運営に力を借りるべき
市民はそんなに関心はないと思います。それよりは安定した企業に勤めて、安定した給与がもらえることが先決です。
私の家計の決済手段は、今や95パーセントが口座決済だ。 地域通貨のアイカなんてなんの価値もないし役にたたない。そんなことを何の疑問も持たずに続けているのは最悪。利用者にとって何のメリットがあると考えているのか。呆れてものも言えない。 やるとしたら、市でデジタルアイカでもつくって最低でも5パーセントぐらいのポイントを付けて、業者と利用者が共にウインウインのメリットがある制度をつくるべし。 そんなことを考える人が市役所にいないのか。
治安、防犯対策を強化し、ソーラーや風力、地熱発電を有効活用し、デジタル運用管理すること
若者が少なく高齢者が多いため、デジタルを活用したまちづくりに力をいれても理解ができない高齢者が多いため、行政の負担が増えるだけではないか。
若年層はスマホがありますが、高齢者をはじめ、スマホを使わない人にはデジタルカード(高島市限定)を配布し、市のサービスに直結出来れば良いと思います。その点で言えば、マイナンバーカードを有効に使えると良いのですが、現実性に欠けた意見ですみません。
情報機器の進歩は凄まじい。 具体的に何とは、言えないが良いものは積極的に取り入れて、高島市のアピール材料にして欲しい。 例えば、駅などにデジタル情報版みたいなものを設置して、市役所にあるようなやつ

街を訪れた観光客が必要な情報、交通手段や、食べ物屋の情報などがすぐわかればいいかなあ もう紙の時代じゃないと思う
人口減少と、デジタル化あまり関係ないと思います。
人口減少とデジタルを活用したまちづくりの関係性がわからない。高齢者が多い地域でデジタルというのは難しいのではないかな。
生成 AI を見ても、デジタル技術の進歩は現実をはるかに超えている。要は技術を使う人が大事なのであり、高島市においてデジタルで何が現実的なのか、誰が（どの世代が）何を目的にして活用するのかを明確にして取り組む必要がある。
全てに置いてデジタル化が良いとは思えないアナログとの併用も必要に思う。もうそろそろ田舎においても結婚は個人同志の事で家どうしではない、嫁にやるとかもらうとかの考えは無くさないといけない。男の子産まないとダメみたいな考えでいるから産みたくなくなる女性もいると聞く。もう明治、大正、昭和ではなく令和なので市の議会がアップデートしなければ市民はいつまでも昭和のまま、このまま高島市が消滅するのは物を一方向からしか見ない年寄りのせいであると思う
全市民のデジタル化の促進。例えば、無料でスマホ貸出など。
他市並みで良い。
誰でも使いやすいようにわかりやすいアプリなどがいいと思います。
特に一次産業への支援。 農家など。 そういったことが全国に届くようなデジタルの活用は必要と思われる。
年配者が多い地域の為、デジタル主体ではなくアナログもまた必要では？
必要最低限のデジタル化で十分 古き良き田舎の魅力作りに力を注いで欲しい
便利な街
防災無線のタブレット化、もしくはテレビとの一体化
未知でわからない方が多い 予算をかけ過ぎずに、少しずつ、様子を見ながら活用してほしい。 税金の無駄遣いは本当にやめてほしい！
無理にデジタル化しなくていい。 無理な人は無理だと考える。
様々な場面でデジタル化が進めば便利だと思います。今の高齢層は紙媒体も必要かと思いますが、これから高齢層はこれまでデジタルを使いこなしてきた世代なので、どんどんデジタルにシフトしていけるとと思います。例えばごみ収集日のカレンダーが TimeTree 等のアプリに反映できたら便利だと思います。回覧板や配布物も

デジタル配信ができればよいと思います。紙媒体が無くなったからといって地域でのつながりは良くも悪くも変わらないと思います。地域での作業や会議の連絡もデジタルになれば便利だと思います。
例えば坐禅草の和菓子など、高島名物のガイド、散歩道のガイドも増やして欲しい。
老若男女殆どが携帯電話（iPhone 型）を所持している昨今、給与明細をデジタル化したら如何でしょう。 ID と PW を個人に付与して、市の会計ソフトにアクセスして PDF ファイルの給与明細を見たり OP したり出来るようにしてください。 ●●さんも 3 年前の合併時にデジタル化されました。
有線放送の活用方法 地域のニュースを取り入れる
デジタルを活用したまちづくり。年寄りにはついて行けません。今のままで行っ て下さい。
デジタル社会は大切であるが、アナログもいいところがあるはずです。楽（ラク） をするのもいいけど、老人のしてきたことを思い出すことも重要ではないか
デジタル化が人口増加の糸口ならするべきだと思います。
シニアが苦手とするデジタル対策をお願いしたい。デジタル活用は重要です。
高齢者に「デジタル」の使い方をまず指導する必要があるのでは
80才では現状についていくのが必死です。
早く交通インフラを改善して雇用等の改善につなげてほしい。解決することが大 事。（問11の根本を解決する事が大事）1. 湖西線→暴風対策をしても止まらない湖西線にしてほしい。2. 湖西バイパス→4車線化を早く実現して渋滞をなくし てほしい。少なくとも完成予定スケジュールを示してほしい。3. 琵琶湖線のように京阪神のベットタウン化の為の政策をして人口増につなげてほしい。
どれ程、周知できるか、やってみても、実際知りませんの声が上がったら労力も意 味を持たないと思う。
デジタルがすべてではないが出来るだけ活用する。
活性ある会社の誘致を考える
デジタルを活用した町づくりは今後の時代に必要かつ重要な事と思いますが、IT が どんどん進む中、必ずその変化についていけない年代人口はなくなるでしょう う。アナログも又人間的でホッとする部分が多々あります。常に弱者に思いやりあ る町であってほしいです。
まずは、人をあつめて勉強する機会をもうけていただき、小さい子からお年よりま でいっしょに勉強してたすけあってデジタルを活用できるようやさしい人間作りを していく

老人でも操作できるデジタルを活用し、1人暮らしの方でも緊急時連絡が取れたり、地域内でもデジタルを活用・医者とのやり取りも現場に行かずに出来ると助かるのでは？
デジタル化をもっと活用することにより、削減される時間や人手を有効活用する。
若人には必要な事と思います。
デジタル社会ではありますが、デジタルだけで事を済ませ進めようと言うのはまちがいかと思います。もっと、アナログな部分が必要！！つまり、人と人との接解、つながり、ふれあいが大事ではないでしょうか？
出合いの場のセッティング等
デジタルは、難しいので、わからない。アナログで、ていねいな、町づくりの方が、わかり易く、又、心に残る事が多い。
対面がよいです。
・空屋対策促進 ・空屋、インターネット環境の整った空屋の提供 ・行政が空屋を借上げて移住者、定住者に有料で貸す ・移住者（若い人→地元民にデジタルの知識、情報の伝授、交流活動に繋げる（ポイント制→お買い物券、割引券発行）
高島市は他県・市にはない魅力的な街です。いろんなところで高島の将来を案じ良くしようと活動や公演会が開かれています。参加されてる方は地元の方をはじめ、他県から移住した方、県内外からとても意欲のある方が多勢いらっしゃいます。現に県内の森で間伐などされている若い方がみえます。実際に現場で活躍される方々の意見を聞く機会を設けて生かして下さい。とても良いアイデアをみなさんお持ちです。よろしくお願いします。
他県・地域との交流の為にはデジタルは必要。
高齢者にとってはもう今からと思うが、幼少期の頃からなじめるようにしてほしい。
いろんな分野で使うべき。イメージとして高島市は、紙ベースなど古い気がする。古い体質を変えるのが先かも・・・。
15才以上の市民全員にスマホを持ってもらい、市内での買い物や市税やその他納付は全てスマートフォン決済を行うようにする。現在、スマートフォンを持たない高齢者には、役場主導で使い方を教えてはいかがでしょうか？
我々アナログ人種には付いていけない設問で有り、高度すぎる。今の小中学生は全員公募でタブレット等々を利用してデジタル授業・遊び等々をしているとか？いつの時代にもはびこる電子等を使った詐欺犯罪等に手を染めない様に染まらない様に倫理の世界の教え・授業も必要ではないか？

企業誘致も大切であるが、人口減少を止める政策がないと企業は誘致しない。先ずは、インフラの不要なデジタルで仕事出来る人を受け入れる。（例）画家とかネットで出来る人
わからん
デジタル活用もいいが、ついていけない高齢者を置き去りにすることは避けないと。皆、納税者です。行政側にも、デジタルが当たり前という認識を考える時。得るものがあれば、必ず失うものがある。相手は高齢者。失ってはいけないという心を。
具体的によく判からない。
デジタルではなく人の目、手で支援を。
よくわからない
これからは、デジタルを活用する機会が多くなると思うが、時には全世代の生の声が反映する対策があれば良いのではと考える。
・ドローンを使った物流サービスを始めようと思っても、ドローン1台を作るのに費用がかかりすぎて実現しないと思う。 ・デジタルを活用した防災対策は良いと思います。
具体的にどの様にとかわかりません。
あまりデジタルを過信しない方が良いと考える。デジタルは便利だが、どこに居ても利用出来るツールである為、高島市に居る必要性もなくなる。
難しい問題なので、どう言ってもいいかわかりません。（問13と同じです）
デジタルに頼りすぎてもいけないと思います。市と住民とのコミュニケーションが大事だと思います。
市内にプロのシステムエンジニアなりプログラマーを採用したまちづくり推進室を設置し、委託会社に任せるのではなく、人口減少なり、まちづくりに対する真剣な取り組みが必要。
先ずは、情報漏洩、システムエラー、ハッキングなどのリスクへの安心、安全を担保することが前提。人口減少対応へのデジタル活用についてはアイデアが思いつきませんでした。
高齢者にとっては、デジタルと聞くと苦手意識があるようなので、市民全員がとり残されないようにしてほしいと思う。
年配の方達もわかりやすいデジタルの活用を考える事。
世界に発信できる高島市をめざし、世界中に発信しましょう。
市民の方々にデジタル化した社会の啓蒙をどんどんアピールする機会を持ってほしい。

今は、リモートで、どこにいても仕事ができる時代です。それを利用して、田舎でのんびり暮らしながら、都会の会社とつながって仕事できれば最高かと思います。市と企業が連携して、雇用を生み出せる工夫をしてほしい。人口減少に対する対策は、高島市は、遅すぎると思います。アクセスの悪い自治体は、他自治体よりも、工夫、努力しないと対策はできません。雇用、交通網（特に鉄道 JR）もう少ししっかりと対策をして下さい！
「デジタル」といって、スマホやパソコン等の SNS のイメージがあります。僕は持病でブルーライトが苦手です。医師からスマホ、パソコン、タブレットのドクターストップを告げられてます。セルフレンができません。確定申告の e-Tax もできません。そこで、スマホだけではなく、「マイナンバーカード」のデジタル化はできないですか？ 会社からの給料引きおとしの時、会社に振込先を提出した時に、マイナンバーカードも提出、マイナンバーカードをもって税務署に行き、カードをかざすだけで確定申告ができたらいいですね。
人口減少とデジタル化は関連性がないのでは？
・デジタル活用という進んだ取り組み・・・年寄りもついていけるのでしょうか。 ・市の検診を受けたら、50円もらえる（スマイルカード）のではなく、スマホに QR コードから読み取って・・・娘が帰ってきたのでしてもらった人があります。聞ける子がいる人はいいが・・・。スマホ、アプリ、QR コード・・・年を取ると聞いただけで嫌になる人がいます。
若者の流出を止める為に、デジタルを活用する意図が理解できません。人口減少は自然な流れだと思います。
若者と移住・定住させることにも必要だし、高齢者も多い地域でもあるので、それぞれに合わせたデジタルの活用は、必要となってくる。
高島市も時代に乗って、デジタルを活用したまちづくりを実現してほしい。未来の高島の子供達のために
自動運転の取組みを実施する市の対応
スマホで行き先を指定できるオンデマンドバスやドローンによる食料の配送などがあると便利です。マイカーに乗れない人にとっては、近くのコンビニに行くだけでも一苦勞です。スマホでドローンが荷物を届けてくれたら便利ではないでしょうか？
かねてから思うのですが、デジタルなものが最も必要なのは、体の不自由さを感じておられる、お年寄りや体に障害を持っておられる人に活用してもらいたいと思っています。そういう方たちの暮らしを支えて下さるような、ケアして頂くようなまちづくりをしていってほしいものです。

人手不足がデジタルの必要性を高めているのでしょうか？ あまりイメージが湧きません。必要な事と以前は必要だったけど今は必要ではない事（形ばかり残っていて不必要なもの）を見極める事の方が先の様な気がします。